

79 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月24日(日) 午後11時35分

タイトル: 祈りは裁きをもたらす

聖書において祈りは、香で象徴される。

旧約時代、神殿や幕屋では、香がたかれた。

香は天に昇って神のもとにとどく。

「香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。」(黙示録8・4)

香は、裁きに直結している。

「それから、御使いは、その香炉を取り、祭壇の火でそれを満たしてから、地に投げつけた。すると、雷鳴と声といわずまと地震が起こった。」(黙示録8・5)

神は御使いに命じて、火のついた香炉を取って投げつけさせる。

われわれの祈りは、このようにして裁きをもたらす。

80 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月25日(月) 午後8時19分

タイトル: 本当の悪霊追い出し

「悪霊を追い出し・・・蛇をもつかみ」は、カリスマ・ペンテコステ派のやっていることと違って、もっと根源的・根本的にサタンや悪霊を排除できる、ということでしょうね。

神の国は、悪魔の権力奪取ですから。

悪霊のとりつき方は様々です。単純な憑依もありますし、政治家にとりついて変な政治を行わせることもありますし、最悪なのは、異端です。

これらすべて悪魔の支配ですから、悪魔の支配を覆すことがクリスチャンにはできるということです。

「悪霊追い出し」を、TV でやるような除霊や単なる悪魔祓いのようなレベルに落とすことによって、根本的なものが見えなくなります。

すると、どうしようもない軽い運動になる。サタンは大喜びです。

この世界の最大の悪魔の働きとは、哲学や宗教です。

旧約聖書でいえば、偽預言者。

人間は思想に基づいて行動します。

どの人でも宗教を前提として行動します。

動物のように、目の前にある事柄に本能的に動くような人はいません。

絶えず行動に一貫性を持たせようとします。

行動に一貫性がないならば、それは、内部に別の霊がいて、憑依され、コントロールされている異常者です。

社会生活は送れません。

まともな人は、何らかの宗教的信念に基づいて行動します。

それがたとえ無神論であっても。

ですから、サタンはこの信念を変えようとします。

信念が変わると全部変わります。

たとえば、「人間は多すぎる。環境を守るためには、人間の数を減らさなければならない」という信念は悪魔がビル・ゲイツに吹き込んだ思想です。

彼はこの思想にとりつかれているので、ワクチンを開発して、人減らしを画策しており、そのために私財を使っています。

もし思想が健全なら、彼の莫大な資産は神の国のために使われ、人々の健康と福利のために使われるでしょう。

しかし、思想がやられてしまったから、彼の存在すべてが恐ろしい兵器に変わり、人々を不幸にしています。

思想とはそれほど恐ろしいもので、われわれは、思想に最大の注意を払わねばならない。

しかし、現代人はこの点を理解していない。

だから、国会議員が「今は神学論争している場合じゃないんだよ」などと発言する。

聖書にどれだけ厳密になれるか。

それだけがわれわれを正しい道に導いてくれる。

ちょっとでも自分の考えが入ると、われわれは変な方向に導かれ、そして、無駄なこと、いや反対に有害なことののために一生を使うはめになります。

聖書研究がどれだけ重要かわかる人だけが、人生を最高に送ることができます。

81 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月25日(月) 午後10時30分

タイトル: 一方が無限の責任を負うシステムは邪悪である

学校でいじめがはびこり、教師もそれに加担するとか、無視するとかしているならばそんな学校に行く責任はまったくない。

秩序崩壊が起きているから。

聖書において、責任は双方向である。

「非行が収まらない息子を、長老に訴えて処刑せよ」と命令されている。

何度訓戒してもやめない人間、しかも、悔い改めず、反抗する人間は、自分の責任を果たしていないのだから、処刑される。

「だれでもモーセの律法を無視する者は、二、三の証人のことばに基づいて、あわれみを受けることなく死刑に処せられます。」(ヘブル 10・28)

一方だけが無限に責任を負うというシステムは、違法である。

学校が責任放棄し、学内の秩序維持ができないのであれば、その学校に対して、生徒や父兄は責任を解除される。

学校に通うことが教育の目的ではなく、学力をつけることが目的なのであるから、生徒や父兄は自分の最善の方法を選択できる。

家庭で勉強してもよい。

自分の家族が自分に対してしかるべき責任を果たさない場合は、家族契約を解消できる。

たとえば、奥さんや息子などが家長である自分の権威を認めず、軽蔑し、罵倒するならば、彼らを養う義務から解放される。

こういう秩序破壊者を許すならば、秩序全体が崩壊し、家族が地獄と化す。その家族の中に神がいなくなるので、悪魔が支配するようになり、混沌化する。

そのような秩序が破壊された中では、弱い者が犠牲になる。正義ではなく力が絶対化されるので、暴力が支配する。

神の法を破ることは、弱者を痛めることに等しい。

自分の職場や家族における無法や反抗を許容することによって、その集団の中の弱者が犠牲者になる。

だから、罪を取り扱わない為政者や指導者、家長は、弱者の虐待者である。

口だけではだめだ。相手はなめてかかる。

権威者には剣が与えられている。

文字通り暴力をふるえということではない。

法的手段で解決するのだ。

いざとなったらやるぞ、という姿勢を示すことによって、相手をびびらせるべきだ。

サル曲芸師は、ある時期にサルが自分に挑戦してくるという。そのときに、自分が上であることを力で示すことができないと、相手はなめてかかり、秩序が崩壊し、制御できなくなるという。そうしたら、商売にならない。

家庭内暴力やら、職場内反抗が起きた場合、きちんと権力を見せて対処しなければ、家庭は崩壊、職場も崩壊、神はあなたを権威の地位から退けられる。

統治能力がないということで、首にされる。

この世界はすべて契約関係で成立している。

契約は、双方向である。

一方が無限の責任を負うシステムは邪悪である。

タイトル: 罪が現れるまで人を罪人扱いしてはならない

学生時代、北海道の出身者の寮に入った。

寮内では、先輩に対して挨拶が絶対の義務であった。

心の中では尊敬できるかできないかわからない人になぜ挨拶しなければならないのかと思ったが、権威に従った。

契約とはこれに似ている。

契約とはあくまでも外に見えるシステムである。

内面まではわからない。

だから、いったん洗礼を受けて教会に入り、クリスチャンとなった人は、クリスチャンとして扱うべきである。

この点を契約神学を持たないアルミニウス主義の教会は理解できない。

だから、「あなたの内実が分らないうちは、私はあなたを先生と呼びたくありません」というような人間が現れるのだ。

警察は、たとえある人が窃盗を犯しても、その証拠がない限り逮捕できない。

契約社会では、「証拠が出るまで無罪」なのだ。

外的にある牧師の罪がはっきりと出てくるまで、牧師として扱わねばならない。

クリスチャンとして具体的に罪を犯していることが明らかになるまでは、その人がいかにおかしな行動があっても、クリスチャンとして扱わねばならない。

もし、そのように扱うことを拒絶するならば、それは、相手を契約外の人間とすることであるから「絶縁」を意味する。つまり、相手を地獄行きと宣言することになる。

契約という概念がはっきりしていないと、主観がはびこり、人間の権威が増大する。

たとえば、ある派では、牧師が信徒の行動や内容を見て、クリスチャンかそうでないかを判断する。

たとえ洗礼を受けて教会員であっても「あなたをクリスチャンとして認めませんよ」という。

ある牧師がある信徒に、「あなたは天国に行けると思いませんか？」と尋ねた。「はい。」と答えると、「そうですかね〜」という。

「え～～！洗礼を受けてクリスチャンになっても地獄に行くかもしれないのか！」と驚いたという。

その人がクリスチャンである限り、天国に行けると宣言しなければならない。人間では内面は判断できないからだ。

神は判断しておられる。われわれの生活の一部始終をご覧になっているから、われわれが本当のクリスチャンか偽クリスチャンかを見分けておられる。

しかし、われわれはできない。

われわれにできることは、あくまでも外面に出てきた、取扱いに値する罪を基準に、その人を判断することだけである。

このような原則がない教会では、牧師が全部判断するから、牧師が神のようになる。

牧師に気に入られるようにしないと、地獄を宣告される。

神ではなく、人間が審判者になる。

リフォームドの教会（カルヴァン派の教会）ではこの傾向は小さくなる。

なぜならば、契約的に扱うから。

ある人を除名処分にし、聖餐停止にする基準が教会規則に明記されている。

罪が現れるまで人を罪人扱いしてはならない。

83 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 7 月 27 日(水) 午後 10 時 09 分

タイトル: 切迫終末論：こうして福音派クリスチャンはカルトになった

サタンの最大の成功は、クリスチャンに世の終わりは近いと吹き込むことができたこと。あれから 200 年間クリスチャンは改善を諦め、世界のサタン化を放置するようになった。

この 200 年間、イルミナティは妨害なく、計画を推進してきた。アメリカの 4000 万人のクリスチャンがイルミナティの壊滅のために祈れば計画はとん挫し、世界大戦は起きなかつたらう。

アメリカには 4000 万のクリスチャンがいるが、アメリカはこれまで世界の無数の非戦闘員を虐殺してきた。これはクリスチャンが機能していない証拠である。

霊的な世界においてアメリカのクリスチャンは敗北した。何が原因か？偽預言者に従ったこと。ダービーとスコフィールドという。

今日アメリカのクリスチャンがシオニストであるのは、シオニスト、つまりロスチャイルドに洗脳されたからである。

ロスチャイルドは 200 年かけてクリスチャンの完全洗脳に成功し、自分の計画を妨害させないどころか、支援すらさせてきた。

終末が近い、キリストが再臨した後で千年王国が始まるという歴史上異端とされてきた教えを、ロスチャイルドは、オカルト主義者ウェストコットとホートの聖書と異端アーベングの伝道で広めた。

その後、詐欺で懲役歴のある自称博士スコフィールドを使ってアメリカでこの教えを広めた。助けたのは、ロスチャイルドの第一弟子ヤコブ・シフ。

現代の終末主義者ハル・リンゼイとティム・ラヘイはかつて統一協会の団体の理事で、ラヘイの妻ビバリーは、統一協会の集会で講演。世界政府と終末主義者は繋がっている。

リンゼイとラヘイの本はアメリカと世界で合計で少なくとも 6000 万部売れた。これにあやかろうと、多くの牧師や神学者が終末預言本を出し、アメリカのクリスチャンをカルトに変えた。

リンゼイやラヘイの解釈は、この世界の支配者をサタンだとする。だから運命論に陥り希望を失う。唯一の希望は再臨のキリスト。だから、クリスチャンは、隠遁者になった。現世に生きる意味は、待つことだけ。

今の福音派、つまり切迫終末論のクリスチャンにとって職業は、世界を変えるために神に与えられた使命 (calling) ではなく、本業に就くまでの学生のバイトみたいなもの。

頑張っても、大艱難時代に反キリストに潰される運命だから本気を出さない。技術革新とか無意味。むしろ、終末に生きる者として質素さが必要だから、技術を嫌う傾向すらある。

どうです？見事にカルトでしょ？今のクリスチャンが信じている教えと、ニューエイジとどこが違う？ニューエイジも源はロスチャイルドだから当然だが。

こうやってクリスチャンは、偽預言者に騙されてカルトになった。今やまともな教えを唱える教会はなく、キリスト教会はほぼ全滅した。

アメリカは獣として大淫婦シオニストユダヤに利用されてきたのですが、福音派はシオニストに変えられているため、このことが分からず、大淫婦を助けてきた。

Date: 2011年7月27日(水) 午後10時24分

タイトル: バルト神学の本質: 羊を被ったオオカミ

バルト主義を一言でいえば、「正統派を騙ったりベラル」である。

「哲学で聖書を解釈してはならない」とはいうものの、結論は「人間はすでに救われている。クリスチャンは、その知識がある人に過ぎない」である。

つまり、聖書をそのままには信じていないのである。

聖書では、「イエスを主と告白して、バプテスマを受ける人は救われる」である。

しかし、バルトは「そんなことしなくても、すでに救われているのだよ」と。

バルトに汚染されると、用語は福音派のようだが、内容がまったく異なるので、無駄な言葉の洪水になる。

難しいことをたくさん語るがいったいそれに何の意味があるのかわからない。

あるバルトに支配されたミッション大学の先生と話したことがある。

「あなたはカルヴァン派ですか。私もですよ！」と。

「え〜〜!?」と思った。

「イエスを告白しなくてもすでに救われている」という教えがどうしてカルヴァン派ですか?と問いたくなった。

教会成長と並んでバルト神学も、羊の毛皮を被ったオオカミなので注意されたし。

85 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月27日(水) 午後11時39分

タイトル: 神の国とはクリスチャンに富が集中する体制である

イエスは、「忠実な者には不忠実な者の分まで与えられる」と言われた。

つまり、富は時間とともに偏在するのである。

平等に配分されていた富は、時間とともに一部に集まる。

これが、神の国のシステムである。

どの業界でもそうだが、稼ぐ人はものすごい稼ぐ。他の人々を全部合わせたくらい稼ぐ。

だから、1匹のクジラ対無数のめざしの構造ができる。

どの社会でも、取り分の比率の構造、つまり、金持ちが9対庶民が1の構造は必ずできる。

「人間は、自分の行動の結果を刈り取らねばならない」ので、こういう構造ができてしかるべしだ。

努力した人にはお金が集まり、努力しない人からお金は逃げる。

イチローのような天才であっても、いつも努力して体調をベストに保つようになっている。

フォームを工夫している。

こういう才能と努力のある人間に、大金が舞い込むのは当然のことなのである。

大企業であっても、努力を怠るとすぐに業績悪化でだめになる。GMなどその典型である。

市場システムは神の国の体制であるから、このような因果律が適用される。

それに対して異議を唱えたのがマルクスである。

多く集めたものの分を少ない人に分け与えなければならないという。

聖書のまったく逆である。

これは、ユダヤ人による異邦人への騙し、詐欺である。

共産主義体制になって、少ない分け前の人が幸せになったか？

そんな例は一つもない。むしろ、逆になった。

無数の人が収容所に送られた。

ソ連は、努力する人を罰する体制だから、みんな努力しなくなる。

酒におぼれるしかないのだ。

ロシア革命は、ユダヤ人による革命である。

それまで王侯貴族9：庶民1の比率で分配されていた富を、ユダヤ人9：異邦人1に分配するようにシステムを

変えたにすぎない。

すべて共産主義や社会主義の体制とは、ユダヤ人による異邦人からの財産奪取を目的としている。

調べてみるとわかるが、共産主義や社会主義のすべての運動においてユダヤ人を見る。

本来の神の国の利益配分は、

クリスチャン9：ノンクリスチャン1である。

モーセ契約では、契約の民が神に忠実ならば、富が向こうからやってくるはずである。

濡れ手に粟である。

契約遵守には、富を集める力がある。

クリスチャンが9割を所有することによって、神の御心がはじめて十分に地上に実現する。

共産主義や社会主義は、このクリスチャンによる世界支配を妨害するために作られたシステムであり、キリストの御国に対する背教のユダヤ人による挑戦である。

サタンがロスチャイルドに知恵を与えて、中央銀行制度を作らせた。

このマジックを使って、無から金を作り出す権利を得た。

3円の紙とインクを10000円に変えるテクニックを身に着けた。

そうして、今や全世界を支配しようとしている。

われわれが契約に忠実になれば、ユダヤ人9：異邦人1の体制は崩壊し、クリスチャン9：ノンクリスチャン1の体制に変わるだろう。

クリスチャンは、世界のエデンの園化のために召された。

だから、多く所有したクリスチャンが独り占めにすると、神の呪いがかかる。

それゆえ、クリスチャン9：ノンクリスチャン1の体制において、クリスチャンは、財産を分散するようになり、真にみんなが幸せになる世界が到来する。

クリスチャン(*)に富が集中するような体制が神の御心である。

(*)

ただし、このクリスチャンとは、聖書的クリスチャンのことであって、今の福音派の再臨待望クリスチャンではない。

86 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月29日(金) 午後0時28分

タイトル: 父母や先達を敬え

(1)

「ヴァカ、ヴァカ」メールの出した本人から謝罪メールがきたので、一件落着。

最近、権威を権威とも思わない連中が増えた。

牧師とか教職者とか預言者など、神に献身して仕事をしている人間を罵倒したら、本当に死ぬこともあるということが分らない。

こんな基本的なことも知らないクリスチャンが増えた。

預言者エリシャに向かって「禿頭よのぼれ、禿頭よのぼれ」とはやしたてた子供たちに突然熊が襲いかかってその場で殺された。

偽預言者ならともかく、本物の神の権威を帯びている預言者に対してやったことは、神に対してやったことに等しい。

「ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。」(マタイ 23・37)

預言者は自分の意志で行くのではない。神に命令されて行く。だから、預言者を拒む者は、神を拒む。

「預言者を預言者だというので受け入れる者は、預言者の受ける報いを受けます」(マタイ 10・41)

預言者を受け入れる者は、それと同じ報いを受ける。

神から使わされた人を神から使わされたがゆえに受け入れるならば、その使わされた人と同じ報いにあずかる。

神から見れば、預言者と預言者を受け入れる人は功績において同じだ。

だから、拒否することは、それだけ重い責任となる。

その預言者が聖書と異なる教えを唱えているならば、彼は預言者ではない。

偽預言者に従う必要はない。

(2)

予備校で教えていたときに顕著だったのが、団塊の世代の子供たちの異常さである。

教師を教師とっていない。

労働者の一人くらいしかっていない。

団塊の世代、つまり、学生運動、共産主義によって権威を軽んじる時代に育った親の子だから当然である。

ピアノでもゴルフでもなんでもそうだが、先達の知識は傾聴に値する。

なぜならば、自分よりも経験が深いからだ。

そこから学んだエッセンスを教えてくれるような人を尊敬しないならば、それは、自分がその利益にあずかれないということを意味する。

だから、「父母を敬え」という命令には「あなたの寿命が長くなるため」との約束がついている。

自分よりも知識と学識と経験が豊かであるならば、尊敬せよ。

尊敬せずに罵倒などするならば、自分を文化から切り離すことであり、それは、緩慢な自殺である。

父母を敬わないことによって、父母が持っている人生の経験や知識を継承できない。

自分勝手な道に進み、ついには滅んでしまう。

同じように、その道の先達を尊敬しない人は、進歩できない。

団塊ジュニアに自殺者が多いらしいが、先輩を罵倒するような人間は行き詰ることも多いのだろう。彼らも共産主義の犠牲者である。

(3)

私がこうやって文章を書いているのを、どこかのHPをコピペして紹介しているレベルと考えているならば、大きな誤解である。

背後に学習と経験がある。

私も信仰の先輩から学んで長い間努力した。

オーソドックスなものを身に着けるまで苦労した。

昨日や今日キリスト教を知りました、みたいな人がキリスト教について書くことができるはずがない。

勉強せずにいろんな働きを始めると、変な方向に行く。

十分に霊や教えを吟味できるだけの知識をつけないとだめだ。

とにかく、基本をきちんと勉強すべきだ。

今のキリスト教では基本は学べない。

昔の本しかない。

カルヴァンのキリスト教綱要とか、17世紀のピューリタンの著作とか、健全な書物は今なかなか手に入らない。

教文館に何がある？ことば社に何がある？

リベラルとディスペンセーションナリズムだけだ。

オーソドックスはほぼ滅亡した。

オーソドックスを学んでいない牧師に教えられるから、信徒もオーソドックスが何かわからない。

全部偽物ばかりで、本物がない中国のおみやげ店のような状況である。

(4)

教育の中心に英語を置いてほしい。

英語は、きわめて重要な言語である。

いろんな場所で役に立つ。

とくにキリスト教関係の場合、古典が読める。

すぐれた神学者の書物が読める。

だから、子供には英語の書物を日本語なみに読める訓練をしてほしい。

それからインターネットの動画の英語を聞く力もつけてあげてほしい。

ラッシュドゥーニーやゲイリー・ノースの著作を原書でばりばり読める子弟が増えれば、日本の将来も明るい。

87 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月29日(金) 午後11時37分

タイトル: 聖書を絶対とする体制は独裁ではない

「クリスチャンに富が集中するような体制が神の御心である。」

このように言うと、「独裁体制ではないか」というかもしれないが、そうではない。

たとえクリスチャンであっても、消費者のニーズに合わない商品を作り続ける企業は滅びる。

選ぶのは消費者である。

権力は分散しなければならない。

できるだけ、第三者からのチェックがきく体制にする。

しかし、唯一チェックを逃れるものがある。

聖書である。

神の言葉は、絶対であって、それは人間のチェックが及ばない。

1mの原器が本当に1mか調べないように、聖書が正しいかどうかをチェックしない。

神の国は、すべてが聖書を土台として成立する体制である。

土台そのものは疑いの対象外である。

旧約時代、神の国を担ったのはイスラエルだった。

しかし、イスラエルは失敗したので、教会が神の国の担い手となった。

教会も堕落して、プロテスタントが起きた。

プロテスタントも堕落して新しいものを待っている。

堕落とは、聖書からの乖離である。

神の国では常に担い手が変わる。

神からのチェックによって、神の国を任せるにふさわしい人間が起こされる。

このように、真に正しい体制とは、変化するものと変化しないものから成立する。

変化するのは、担い手である。

変化しないのは、聖書である。

変化しないものを破壊する者は、革命者であるから、処刑の対象である。

神の国において、聖書を排除しようとする革命家は生存できない。

聖書の教えに対するあからさまな反抗を許容するならば、社会が死ぬ。

どの社会でも、その社会を成立させることが「変化しないもの」であり、それゆえ、菅直人の北朝鮮関連団体への献金は変化しないものに対する挑戦であり、許すことができない罪である。

どの社会でも、外患誘致罪は処刑である。

自分の肉体を破壊しようとするばい菌まで許容しては元も子もなくなる。

聖書的社会において、聖書に対する攻撃は処刑に値する。

これは独裁ではない。

「一と多」の原理を身に着けないと聖書の社会思想は理解できない。

不変の基準は「一」、社会の担い手は変化するので「多」。

子供の教育で間違いは、この一と多の混同である。

変化してはならない事柄つまり道徳については、絶対に厳しくしつけなければならない。

十戒に書かれてある戒めは絶対に守るように強制しなければならない。

しかし、変化してよいもの、たとえば、その子がどの職業を選択するか、などについては、自由である。

多神教も一位一神教も欠陥思想である。前者は多様性が究極で統一に価値を持たせられず、後者はその逆だから。

三位一神教だけが正しい思想である。

変化してもいいものまでも強制するのが独裁である。

変化してはならないものにおいて厳しいのは独裁ではない。

88 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月31日(日) 午前0時32分

タイトル: 放縦主義は強制に行き着く

とにかく合い言葉は「俺たちのやりたいようにやらせてくれ、規制や指導は『パワハラ』だ！」

教育の場の荒廃は、先日 tomi 先生が[ミレニアム通信][00086]で述べられた通りです。

公共交通機関で、少年野球・中高生の部活遠征、修学旅行の一団など、マナーもへったくれもない。

先生が注意しないで黙認している。ひどいのは若い教員が一緒になって「ジベタリアン」や大騒ぎをしている。

たまに注意するのがいても児童生徒は「うるせーな、ほっとけよ、バーカ」

他のお客さんが注意すると、先生が割って入って、なんとそのお客さんに抗議する

医療・福祉の場はもっとひどい（非道い）です。

若い看護師・介護士・セラピストたちが「やりたいようにやりたい」

病態も尊厳も何もあったものじゃない。

自分たちの行為で患者さんが悪くなっても、どんどん「火に油を注ぐ」

家族からクレームをつけられると「あの家族はモンスター」

上司や医師から注意されると「パワハラされた/だったらもう仕事しない、面白くないから」

コーディネーターや経営者があわてる「辞められたり断られると困るから、若い連中の思うようにやらせてやれ」

甘やかす大人は、社会を崩壊させているという自覚を持たなければならないと思います。

「基準は個人の願望にある」というのが、近代思想の中心ですから、無秩序化は避けられない運命です。

どんなにキリスト教の伝統がある国でも、いったんカント主義を受け入れてしまったら、100年後か200年後には必ず秩序崩壊が起きる。

「個人の自由によって生きていいんだ」というような生き方は、奴隷につながる。

なぜか？

社会で放縦的自由を主張する人々ばかりになったら、秩序維持ができなくなるから、統治者は強制的手段を行使するしかない。

つまり、暴力です。

自分で自分を律することができない人間が増えたら、秩序維持のためには、警察権力を強化するしかない。

そうしたら、文明とはほど遠い、警察国家が到来します。

だから、子供を甘やかす大人はいずれそのまいた種を刈り取ることになる。

キリスト教の中心は、「法」です。

法を中心に世界は成立すると考える。

だから、自分をその法に合わせるようにします。自分のわがままを抑えて、法に従うように自分を訓練する。

自分自身を律することができてくることによって、社会は自由が増えます。

たとえば、キリスト教がまだ指導原理として機能していたアメリカでは、銀行の警備は厳しくなかった。

警備なしで金塊を台車で運んでいたという話も聞いたことがあります。

個人が自分で自分を律する社会では、警備とか鍵にはお金がかからない。

そういうものは本来不要なものです。

法の支配が崩壊することによって、無駄なものにお金を使わざるをえない。

問題は、思想にあります。

世界は、カント主義に支配されました。自分の主観で世界を運営していい、という立場。

人間が神を否定し、聖書を否定するならば、当然ここに行き着く。

キリスト教すらこの教えによって影響を受けている。ディスペンセーションナリズムなどはその典型です。

今の教会時代には律法は無効であると。

だから、今の教会には、法に対する嫌悪がある。

「イエスは、律法からわれわれを解放してくださったのです。だからわれわれは何をしても自由です！」と。

律法から解放されたのではなく、律法の呪いから解放されたのである。

世の光である教会がまず、正しい教えに復帰しなければならない。

そうしないと、世界の崩壊に歯止めがかからない。

89 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月31日(日) 午前10時31分

タイトル: 法のないキリスト教はキリスト教ではない

tomi先生がおっしゃるように、教会が「やりたいようにやりたいやらせてやれ」です。

あのミッションバラバ・ブームの頃、福音派・聖霊派で流行った言い回しがありました。

「それクリ、これクリ」＝「あんたそれでもクリスチャン?・・・そうさ、おいらこれでもクリスチャン」

新改訳のように「イエス・キリストが律法を『終わらせた』」。

欄外注に『律法の目標』とあるけれども、たいいていメッセージでは『終わらせた』のほうが正しい翻訳です」と牧師がいう。日曜学校でもそう教える。

かわりに「愛」をやたらと強調する。その根拠聖句としてヨハネ 13:34-35 をもってくる。

「皆さん、愛です。愛し合ひましょう。赦し合ひましょう。これが『新しい戒め』すなわち『キリストの律法』です。」

だから、もうやりたい放題です。

ゴミのポイ捨て、違法駐車、暴力事件なんて序の口、

聖霊派では、婚前交渉→妊娠あたりまえ

それを牧師が「涙ながらに赦す」のが美談になるという

たしなめる/指導する/叱る・・・と「律法主義」の「パリサイ人」と言われる。

「神の恵みを放縦に変えて」(ユダ4) いる！！

そのくせに「五役者(あるいはリーダー)は神の代弁者です。神の權威に従いなさい」

おかしい言い回し「従順しなさい」(おそらくルーツはチョー・ヨンギ)を振り回す。

「アナーキストに絶対服従」！！

そうそう、共産党/生協/組合の「リーダー」たちが、同じような言い回しを使いますね。「助け合い」。

きちんと仕事をすれば未然に防げたトラブル

それにクレームをつけたり、いや、指摘しただけで

「あなたには『助け合い』の精神、働く『仲間』という考えが足りない。いけませんね。勉強会に出席して下さい」

さもなければ「オルグ」される。

なるほど。キリスト教会は共産主義者に乗っ取られた・・・ロスチャイルド・ロックフェラーの作戦は成功してしまっただけですね。

そうですね。

私が福音派にいた最後のころに、そういった放縦が現れ始めました。

しかし、こういった状況になったのは、論理的に必然なのです。

なぜならば、「法は存在しない」のですから。

法を中心にして成立しているキリスト教が、法が存在しないキリスト教になった。

これは、つまり、本質から変化したことです。

ですから、もはやキリスト教の教派の違いではなく、宗教そのものが違う。

今の福音派とか聖霊派というのは、違う宗教なのです。

じゃあ、どうしてそんな宗教になったのかというと、ディスペンセーションナリズムです。

聖書の一部だけをとりあげて「律法は終わって、廃棄された」と解釈した。

しかし、ローマ 3:31 のように聖書では、はっきりと律法は確立されており、廃棄されていないと言われている。

「それでは、私たちは信仰によって律法を無効にすることになるのでしょうか。絶対にそんなことはありません。かえって、律法を確立することになるのです。」

ディスペンセーションナリズムの起源はイルミナティであり、ロスチャイルドです。

キリスト教はロスチャイルドによって破壊された。

ですから私は今の福音派や聖霊派の教会とは縁がないことを感謝しています。

90 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月31日(日) 午前11時23分

タイトル: 神と人間の関係は契約関係だから法は廃棄されていない

クリスチャンは、神の民である。

だから、新約時代におけるイスラエルである。

構造は、旧約新約一貫している。

つまり、契約である。

神と人間が契約を結んだ。

かつてイスラエルが入っていた契約の家に、民族関係なく入ることができるようになった、というのが新約時代の特徴である。

保険契約について考えてほしい。

最初、「中年向け保険」という保険にお父さんだけが入っていた。

しかし、保証内容がいいので、対象を広げてほしいとの要望があり、誰でも入れるようになった。

だから、家族の中でお母さんも入った。子供も入った。

旧約時代はイスラエルだけが入っていたが、新約時代はすべての国民、民族が入ることになった。

だから、新約時代になっても、規則は厳然として残った。

「新約時代には、律法は廃棄されたので、われわれは律法とは関係ない。」という教えは成り立たない。

保険契約で、「お母さんと子どもも加入した。だから、保険契約の規則を守らなくてもよくなった。保険代金を毎月納める必要はなくなった」ということがないのと同じである。

ただ、中年向けの保障が万人向けのそれ変わった部分はある。

たとえば、「生活習慣病保障」というものが、年代を問わない形に変わり、「慢性疾患保障」になるとか。

旧約聖書は、民族的であった。古代ユダヤ人向けだった。

しかし、新約聖書では、超民族的超時代的になった。古代ユダヤ人だけではなく、すべての時代のすべての民族に救いが解放された。

だから、それに合わせて法律も普遍化された。

法のない契約はない。

だから、新約時代において法が廃棄されたなどということはない。

神と人間の関係が契約的關係であることを無視すると、法が廃棄されたなどという誤謬が生まれる。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年7月31日(日) 午後1時46分

タイトル: 邪悪な計画を徹底して粉碎するために必死に祈る所存である

東日本で停電をやるってのはある程度わかる。

地震で原子力だけではなく、火力発電所もやられたから。

しかし、西日本で停電をやるっておかしくないか？

地震の被害も津波の被害もない。

なんで？

ここでピンとくるかこないか。

それで、騙される人と騙されない人の差が出る。

今の政権は、日本の秩序解体をしているのである。

停電は、産業に打撃を与えるためである。

日本の国力を下げるためである。

今まで夏だって大丈夫だった電力がなぜ突然足りなくなるの？

その根拠は？

あいまいである。

東電だって、当初、夏でエアコンの消費もないのに停電を強制した。

電車の本数が減った。駅に言ったら人がごったがえしている。電車が停電で運休しているという。

え～～！何？この無計画さは！

そして、今、夏になっても停電なんてない。

電力は足りている。

春先のあの騒ぎはいったいなんだったのだ？

怪しすぎる！

私は、停電騒ぎがかくのごとく胡散臭いならば、原発事故も何かある意図のもとに情報操作されているのではないかと疑いたくなる。

今、牛肉など食品の放射能汚染が問題となっているが、本当なのか？

政府の発表、データそのものが、意図的に改ざんされ、被害を大きく見せてはいないか？

日本人をパニックに落として、国力低下させようとの意図があるのではないか。

(2)

オウム事件のときに、サティアンにヘリコプターがあった。

サリンを東京上空でまくためだという。

この「毒を東京にまく」という発想が、今の原発騒動につながっているのではないかと感じる。

つまり、テロリストたちは、1995年では失敗したことを2011年に実行したと。

首都圏に毒をばらまいてパニックに陥れる計画があるのではないか。

(3)

われわれは、冷静になって、情報を吟味しよう。

政府が発表する数字がはたして正確なのか。

1995年のときは、社会党が、今は民主党が政権を担当している。

北朝鮮と深い関係にあるこの両者が政権を取ったときにどうしてこんなテロと思われる事件が起きるのか。

それは、北朝鮮そしてその背後にいる中国、ネオコン、つきつめれば、イスラエルが、日本侵略をもくろんでいるからではないか。

来年極東戦争が勃発する、今の騒動はその準備だという意見がある。

その可能性は大きい。

しかし、私は、イエス・キリストの御名によって、この策謀を絶対に粉碎したい。

邪悪な計画を徹底して粉碎し、これが悪魔の失墜の契機となるように必死の祈りをしようと思う。

92 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月1日(月) 午前4時04分

タイトル: 訂正 (2011年7月16日(土) 午後2時49分)

児玉清

→

児玉誉士夫

93 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月3日(水) 午前6時18分

タイトル: ロン・ポールによる緊急警告

ロン・ポールが来たるべき米国経済破綻及びドル暴落について緊急警告を発した。

=====

消費財、貴金属、その他価値が下がりにくい安定した他の物質的な商品の購入が進む。

FRB もコントロールができなくなって、インフレが悪化する。信用危機が起こるので、消費者物価と金利は急上昇する。

他の紙幣も、ドルで支えられるので、避難先にはならない。

最終的に、アメリカ国民の苦痛が最も激しくなり、それが政治的社会的カオスを生み出すときに、もっとも危険な結果が訪れるだろう。ますます破産の度合いを増した連邦政府は、お金がないために国内及び国際的な約束を守ることができなくなり、自暴自棄の雰囲気漂わせながら、社会不安の問題を利用し、法と秩序の維持を名目に、厳格な措置を取るだろう。

ポール博士は、一言一言かみしめるように言う。「自由社会の保護を求める統治システムに対して、究極のわなが仕掛けられるであろう」と。連邦政府は、新しい権力と権威を強制しつつ、ポールが市民的自由への「致命的な脅威」と呼ぶところのものになるであろう。皮肉にも、アメリカ市民自身が、その新しい強制手段を求めて騒ぎ立てることになりそうである。そして、それが畏であったことを悟ったときは、時すでに遅しである。

諜報機関や軍隊、福祉国家一及び、危機を阻止するためになしうること一に関する懸念を含む、さらに詳しい情報は、下記のビデオ「ロン・ポールの緊急警告」を参照せよ。

<http://lewrockwell.com/orig11/vega4.1.1.html>

=====

94 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月3日(水) 午後3時21分

タイトル: 遮蔽物なしで永遠を迎えるのはあまりにも危険すぎる

われわれの行動にはすべて責任が伴う。

これは、この世界が契約によって成立している以上、避けられない運命である。

神と人間は契約を結んだ。

われわれは、進化によって偶然に誕生したのではなく、神によって創造された。

であるから、われわれ神と創造の契約を結んでいる。創造者は宗主であり、われわれは臣下である。

われわれは、神の法を完全に守らなければならない。

一点でも違反がある場合、永遠の刑罰を受ける。

そこで、神は完全に法を守りぬき、永遠に変わらない報いを達成されたキリストをわれわれの代わりに用意された。

われわれは、キリストを契約の主として持つことによって、その一部となり、キリストと同じ功德を受ける権利を持つ。

われわれの違反に関しては、キリストが刑罰を身代わりにおってくださったので、解消された。

われわれは神に対する責任が一切ない。

われわれがもしキリストを拒否するならば、われわれには責任が残る。

つまり、

1. 永遠の報いを失う。
2. 永遠の刑罰を受ける。

われわれは人生において数々の放射性廃棄物を生み出す。

それによって汚染される人もいる。

社会において責任が大きい首相のような人は多くの廃棄物を生み出す。

廃棄物をそのままにして死ぬならば、無責任なやつである。

神は法を与えられた以上は、その廃棄物の処理の責任を永遠にわたって追及される。

だから、われわれはこの地上に命がある間に、処理しなければならない。

キリストを信じて、救いの契約の中に入ることである。

そうすれば、キリストの身代わりの1. 功德と2. 死が適用される。

われわれは、1. 永遠の命を獲得し、2. 永遠の刑罰を回避できる。

神の法は、核燃料のようなもので、ものすごい放射能を発散している。近づけば即死である。

誰でも「むさぼってはならない」という戒めを生涯で一度も犯したことがない人間はいない。

その戒めに対する違反は永遠の刑罰である。

だから、われわれにとって神の法とは死の源である。

キリストは、格納容器のようなもので、核燃料からの放射能を防いでくれる。

われわれがキリストの契約、救いの契約に入ることによって、神の法は、格納容器に収められる。

われわれは、すべてキリスト契約に入るべきだ。

遮蔽物なしで永遠を迎えるのはあまりにも危険すぎる。

95 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月3日(水) 午後4時11分

タイトル: 勝利はわれわれの手にある

この世界の基本構造は、神の国と悪魔の国の戦いである。

神の国は、父なる神、その下にキリスト、及び、キリストの契約の中にある世界から成立する。

この世界の中でキリストの契約の中に入っていない世界は、滅びる運命にある。

契約3+契約外4=全世界7で象徴される。

契約の中は、庭→聖所→至聖所と3つに分かれる。

この構造は、ノアの箱舟にもある。箱舟は3階からなっていた。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/55rg7dBbMP8I42900.htm>

ノアの箱舟は、キリストを象徴している。キリストは、洪水という破滅からの救いの船である。

幕屋や神殿は、キリストの救いの箱舟と同じ意味を持つ。

その中に入ると救われる場所である。

ピラミッドも同じ構造だと思われる。

ピラミッドの最初の建設者イムホテプはヨセフであった。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/89dmg0JgbUYBU54096.pdf>

ピラミッドは、エデンとエデンの園を象徴している。

それゆえ、

ノアの箱舟→神の幕屋→神殿

は、みなピラミッドと同様に「神の山」なのである。

だから、庭→聖所→至聖所に進むにつれて高くなる構造なのである。

神社はこれと同じ構造になっており、おそらく神社を作った人々はユダヤ人だったのである。

拝殿と本殿は高くなっており、本殿は山の頂上のように階段上に配置されていることがある。

さて、歴史とは、この神の国が拡大する過程である。

神の国が全世界に及ぶことは定められた運命である。

全世界が神殿化するのである。

われわれが宣教し、労働するときに、そこが神の国化する。

もちろん、神の法を適用する場合に限るが。

われわれが神の法を適用し、神の支配が広がるならば、われわれは職業を通じて神の国を拡大している。

神の法の適用されていない場所は、聖書において「世」と呼ばれている。

「世を愛してはならない」のである。

つまり、神の法の適用されていない体制を愛してはならない。

「神の法なんてどうでもいい。神と無関係に成立するこの世界でいいじゃないか」という態度は、「世を愛している」ことである。

「貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友になりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。」(ヤコブ 4・4)

われわれは、聖霊が内側におられるので、神の法が適用されない世界が苦しくてたまらない。

「世」が嫌でたまらない。

もし「世」が嫌でないならば、その人は「神の敵」である。

「別にこの世界が神の法に無関係で成立してもなんとも思わない。クリスチャンであっても、この世の学問をそのまま受け入れるべきだ。進化論だって、非六日創造説だって、聖書に無関係に受け入れるべきだ」というような人は、「貞操のない人たち」である。

こういう人々は神の敵なので、滅びる。

救われる人は、世界を神の国に変えようとする。

そのために自分の人生をささげる。

悪魔の弟子たちは、神の国をつぶして悪魔の国を広げようとしている。

これが陰謀である。

聖書にははっきりとそのような勢力があると述べられている。

「地の王たちは立ち構え、治める者たちは相ともに集まり、主と、主に油をそそがれた者とに逆らう。」(詩編 2・2)

そのような陰謀の最初としてバベルの塔が聖書に記されている。

今の世界を牛耳っているユダヤ人は、バベルの塔を建設しようとしている。

ロスチャイルドは、自らを「ニムロデの子孫」と称して、自分の会社に Nemrod の文字を入れている。

彼らは世界政府の建設をめざし、神の国を壊滅させようとしている。

しかし、彼らは倒れる。キリストが勝利することはすでに決定されている。

「なぜ国々は騒ぎ立ち、国民はむなしくつぶやくのか。
地の王たちは立ち構え、治める者たちは相ともに集まり、主と、主に油をそそがれた者とに逆らう。
「さあ、彼らのかせを打ち砕き、彼らの綱を、解き捨てよう。」
天の御座に着いておられる方は笑う。主はその者どもをあざけられる。
ここに主は、怒りをもって彼らに告げ、燃える怒りで彼らを恐れおののかせる。
「しかし、わたしは、わたしの王を立てた。わたしの聖なる山、シオンに。」
「わたしは主の定めについて語ろう。主はわたしに言われた。『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ。
わたしに求めよ。わたしは国々をあなたへのゆずりとして与え、地をその果て果てまで、あなたの所有として与える。
あなたは鉄の杖で彼らを打ち砕き、焼き物の器のように粉々にする。』
それゆえ、今、王たちよ、悟れ。地のさばきづかさたちよ、慎め。
恐れつつ主に仕えよ。おののきつつ喜べ。
御子に口づけせよ。主が怒り、おまえたちが道で滅びないために。怒りは、いまにも燃えようとしている。幸いなことよ。すべて主に身を避ける人は。」(詩編 2・2-12)

われわれは、御子のもとに身を寄せるべきだ。

勝利はわれわれの手にある。

96 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月4日(木) 午前3時13分

タイトル: ボルシェビキ革命とフリーメイソン

ボルシェビキ革命は、フリーメイソンが計画し、エリート銀行家たちが資金を提供した運動であった。

=====

パトリック・ヘニングセン

21 世紀通信

2011 年 8 月 2 日

今でも、社会主義者と中流階級の活動家は、過去の革命と共産主義の功績を理想化する。 人気のある神話とは逆に、いわゆる「社会主義」革命と独立戦争の多くは、有機的運動でも草の根運動でもなかった。

史実によれば、ロシアのボルシェビキ革命と米国革命は、いずれもがフリーメイソンが主導し、銀行家が資金提供した計画である。それは、権力を拡大し、20 世紀と 21 世紀に新世界秩序を建設するための種蒔きであった。

これらの革命は、「集産主義」に基づいている。その隠れた目標は、今も社会の完全統制と世界市場の完全支配である。 その計画と最終的な権力掌握に関するジュリア・リンダ監督による優れたドキュメンタリーを見ていただきたい。 http://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=TmindJnEDvo

http://www.infowars.com/bolshevik-revolution-was-engineered-by-freemasons-financed-by-banking-elite/?utm_source=twitterfeed&utm_medium=twitter

=====

97 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 4 日(木) 午前 3 時 43 分

タイトル: 円は競争力がない通貨？冗談でしょう

中国人や韓国人の発言に、「日本は競争力がなくなった。これからダメになる一方だ」というものが多い。また、マスコミも同じ論調だ。

これ、すべて印象操作だから注意しよう。もし日本に競争力がなければ円高にはならないし、長期金利も世界最低であるはずがない。

もし日本の経済が弱くて、円が信頼に足らない通貨であれば、ドルの逃避先には絶対にならない。

今、ドルが下落し、その一方で上がっているのは金と円である。つまり、円は金なみに信頼がおけると評価されている。

あと、逃避先になっているのが、スイス・フラン。

マスコミは、中韓人による印象操作の媒体となっている。

円高を何か悪いことのように描いている。

本来円高も円安も国に影響はない。

貿易が輸出依存ならば円高は影響があるが。

しかし、日本の輸出依存率は世界最低レベルである。

日本は内需の国だ。

日本が発展途上にあり、外貨を稼がなければならない時代において、円高は困る。

しかし、世界対外純資産がダントツ世界一の超大金持ちの日本が円高でダメになるなんてことは絶対にない。

全部印象操作。

おそらく原発もそうだろう。

原発で冷却装置が機能しはじめたというニュースのあとに、10SVの高放射能スポットの発表。

以前から作業員が近づけない場所があるという情報はあった。

なぜ今頃？

私には、原発情報がカードとして使われているとしか思えないのだ。

つまり、原発ニュースによって日本人の心理を操作している。

いいニュースと悪いニュースを交互に出すことによる洗脳。

私には、心理的に疲弊させ、労働意欲をそぎ、産業を低下させようとする中韓の陰謀としか思えない。

原発事故は、鉄塔が倒れなければ起きなかった。これは東電も認めている。

鉄塔はどうして倒れたのか。

一番重要な情報なのに、写真も何も広く公開されない。わずかに報道番組のスポットとして流れたことはあったが。

民主党政府と東電と中韓とその背後の連中がぐるになって日本を貶める計画があるとしか考えられない。

98 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月4日(木) 午後6時09分

タイトル: キリスト教に関して深い知識がない限り、ユダヤ人の行動を読み解くことは不可能

今の世界の基本構造は、黙示録の「獣に乗る大淫婦」の図式である。

つまり、真の神を裏切って墮落したユダヤ人が、力はあるが知恵のない異邦人を騙してコントロールしている。

解決は、異邦人の側が、知恵をつけるしかない。そして、騙しから解放されることだ。

進化論も無神論も、すべてユダヤ人の仕掛けである。これは、シオン議定書の中ではっきりと宣言している。そして、キリスト教界も、リベラリズムとディスペンセーションナリズムという偽のシステムを作られてしまっている。金融システムも宗教システムも全部ユダヤ人の仕掛け。

日本が米国によって支配されているというのは表面的な真理でしかない。実際は、1913年にFRBができて、3円で100ドルを生み出すシステムを作り出したロスチャイルドの支配下に入った。この法案を通したウィルソン大統領は、「わたしは祖国を滅ぼした」と言った。

米国は、ロスチャイルドがいるシティ・オブ・ロンドンの属国である。米国人が、日本に原爆を落とし、ベトナム人をナパーム弾で殺し、イラク人を劣化ウラン弾で殺しているのは、知恵がないから。「世界を救う英雄」とおだてられて、まったく逆のことをさせられてきたというのが真実。

そろそろ「おれたちは騙されてきたんじゃないか？」と気づくべき。

キリスト教を批判する陰謀論者も騙されている。この世界の主権は紀元70年にキリストが獲得した。キリストに逆らうことは、批判対象のユダヤ人と同じ運命、つまり、破滅しかない。

300年間サタンはロスチャイルドを利用して、世界政府を作らせてきたが、最後の最後にサタンは必ず裏切るので、ポイ捨てされるだろう。

オウム事件やイラク戦争以降、宗教や原理主義を、総じてカルト扱いする風潮も、ユダヤ人の誘導である。

人間は、不可避免的に宗教的である。なぜならば、科学的に証明された領域は、ごく限られているから。われわれの生活は、ほとんどが科学的に証明されていない領域のことがらである。

人間は、分析的な知識だけではなく、総合的な知識を必要とするが、総合的な知識は実は科学では扱えない。たとえば、心理学的法則と物理法則を知ることではできても、その両者を利用してある問題について考える場合に、論証的認識ではなく、直感的認識を行わざるを得ない。しかし直感的認識は科学の手法ではない。

たとえば、人を採用する場合に、単に試験の成績だけではなく、面接によって全人的に見ようとする。この総合的認識は直感によるので、科学的ではない。

ロスチャイルドそしてイルミナティの最終的目的地は、キリスト教の撲滅である。その目的地は、キリストの王国の

壊滅。そして、サタンの王国を確立すること。

だから、陰謀論者で、キリスト教を攻撃している人を見たら、向こう側から送られた人でないかと疑う必要がある。知らないうちに、向こう側に利用されるので。

キリスト教に関して深い知識がない限り、ユダヤ人の行動を読み解くことは不可能である。

99 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月4日(木) 午後7時47分

タイトル: イスラエルの目標は達成されない

ロスチャイルドのイスラエルの目標は、大イスラエルの建設である。ユーフラテス川までアブラハム契約で約束された領土だから占領するぞと。しかし、イエスは「旧約の契約をすべて成就するために来た」と言われ、「天地におけるすべての権威を与えられた」と宣言されたので、領土預言も全部成就した。

結局、ロスチャイルドは、「あのイエスではだめだ」ということなのである。イエスではない人間がこれから到来すると信じている。そして、その「メシア」のもとでニュー・ワールド・オーダーが到来すると。しかし、聖書ではイエスこそメシアで、イエス以降はニュー・ワールド・オーダーである。

全世界の指導者たちが今、この偽メシアによる偽ニュー・ワールド・オーダーのために働いている。しかし、これは、イエス・キリストに対する反逆であるため、滅亡する。神は必ずロスチャイルドの野望を打ち砕かれる。サタンの計画が挫折するのは、すでに決定されたことである。全能の神は絶対的に勝利される。

100 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月5日(金) 午前4時23分

タイトル: 主がいつ来られてもいいように備えをせよ?

ツイッターで、「いつでも主の来臨があってもいいように、油を用意せよ」と勧めがあった。

油つまり聖霊にいつも満たされていなさいという勧めそのものは間違いではない。

しかし、「いつでも主の来臨があってもいいように」というのはいただけない。

プレ・ミレでは、再臨はいつあるかわからない、「その日その時は誰にもわからない」と主は言われたから、と考える。

しかし、この箇所は、紀元70年の預言である。紀元70年の来臨がいつ起こるかわからないとイエスは言われたのであって、終末がいつあるかわからないと言われたのではない。

終末は、「世界が整っていない限り来ない」というけじめがきちんとある。

なぜか。

「それから終わりが来ます。そのとき、キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、国を父なる神にお渡しになります。」(1 コリント 15・24)

「あらゆる権威、権力を滅ぼ」さない限り終末は来ない。(*)

ここでイエスは、父なる神に対して「将軍」の役割を果たしている。

将軍が戦利品をもって王のもとに進み出るように、イエスは世界という戦利品をもって神のもとに進み出る。

戦利品は、法的だけでは足りない。

実際的にも整っていなければならない。

つまり、法的に世界はキリストのものになったので、戦利品なのだが、実際的にも世界はキリストのものにならなければならない。

それが聖書を一貫して流れる主張である。

したがって、世界は実際に戦利品として神に献上できるだけの質と量を伴っていなければならない。

われわれクリスチャンの存在意義とは、この「法的現実の実際化」にある。

世界が福音によって変わり、あらゆる地域、領域にわたって神の法が適用されなければならない。万国がイエスを主として礼拝する世界にならない限り、終末はこない。

だから、むやみに「主がいつ来られてもいいように備えをせよ」というべきではない。これは、一見すると信仰的に見えるが、実際は反対である。「この地上をクリスチャンが変えることができるわけがない」というプレ・ミレの不信仰の告白である。

(*)

「この箇所は、紀元 70 年を指しているのではないですか」というかもしれない。

たしかに。

しかし、これは、「法的な成就」である。

紀元 70 年において法的に「キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、国を父なる神にお渡しになった」。

だから、法的には、すでにサタンは滅んでいる。

しかし、法的な現実、実際の現実とは異なる。

アパートの法的所有権が手に入っても、実際に住み着いている人々がいれば、そのアパートを本当に所有したことにはならない。

それと同じで、法的現実、実際の現実とするのが「宣教」であり「弟子づくり」である。

「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい」(マタイ 28・18-20)

イエスはここで、「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています」と法的現実について宣言された。

しかし、これは実際の現実ではない。そのとき、イエスを王とする人々はほとんどいなかった。

そして、今も多くの人がイエスを否定している。

だから、この法的現実、実際の活動を通じて、実際化されなければならない。

「あらゆる国の人々を弟子と」することによって、イエスの主権は現実化し、世界はそのとき本当に変わる。

101 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 5 日(金) 午前 4 時 55 分

タイトル: 法律を通じた世界のサタン化

一部に、裁判所で裁判官が 3 回木槌を鳴らすのは、キリストに対する 3 回の釘打ちから来ると言われる。

法律の世界と反キリストは深く関係していると思われる場合がおおくある。

たとえば、アメリカの「法の日」だ。アイゼンハワーが 5 月 1 日に設定したが、5 月 1 日はメイデー、労働者の日である。この日に、共産主義者、無政府主義者、社会主義者、労働組合関係者は行事を行う。

5 月 1 日は実はイルミナティの設立記念日なのである。

1776年5月1日、ドイツのユダヤ人アダム・ヴァイスハウプトによってイルミナティは設立された。

共産主義者のメイデーはイルミナティの記念日と合わせて制定されたとみられている。

1ドル札のピラミッドの下のローマ数字の最後のVとIは5月1日を表すとも見られている。

アイゼンハワーは、このことを知りながら「法の日」を制定したのではないだろうか。つまり、法の日とはイルミナティの設立記念日に基づいて制定されたと。

ラッシュドゥーニーの友人で著名なジャーナリスト、オットー・スコットは、米国の建国を「法律家による革命」と呼んだ。

「フィラデルフィアの法律家たちは、アメリカをクリスチャンの国家にしないことに決め、教会をつんぼに敷いた。…事実、彼らは、キリスト教が約束していたすべての約束、幸福・安全・保全の追求など、あらゆるものを横取りした。ついに、法律家のパラダイスが誕生し、教会は、かやの外に追いやられた。」(Otto Scott, Easy Chair, audiotape No.165)

彼らに牛耳られた憲法会議は、「法律家による、キリスト教打倒の試み」であり、「それは成功を収めた」(Ibid.)。

ここでなぜ法曹界とイルミナティ（またはフリーメイソン）が深くかかわっているかわかる。

つまり、イルミナティは、独自の法律の支配によって神の法による支配を崩そうとしたということだ。

つまり、ピューリタンが作りつつあった神との契約社会、神の国の破壊である。

合衆国憲法は、「政教分離の法」であった。

法律が「脱宗教化」され、ノンクリスチャンでも受け入れられるような共通基盤になるように変更された。

自然法という聖書とは関係のないものを基準とし、神を除外した世界を作ろうとした。

これで、なぜ木槌を3回打つことがキリストへの釘打ちから来ているのかお分かりだろうか。

イルミナティは、法律を通じて世界をサタン化しようとしているということだ。

102 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月5日(金) 午前6時13分

タイトル: 安定を維持し、武装蜂起を防止せよ！

今、0.25mSV/h程度で放射能被害だと騒ぐ人々がいる。

震災がないときの日本橋やローマでも 0.3mSV/h なのだ。

ラジウム温泉では 3~6mSV/h という。

ロシア革命前、左翼が人々の中に入ってしきりに扇動した。それは、「皇帝暗殺はユダヤ人のしわざだ」との噂が広まったからだ。

農民たちは暴動にいざなわれた。

「皇帝暗殺」。このセンセーショナルな事件。

私は、どうしても仕掛けにしか思えない。

あえて危機を作りだし、人々の心を動揺させる。

揺れ動いた心を利用して、武装蜂起を実現し、人々を一挙に革命にもっていく。

これが共産革命のやり方だ。

今、日本はこの革命のさなかにいる。

左翼政権が、あえて原発事故の汚染拡散を放置している。

人々は、パニックに陥る。

いろんな食品に放射能が混じっているとすれば当然だ。

しかし、注意していただきたい。

虚実が入り混じっているから。

民主党の情報が小出しで出てくるのは、心理操作しているのである。

原発事故も、従来の様々な事故と違って、延々と続く。

何か進展があったと思ったら、突然 10SV のホットスポットが出現。

今は、4号機から火災が疑われている。

どうしてこうも延々と続くのか。

おかしくないか。

これは、心理操作なのだ。

できるだけ、われわれの心を浮足立たせるための。

心が落ち着かなければ仕事ができない。

浮き草の状態にして、武装革命をやれば、一挙に革命政権を樹立できる。

これがロシアや中国でやった革命である。

実にサタンのだ。

サタンは、エバに疑いを与えた。「本当に神はそんなことを言われたのですか。神はあなたがかしこくなることをねたんでいるのです」と吹き込み、動揺させた。

その後で、「この実を食べなさい。これを食べるとかしこくなれますよ」と神の代替案を提示した。

人を誘惑する方法の典型は、「不安を与えること」である。

ねずみ講のようなインチキ商品販売の会場に行けば分かる。

まず人を不安にさせるのだ。

「こんなにばい菌がついています。」とか「ダニがこれだけ！」とか。

そして、それを解決する商品を提示する。

われわれは信仰がぐらついたら終わりだ。

今、日本人は試されている。

民主党を通じて投げかけられている動揺の誘いを拒みきることができるか。

ここで社会に亀裂が走るならば、一挙に武装蜂起が起きる。

各地で武器が発見されているという。

砲弾とかが埋めてあったり。

これは、武装蜂起のために貯蔵したものではないか。

朝鮮総連などへの査察を行うべきだ。

いったん起こってからでは遅い。

103 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月6日(土) 午前8時49分

タイトル: 教育が同性愛を推進？

全米教育協会 (NEA: 全米最大の労働者組合で、公立学校の教員から引退した大学教授まで含まれる「教員組合」) が人権キャンペーンの一環として、同性愛教育推進団体に巨額の基金を設けるというニュース
<http://godfatherpolitics.com/374/teachers-union-financially-supporting-gay-rights/>

日本でもそのうちやりかねない。「人権」をかさにきて「法」を破壊する企てを、「教師」が先導する！！

サタンに支配されているから、こういうふうに向かうのですね。教育者なんて信用できない。

だから、学校なんて、学問的情報だけ提供していればいいんです。

金八みたいなのが、よけいなことをやるのが教師のような認識を人々にまきちらした。

基本として、クリスチャンは、ノンクリスチャンのカウンセリングを受けない。

なぜならば、悪魔の知恵が入るから。

となると、教育とは、ただ単に学識だけを受け取る単位制度にしたほうがいい。

あとは、教師と接触しない。個人的にも。

ホモを推進するような連中に接触すると、おかしくなる。

ノンクリスチャンはサタンの支配下にいるから参考にはなりません。

相当な批判力がないと相手の世界に巻き込まれる。

104 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月6日(土) 午前9時03分

タイトル: もう幻想に神経をすり減らすのはやめよう

あるサイトから。

====

あーこの国もうダメかもわからんね。

...

線量限度の被ばくで発がん 国際調査で結論

<http://www.47news.jp/CN/200506/CN2005063001003768.html>

放射線被ばくは低線量でも発がんリスクがあり、職業上の被ばく線量限度である5年間で100ミリシーベルトの被ばくでも約1%の人が放射線に起因するがんになるとの報告書を、米科学アカデミーが世界の最新データを基に30日までにまとめた

====

過剰反応の典型のように思う。

「年間20mSVでもがんになるぞ！」

「で、どれくらい？」

「1パーセント。」

これでどうして「あーこの国もうダメかもわからんね」なのだろうか???

最近、年間20mSVで大騒ぎになった。たしかに子供の場合は事情が違うかもしれない。

しかし、大人にとっては騒ぐ問題ではない。だって、発ガン1パーセント。

今、福島市でも年間11mSV。癌になるのは0.5パーセント未満でしょう。

原発周辺の高汚染地帯は別にして、日本中が騒いで、「もうこの国はだめだ」という問題ではないと思う。

「いや、内部被曝は怖い」。

たしかに。

しかし、1960年代核実験の時代に、われわれは子供時代をすごした。1万倍の線量だったという。

でもそんなに影響がない。たしかに癌は増えているが。

もう幻想に神経をすり減らすのはやめよう！

敵の思うつぼだ。

105 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月6日(土) 午前11時20分

タイトル: 中央銀行とは何か？

<http://echerry.exblog.jp/13214360/>

中丸さんは、思想的にはニューエイジでイルミナティだが、このイルミナティの批判は正しい。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月6日(土) 午後0時36分

タイトル: 福祉国家を捨てるべし

国家とは、個人の財産と名誉を守るために存在するサポート組織でしかない。それが理念を持って個人を動かそうなんてのは本末転倒。だから、国家がやるべきことは、警察や軍隊、裁判所、つまり、正義の使命。個人の生産と利益を保全するために犯罪や侵略を防止するためにある。

それが、20世紀になってから福祉国家なるものが登場。余計なことをはじめた。よりにもよって一番サービスに向いていない役人がサービスをやるようになった。競争がないものだから自浄作用がない。倒産がないからお金を使いほうだい。国民から税金を半分とってまだ足りない。

株式市場において、業績が一番よい会社に資金が集まる。しかし、福祉国家においては、業績が悪い組織に資金が集まる。つまり、増税だ。経営に失敗すると、政府は増税する。だから貴重な資源が無駄に使われる。福祉国家とは、最悪の経営形態である。

願望を列挙して一年の予算をはじめめる家族がいるだろうか。家族のメンバーがそれぞれ一年間やりたいことをあげて、合算して予算を決定したら、絶対に収入をオーバーする。収入の範囲内で収められることを期待するのは性善説である。

累進課税制度は、ねたみの法律化である。がんばった人をがんばった分だけ罰するシステム。だから、累進課税制度をとる社会は自殺しようとしているのである。組織経営としては最悪の制度である。がんばった生徒にがんばった分だけペナルティを与える学校が成績を上げるだろうか。

「しかし、累進課税制度をやめれば、格差が広がる」というだろうか。格差のどこがおかしい？自分の努力やオ

能によって格差が生まれるのは自然である。格差イコール貧困という考えは間違い。格差を認めて、努力した人に正当に報いることにより経済が活性化して、全体が底上げされる。

今の制度は、累進課税制度によってがんばった人からごっそり国が取り、それをがんばらない人に分配する。だから、国民は「この国ではがんばらないほうが良いということなんだな」と理解する。

遵法者よりも犯罪者のほうがリスクが低い死刑廃止論も同じ。殺された人よりも、殺した人のほうが厚遇されれば、国民は「この国では法を破ったほうが良いということなんだな」と理解する。

日本は早めに福祉国家を捨てて、税金の上限を9パーセントに設定せよ。

107 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月6日(土) 午後5時36分

タイトル: 死刑制度の問題は矯正とか犯罪抑止の問題ではない

死刑制度を肯定する文章を書くと、必ず「死刑にしても犯罪は抑止できない」とか「死刑によって犯罪者を矯正はできない」とかいう反論が返ってくるが、われわれ遵法的市民からすればそれは副次的な問題。

死刑が犯罪抑止に効果があるかどうか、矯正に役立つかどうかは、二の次の問題で、主要な問題は、「普段から法を守れとわれわれに要求する国家が、どうして殺人罪については、犯罪者のかたを持つのか」ということ。

万引きをしたら、その品物を返すのが当然。

人に損害を与えたら、最低でも同じものを返すべし。

壁を凹ませたら、平らになるように修理すべし。

なのに、死刑についてだけは、同じものでなくてもいいよという。

凹みができたままでいいという。

どうして？

もちろん、過失致死の場合は、それでも仕方がないかもしれない。

しかし、故意の殺人については、「人のいのちを取ろう」と意図したわけだ。

それに対して、被害者は普通、予期はしていない。まさか、人に襲われるとは思っていない。

ということは、もし殺人者を処刑しなければ、被害者のほうがリスクが高くていいということになる。

殺人が横行している戦場のようなところにおいて殺されたら、それは話は別だ。

普通の道を歩いていて殺されたら、明らかに遵法者のほうがリスクが高くなる。

これでどうして法のもとに平等といえるのか？

法を守った者に褒美を与え、破った者に罰を与えるのが当然ではないか。

しかし、死刑廃止論にしたがうと、法を守った者のほうが破った者よりも大きな不利益をこうむることになる。

これじゃあ、法治国家ではない。

問題はここだ。

つまり、正義。

国家は正義を促進しなければならない。

そのような使命を与えられた国家は、故意の殺人者を必ず処刑しなければならない。

108 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月7日(日) 午後11時58分

タイトル: 教会成長学によって教会は両替商の巣になった

ピーター・F・ドラッカーは、カバリストで、世界統一政府論者。

教会成長学に多大な影響を及ぼす。

(以下、英語引用。後で時間があるときに訳したいと思います。)

=====

Peter Drucker, the Kabbalah, and Total Quality Management (TQM)

Communitarians refer to the creation of a world government as the effort to create a “healthy society.” The goal of the church growth movement (CGM) is to manipulate Christians and churches into this healthy society. “Health-based” language is sometimes used in the CGM. Some church growth leaders desire “healthy churches” and “healthy congregations” made up of “healthy Christians.” A healthy church would be one in which all members are willing to compromise the Word of God for the common good.

Communitarians believe that attaining a healthy society involves the successful merger of the 3 sectors of society. It requires a merger of the government sector, the private sector (business) and the social sector (which includes the churches). This merger is also known as “Drucker’s 3-legged stool,” named after its main proponent, Peter Drucker, who is considered to be the “father of modern management.” Peter Drucker, like Amitai Etzioni, was a Communitarian and was also a student of the Kabbalah.

According to Roger Oakland’s “Bob Buford, Peter Drucker, and the Emerging Church,” Peter Drucker, like Amitai Etzioni, shared a bond with the Kabbalist, Martin Buber. Roger Oakland stated, “Drucker felt a strong bond...with a panentheist/ mystic named Martin Buber (1878-1965), who embraced the teachings of Hasidism (Jewish mysticism).” In his book, “Between Man and Man” (New York, NY: Routledge Classics, 2002, first published in 1947), p. 219, Buber states, ‘Since 1900 I had first been under the influence of German mysticism from Meister Eckhart [a mystic] ... then I had been under the influence of the later Kabbalah [Jewish mysticism] and of Hasidism.’” 32.

Drucker, who developed the community-based global management system, was under the influence of the Kabbalist Martin Buber, who also taught Amitai Etzioni, the Israeli Zionist Communitarian leader in the U.S. and founder of the Communitarian Network. Roger Oakland, quoting Michael Schwarz’s “Early Influences upon Peter Drucker’s Perception of ‘the Public Interest,’ stated, “Drucker was a student of Buber’s at the University of Frankfurt.” 33. John E. Flaherty, author of Peter Drucker: Shaping the Managerial Mind, wrote that Drucker “[drew] upon the wisdom of the philosopher Martin Buber.” 34.

Peter Drucker was very interested in getting churches involved in the implementation of the world government. Drucker, who once lamented that there were “still many unhealthy churches,” 35. was not only an occultist, but an organizational guru. It was his involvement in the Jewish Kabbalah that inspired him to create an organizational model that would transform churches into agents of Satan. This organizational model today is called Total Quality Management (TQM). “Total” stands for “totalitarian.” It was Drucker’s vision that all organizations, including church organizations, within the 3-legged stool (Communitarian system) be run on TQM. He considered churches not conformed to this TQM model to be “still unhealthy.”

Today, Drucker’s vision has become reality as organizations across all 3 sectors of society have been conformed to a TQM-style organizational model. This organizational model is called Total Quality Leadership in the military, Community Oriented Policing (COPS) or DARE in civilian law enforcement, Outcome-Based Education (OBE), and School to Work (STW) in politics.

Perhaps the main organization manipulating the churches into this Communitarian partnership (New World Order) is the Leadership Network (www.leadnet.org). The Leadership Network was founded by an entrepreneur named Bob Buford. Buford also founded the Peter F. Drucker Foundation for Nonprofit Management (now called The Leader to Leader Institute). In the dedication to his book, “Halftime”, Buford referred to Drucker as “the man who formed my mind.” 36. The Leadership Network is in the business of marketing and promoting church growth. The Leadership Network trains church leaders how to implement congregational transformation. “The Mission of the Leadership Network is to ‘Accelerate the emergence of

the 21st-century church,' and that the (emerging) 'paradigm (of the 21st century church) is not centered in theology, but rather it is focused on structure, organization, and the transition from an institutionally based church to a mission-driven church.'" 37. Listed among the recent contributors to The Leadership Network is the Goldman Sachs Philanthropy Fund. 38.

The TQM-style model has been adopted in varying degrees by all churches that have been infiltrated by the church growth movement. This is a major step toward conforming the churches to the standards required by the "Healthy Society." For example, the First Korean United Methodist Church of Kentucky's (FKUMC) website states, "FKUMC is dedicated to maximizing the growth of its members through productivity, training, teamwork and total quality management." 39.

The TQM organizational model in the churches is a transformational process or change process which utilizes group peer pressure to conform the church members to the goals (purpose, mission, vision) of the church leadership.

<http://www.thirdgreatawakening.org/communitarianism.htm>

=====

いや、驚きました。

それこそ猫も杓子もドラッカーの、ピーター・ドラッカーの正体がこれだったとは！

カバラ・ブーバー・エックハルトにルーツを持つ共産主義者！

「健康な***」は彼が仕組んでいた！

「健康な***」は、もう十年前に福音派・聖霊派がいっせいになびいていました。

「パーパス・ドリブン」「プロミス・キーパーズ」「コーチング」みんなそう。

病院でもやけに「健康なチームづくり」「アウトカム重視」が流行しだしたと思ったら、これも奴らの仕業だったのか！

上記：「健康な」は「健全な」と言い換えられることもあります。

そうか、だから経済界・医療界・キリスト教会どこもかしこも「健康/健全な組織（チーム）づくり」を目指す「リーダー」はドラッカーにかぶれるから、いっせいに共産主義者になってしまうんだ！！！！

ドラッカーは、ユダヤ人。ユダヤ人でグルー的存在になるのは、ロスチャイルドがバックにいるから。ロスチャイルドは、各業界でカリスマを作り、彼の思想を忍び込ませてきた。

ああ、恐ろしい。敵はここまで綿密・緻密な計画をたて、確実に一步一步すすめてきたのだ。

バベルの塔は脆くない。人間の知恵や努力では破壊できない。理屈や正論などとおるはずがない。ディスカッションもディベートも無駄。囓んで含めようが、叱ろうが、手本を見せようが、何をしようが。

ピーター・F・ドラッカーは著書で、「スーパーチャーチ」を賛美していましたね。

今の教会成長学の雰囲気は、彼のそれでしょう。

それから、「非営利組織は、成果を重視しなければならない」という彼の教えが教会に適用され、「人数で教勢を図る」というおかしい風潮を生み出した。

思い出した。例の「千人教会」のO牧師の愛読書は、落語漫談全集と、ビジネス・リーダーの著作だ、というのは有名な話ですね。

まず経営学がユダヤ思想にやられ、次に経営学を取り入れた教会成長学に入った。

教会成長云々の話で、「私は経営学の著書を片っ端から読みました」と語るのをきいたことがあります。

そりゃ、教会乗っ取りだって平気で企てるはずだ。

教会が間違った組織に変わった。

ビジネスのひとつになった。

神殿の両替商。

鞭で追い出すべし。

「医療ビジネス」なんてのもそうですね。

「勝ち残る病院になるには」なんて書物が、院長・事務長の必読書になっている。

教会で「真理」よりビジネスが
医療機関では、医療の質とか、患者の尊厳とか、思いやりなどよりビジネスが優先されている。

それが今の **common sense**

今の教会の、ビジネスライクなムードに違和感をすごく感じています。

牧師会で、フラー神学校出身の伝道者から教会成長学の授業があったのですが、ほとんど出席しませんでした。

何か違う、と。

ビジネスで、聖書の契約思想とまったく違うので、牧師は教会の中で聖書の勉強をしないし、させない。

それで、今のクリスチャンはほとんど無知蒙昧のまま放置され、行事に借り出されて、何かキリスト教をやった気持ちになっている。

ビジネスに利用されているということでしょう。

病院が「からだ」を
学校が「たましい」を
教会が「霊」を
破壊していく「ひとごろし」

総じて、ユダヤによる、神の国つぶしが進行中。

109 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月8日(月) 午前0時06分

タイトル: ご連絡

メールアドレスが robcorp@p...になっておりますが、これは現在使用されておられません。

millnm@p...のほうによろしくお願い申し上げます。

富井 健

110 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月8日(月) 午前7時16分

タイトル: 神は信賞必罰をしっかりとやる社会を望んでおられる

格差は悪だ、というのは現代の神話である。

格差は善なのだ。

たとえば、相手に努力した分だけ褒美を与える。これって、すがすがしい。オリンピックで金メダルを与えて、銀や銅の人と格差をつけるのが悪か？

がんばったり、能力がある人が、それを生かして自分の成功の果実を味わうことを許すような社会が健全な社会（ドラッカーがいうものと違います）。

がんばった人から、がんばった分だけ余計に取ろうとするのは、ねたみと嫉妬で頭の中がいっぱいになった根性がひねくれた人間のやること。

つまり、累進課税制度というのは、サタンが作った制度。

マルクスの『共産党宣言』で「重度の累進課税制度を！」と提唱されている。

格差を嫌う人の本音とは、ねたみ以外の何物でもない。

ねたみ、うらやみの根源はサタン。

サタンは神の栄光をねたんでいる。

サタンは神を引き摺り下ろして自分がその地位に立ちたいと思っている。

だから、彼の傀儡も同じように、ねたみと嫉妬の奴隷なのだ。

格差社会は自然の姿である。

人間には、努力する人と怠ける人がいる。

才能がある人とない人がいる。

神は信賞必罰をしっかりとやる社会を望んでおられる。

111 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月8日(月) 午前9時49分

タイトル: 神の国の発展の原理: 原状回復

聖書の社会的原理は、原状回復である。

つまり、誰かが自分の庭に凹みを作ったら、それを埋めさせる権利がある。

これが私有財産権である。法律や裁判所、警察、軍隊、つまり、国家の存在意義とは、この原状回復を強制することにある。

これによって、政治的・経済的・肉体的・精神的弱者でも権利が保障される。

肉体にもこのようなシステムがある。傷ができると、血液が固まって、皮膚が復活する。それによって、内部の環境と外部のそれとが区別できる。

このシステムがないと、出血多量ですぐに死んでしまう。

神は、このように人間社会において原状回復を行わせるために国家を作られた。

だから「目には目を」「歯には歯を」の原理が聖書の社会理論において中心なのだ。

この原理を逸脱する国家は、邪悪であり、一方の権利を優先し、他方の権利を損なうため、際限なく血液が流れ、社会は死んでしまう。

市場のシステムが聖書的なのは、経済の分野において「目には目を」「歯には歯を」の原理が適用されやすいからだ。

商品を買って質が悪いならば、消費者は二度と購入しない。

そのため、その会社は収益を上げることができず、市場から撤退する。

その商品によって生じる損失は最小限に抑えることができる。

しかし、福祉国家、つまり、税金でサービスを行うシステムの場合には、消費者に選択権が限られるため、損失が埋められず、拡大することになる。

劣悪な品質のサービスを官僚が提供しても、法律によってその官僚を排除することができないから。

どんどん傷は深くなり、ついには破産する。

福祉国家は経済的自殺である。

NHK のような特殊法人も同じで、利用の意思にかかわらず受信料を取られるシステムは、一方だけに有利な制度で、社会的不平等である。

原状回復ができずらいシステムであるため、聖書的ではない。

神の御心は、傷ができればそれが速やかにふさがれ、二度とそのような傷を作らないように学習し、さらに健康になることである。

神の国の発展はこのようにして進む。

クリスチャンが政治家になってこのような法律を作り、NHK のような利権システムを廃止することによって、神の国はさらに発展する。

112 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 8 日(月) 午前 10 時 08 分

タイトル: 神によって理想は現実化する

学生の意見の欠陥は、「現実の社会において理想が通る」と誤解していることだ、というのがそのとおりである。

ただし、この世界は神が創造され、支配されているので、真理は必ず勝利する。

いつかは不明だが、神の国は発展する運命であり、神がそれを推進しておられるので、われわれが活動し、理にかなったことを主張し、活動すれば、必ずそれは成就する。

ヒューマニズムの大きな欠陥は、このような希望を与えないところにある。

ヒューマニズムには 2 つの相矛盾する理念がある。

1. ヒューマニズムの人格理念。
2. ヒューマニズムの科学理念。

1. は、人間は何にも縛られない、自由だ！というもの。
2. は、世界はことごとく法則によって支配されている、というもの。

2を徹底すると、1が否定される。

1を徹底すると、2を否定する。

ヒューマニズムは、両者を調和させることができないので、永遠にどちらかに振れる。

科学的法則が絶対であれば、弱肉強食が通用し、どんなに弱者が正しい権利を主張しても、強者によって食われてしまう。

夢も希望もない。実証主義とはこちらの立場。

他方、人間の自由、解放を主張すると、科学的真理を無視する傾向がある。共産主義社会における、進化論信仰や、社会段階発展説などが好例。

「歴史は不可避免的に共産社会に向けて発展している」というのは幻想。

革命はまず米国で起こらねばならないのに、ロシアで起きた。

資本主義が成熟して社会主義、共産主義になるはずでは？

そうじゃない。

だから、ヒューマニズムにおいては、理想は、幻想に終わる。

至高者が人間である以上、人間の理念には誤りが多く、それを主張しようとする、科学と対立する。

結局、至高者を変えるしかない。

全知全能の神をすえる以外に、自由と科学は調和できない。

われわれは、理性を犠牲にせずとも、自由を主張できる。

自由を犠牲にせずとも、理性を主張できる。

われわれは、神の命令にしたがって、真理を主張し、社会正義を求めよう。

われわれが行うのではない。神がそれを行ってくださる。

われわれは神の器、道具であり、ことを実行されるのは神である。

だから、神にゆだねながら、仕事をすることによって、いつか理想は現実化する。

こういうことを科学万能のヒューマニストは主張できない。

聖書的キリスト教に切り替えるべし。

113 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月10日(水) 午前7時34分

タイトル: 経済成長や競争は悪なのか?

原発難民となった元宇宙飛行士・秋山氏がこういったそうだ。

『『経済成長がなければ、幸せになれない』という神話、いや、これはイデオロギーですよ。このイデオロギーから脱却しない限りは、今回のこの悲惨な事態の教訓を生かすことができないんじゃないでしょうか』

<http://mainichi.jp/select/jiken/news/20110728ddm013040137000c.html>

原発事故と、経済成長はまったく関係がありません。

たとえば、ソ連は、資本家による利益追求を否定した社会でしたがチェルノブイリが起きました。

こういう問題が起きるたびに、経済成長や競争社会を批判する人々が現れるが、成長や競争を諸悪の根源のように見るのは共産主義です。

競争が悪なのではなく、競争に勝つためには、人命を軽視してもいいと考えるアウトローが悪なのです。

ちゃんと規則にのっとってやっていれば、競争に何の問題もありません。

共産主義のプロパガンダに乗せられて、「そうだ競争を排除しよう」とやると、汚職と利権にまみれた不条理社会が到来します。

がんばった人の分をがんばらない人に分け与える累進課税制度によって、努力に意味がなくなります。

共産主義では、市場に代わるものとして、政府の所得再配分機能があるが、政治家や役人は聖人君子ではないので、自分のふところに溜め込む。

われわれが被造物である限り、競争を免除されることはなく、審査を回避できる可能性はゼロです。

競争を通じて裁きがあり、その裁きによって人は努力をし、社会は健全になります。

競争を排除した社会を肯定すると、政治家の利権から生活保護にいたるまで寄生者のほうが得をするきわめて不健全な社会が到来します。

114 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月12日(金) 午後11時03分

タイトル: 戦いに参加し、サタンを打ち負かそう

(1)

TVで「戦争は二度としてはいけないと思いました」という国民の感想。

たしかにそうなのだが、大事な視点が抜けている。

つまり、仕掛けられたらどうするのか、ということだ。

太平洋戦争はあきらかに仕掛けられた戦争である。

「なんであんな馬鹿な戦争をしたのか」という人がいるが、戦争をしていなければ植民地である。

当時の日本人は「生きるか死ぬか」の選択を迫られていた。

戦後になって米国が独立を認めてくれたからいえることで、戦前戦中の人々は米国がどんな国であるか、占領支配がどんなものであるか知らなかったのである。

今の国民の戦争感覚は決定的に現実離れしている。

本来なら日本は消滅していた。

アフガニスタンを見たまえ。

緑豊かな土地が、荒廃しきっている。

戦略上重要な土地であることの悲劇だ。

異民族支配ではないが、中国を見たまえ。

共産主義者によって支配され、未曾有の大虐殺が行われた。

世界は、覇権争いの舞台である。

それは、最初からそうだ。

神と悪魔の陣取り合戦である。

(2)

アダムが創造された目的は、サタンと戦って勝利し、地球全体をエデンの園にすることであった。

しかし、サタンと契約を結んでサタンの軍門に下った。

そのため、生まれながらの人間は、神の敵である。

われわれは神の敵として生まれてくる。

だから、そのままならば、「み怒りを受けるべき子」なのである。

われわれは「いや、サタンと契約を結んだ覚えはありませんよ。普通に生活しているだけです。神に逆らうつもりはありません」というかもしれないが、残念ながら、神の契約の中に入っていないものは、悪魔の契約の中にいる。

なぜならば、われわれの先祖がその契約に入ってしまったからだ。

(3)

礼拝とは、合一である。

違う存在が一体化することである。

神と人間がひとつの契約の中に入り、運命共同体になること。

これが礼拝である。

だから、幕屋の門のところで犠牲を殺さねばならなかった。

犠牲を殺して、その血のあがないを受けない限り、神の契約の中に入ることはできない。

なぜならば、罪を帯びている人間は、神と合一できないからだ。

人間は、そのままでは神と一体化できない。だから礼拝できない。

罪を処理しない限り、契約の中には入れない。

信仰によってキリストの犠牲を受け入れることが必要なのだ。

われわれの代わりに罪を背負って罪のない人が死なない限り、われわれは幕屋に入ることを許されない。

キリストを信じた人はみな、大胆に至聖所にまで入ることができる。

神の御臨在の中心までずかずか入ることができる。

なぜならば、われわれに罪はなく、神との隔てはまったくなくなったからだ。

「こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所にはいることができるのです。」(ヘブル 10・19)

(4)

キリストを信じた人は、キリストの体の一部であるから、運命共同体である。

キリストと同じ運命をたどる。

つまり、世界の支配者になるということだ。

キリストを信じて、契約に入ったわれわれは神とまったく一体化している。

だから、われわれに敗北などあるはずがない。

もし誰かが敗北を信じているならば、それは、その人の中に聖霊がないからだ。

聖霊は、われわれの心の中から語られる。

「なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。」(1ヨハネ 5・4-5)

(5)

サタンは自分の陣地を広げるために、クリスチャンに間違っただけの神学を教えた。

つまり、敗北の神学だ。

「今の時代は、千年王国ではないから、勝てない。再臨の後に千年王国が始まる。そのときになれば勝利できると。」

理屈は複雑に見えるが言っていることを単純化すればこうだ。

「われわれは、今の世界において勝利できない」。

今の時代であろうが、後の時代であろうが、いつだって、神は勝利者であり、キリストは世界の王であり、最高

権威者である。

そして、われわれは神とキリストと一体である。

ならば、どうして勝利できないといえるのか。

だました。

全部だまされた。

今の教会は、偽預言者にだまされた。

回復しないと大変なことになる。

クリスチャンが別の宗教の信者になった。

だから、いつまでも契約の中にい続けることはできない。

神は異物を排除される。

悔い改めて、勝利の信仰に帰るべきだ。

(6)

われわれこそが、首尾一貫した教理を持っている。

なぜか。

聖書的だからだ。

昔の人々はこう信じていた。

19世紀から20世紀にかけて教会は偽預言者にだまされてこうなったのだ。

だから、正統的な信仰に帰ろう。

そして、サタンの支配を撲滅しよう。

陣取り合戦を回避することはできない。

われわれが停止しても敵が攻めてくるだけだ。

戦いに参加すれば必ず勝利できる戦いだ。

なぜならば、法的権威はわれわれにあるから。

「天地において一切の権威が与えられたキリスト」と一体であるわれわれは、法的に勝利する権利と権威を持っている。

さあ、戦いに参加し、世界を支配しようとしているサタンの勢力を打ち負かそう。

115 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月12日(金) 午後11時15分

タイトル: キリストを信じる者は神と合一する

サタンと契約を結んだというが、どこに書いてあるのだろうか。

創世記である。

エバは、サタンの指示にしたがって、善悪の知識の木からとって食べた。

食べるという行為は契約的行為である。

食べ物は取り込まれて血肉になる。

つまり、一体化する。

食事は礼拝行為なのである。

聖餐式は別の儀式ではなく、食事なのはそのためだ。

キリストの食卓につくということは、キリストと同じものを食べて、一体化していることを確認することである。

だから、ノンクリスチャンを聖餐式に加えてはならないのである。

われわれの先祖はサタンが招いた食卓について契約を結んだ。

アダム族に属する間はサタンと一体化している。

キリストを信じてキリスト族になるべきだ。

そのときに、神との合一が可能になり、永遠のいのちを相続する。

116 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月13日(土) 午前6時49分

タイトル: 福祉国家は民族の緩慢な死刑である

福祉国家の最大の害毒は、依存心を養うことである。

手当てというもの。

国から毎月降りると、自分の精神的な一部になる。

それがないとやっていけなくなる。

つまり、その分だけ自分が弱くなることを意味する。

たとえば、いつも車に乗っていると、近くに移動するにも車を利用する。

自分で歩かなくなるから、足の筋肉が落ちる。

精神的にも怠惰になる。

そうすると健康を失う。

私の仕事は、この誘惑に陥りやすい。

文明の利器は、便利だが、しかし依存すると、自分を滅ぼす。

もしわれわれが、誰かによって支えられているならば、われわれは弱い。

自立していないならば、われわれは弱い。

弱くなると、それだけできるものもできなくなる。

これは、クリスチャンのあるべき姿ではない。

クリスチャンは、神だけに頼るのである。

教会に入ってかえって弱くなるような教会ならばそんなものは百害あって一利なし。

人に依存させるクリスチャンの集団ならば、そんな集団はつぶれたほうがいい。

列強と植民地の違いは人間の性質である。

列強の教育は、子供を鍛える。

植民地になった国で、宗主国はできるだけ自分に依存させて弱らせようとする。

頼る以外にはないようにさせる。

だから、植民地の国々の教育は人を鍛えない。

スポーツは人を鍛えるのによい。

だから、かつて列強だった国々は、オリンピックで上位を占める。

イギリスで多くのスポーツが発明された。

なぜならば、イギリス人は、植民地の支配者とならせるために子供を育てるからだ。

自立心を養うために、スポーツを通じて、あえて過酷な環境に子供をおく。

寄宿舎学校を通じて他人の釜の飯を食わせる。

日本では、戦後、米国の植民地教育が始まった。

腑抜けになるような教育を強制された。

そのひとつが、平和教育である。

「戦争は絶対にしてはならない」

もちろんだ。

しかし、仕掛けられたら、自国を防衛しなければならない。

もうひとつは、福祉国家である。

日本の農家は、補助金によって自滅させられた。

TVで農家が政治家に向かって、「われわれはもうやっていけない。あなたたちは日本の農業をどう考えているのか」と詰め寄っていた。

しかし、普通の業界だと、様々な環境変化によって業界そのものが消えてしまうこともある。

会社が消滅することは頻繁だ。

「存続が当たり前」という発想は変えないといけない。

失敗することが当たり前の環境で生きていかないと強くなれない。

長い間手当てとか補助金をもらおうと、自立できなくなり、知恵も生まれない。

これは、緩慢な死刑である。

福祉国家が一番有害なのは、国民から独立心を奪い、補助金を当てにする「飼い猫」にすることである。

日本を救うためには、一刻も早くこの体制をやめ、自主独立を取り戻すことである。

117 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月13日(土) 午前7時25分

タイトル: カナンに行けるグループに入ろう

(1)

インターネットでよく「1990年代まで日本は世界でもっとも所得格差のない国だった」という声を耳にする。

みんな中流だった。

こんな体制は長続きしない。

なぜならば、個人の能力は千差万別だから。

所得を維持するには知恵が必要だ。

この知恵も、千差万別。

となれば、いずれ所得に開きがでてくるのは自然である。

どの集団でも正規分布する。

東大の中でも優秀組と落ちこぼれ組がある。

どの集団でも、飛びぬけて優秀な人間と、劣等生がいる。

それに対して報酬を均一化すると、無理が生じる。

優秀な人間は、「劣等者のために所得を減らされている」と不平を言う。

劣等者は「努力しなくても生きていける」とさらに怠惰になる。

全体として、優秀な人間は、その集団から抜ける。残った人間は、がんばってもがんばらなくても同じなら、そこそこにやろうということになる。

全体のレベルが落ちてくる。

そして、世界の中で戦えない国になる。

国全体をレベルアップさせるには、報酬に差をつけなければならない。

優秀者をとりわけ評価し、報酬を与えるべし。

「全員中流」を理想とする国は、敗北する。

(2)

サッカーはわれわれに勇気を与える。

1993年にJリーグができた。

プロフェッショナル化して、全体の底上げをする以外に世界において勝てないと考えたサッカー関係者がプロリーグを設立した。

狙いは当たった。

20年たたないうちに、女子がワールドカップで優勝した。

男子は、連続してワールドカップに出場、ベスト16に入った。

先日の韓国戦は、日本のレベルが世界トップに上がったことを実感させてくれた。

もはやアジアレベルではない。

体格に劣る日本人でも努力すればこれだけの成果をあげることができる。

ドーハの悲劇や、ワールドカップ予選敗退など様々な試練があった。

しかし、あきらめずに努力すれば、道は開けるということを教えてくれた。

自主独立の努力によって日本は再興できる。

(3)

「補助金によって救う」道は、実は相手を滅ぼす道である。

本当に人を救いたいならば、その人に努力させることだ。

神は、モーセを指導者としてイスラエルを救われた。

しかし、すぐにカナンに入れたのではない。

荒野の訓練を通された。

過酷な環境の中において自主独立を学ばせられた。

生存のための戦いを通じて、イスラエルを鍛え、神の国に入るのにふさわしい人間に育てられた。

信仰のない人々は脱落した。

反逆者は滅ぼされた。

荒野を通じて振るいかけられた。

神の国カナンに入れたのは、「できる」と信じたヨシュアとカレブだけであった。できないといった人々はすべて荒野で滅んだ。

神は次の世代が育つまで 40 年間荒野をぐるぐると彷徨させられた。

プレ・ミレを信じる今のクリスチャンは、はっきりと「できない」と宣言するので、神の国に入れない。

神の国に入れるのは、ポスト・ミレを信じる人々だけである。

世界の福音派が壊滅するのも時間の問題である。

われわれはその中から出てカナンに入るグループに入ろう。

118 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 13 日(土) 午前 8 時 36 分

タイトル: われわれはシオニストユダヤ人に勝利できる

日本マクドナルドの創業者藤田氏がこういったそうだ。

「ロスチャイルドに代表されるように、ユダヤ人は世界経済の頂点に立ち、経済社会を意のままに牛耳っている。経済だけでなく、政治や文化のジャンルでも彼らの力は大きい。当然ユダヤ人に対する反目も強い。しかし、五千年の歴史を持つ彼らの生き方の前では、ほかの民族はまったく歯が立たないのである。」

まったくそのとおりである。

ユダヤ人は、神に訓練された民族であり、神の法を持っているので、異邦人は太刀打ちできない。

しかし、あきらめてはならない。

なぜならば、キリストはユダヤ人に勝利されたからだ。

紀元 70 年に、キリストは背教のユダヤ人を裁かれた。

神殿は破壊された。

マタイ 24 章の預言は成就した。

本当の勝利者は、どの民族に属するかではない。

キリスト契約に属するかどうかである。

キリスト契約に属していれば、必ず勝利する。

相手がたとえユダヤ人であろうと。

悪魔がユダヤ人を利用する方法は、「獣を飼いならす大淫婦」である。

黙示録のイスラエルとローマの構造がそのまま現代にあてはまる（しかし、これを黙示録の成就と考えてはならない。黙示録 19 章までは紀元 70 年に成就したから）。

ユダヤ人には知恵がある。

だから、人間である。

しかし、異邦人には知恵がない。

今も昔も聖書と聖霊がない異邦人は、野獣である。

キリスト教の影響が次第に薄れている日本では、カオスが広がりつつある。

これも当然のことだ。

ユダヤ人は、知恵をわきまえているので、獣を使いこなす。

現代で獣は主にアメリカである。

米国人の愛国心を利用して、イラクに攻め込ませることに成功した。

重要なのは、われわれが気づくことである。

サタンの攻撃方法に。

アメリカの背後にはイスラエルがある。

世界を動かし、戦争を撒き散らしているのはシオニストユダヤ人である。

われわれの祈りは、シオニストユダヤ人（つまり、イルミナティ）の天下が終了するようにでなければならない。

119 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月13日(土) 午後10時09分

タイトル: 王であることを自覚していないクリスチャン

教会の争いごとを裁判に持ち込むことは聖書において禁止されているにもかかわらず、最近こういう話が多くなっているのはどういうわけでしょうか。

<http://maranatha.exblog.jp/15230540/>

パウロは、「互いに訴えあっていることがすでに敗北である」といいます。

いかに自分が正しくても、クリスチャンの間では、「不条理のままにしておけ」と。

「そもそも、互いに訴え合うことが、すでにあなたがたの敗北です。なぜ、むしろ不正をも甘んじて受けないのですか。なぜ、むしろだまされていないのですか。」(1コリント6・7)

じゃあ、なぜそうなのか。

クリスチャン以上に権威を持つものがないからである。

クリスチャンは王であり、この世の裁判官よりも権威があるのであるから、裁判官に裁いてもらう必要はない。

たとえ自分が相手のクリスチャンにひどい目に合わされたとしても、そのひどい目にあっただまま放置すればいいのである。

そうすれば、神がそれを裁いてくださる。

地上における最高権威であるクリスチャン、そして、それを仲裁する教会における審判によって満足できないのであれば、それ以上の裁きの権威である神に持っていくしかない。

それを、地上の裁判所に持っていけば、最高裁から地方裁判所に上訴するようなものである。

なぜこんな事態になっているかというと、神学が不備なのである。

今のクリスチャンは、クリスチャンがこの世において王であることを受け入れない。

来るべき千年王国において王になると信じるが、今はそうではないという。

だから、こういう争いが起きる。

クリスチャンがクリスチャンを裁判所で訴えることによって自ら「私は王ではありません」と告白しているようなものだ。

これは、クリスチャンや牧師が、六日創造説を否定するために科学の専門家呼び出す傾向と似ている。

今のクリスチャンにとって聖書は最高権威ではない。

最高権威は、この世の科学だ。

だから、本音の部分において、今のクリスチャンは信仰がない。

信仰に生きていない。実践しない。

本音の部分ですべてを否定している。

「信仰の話は、現実とは違う」と思って使いわけている。

こんな調子でどうして大宣教命令を成就できるのだろうか。

こちらが教える立場にあるのに、ノンクリスチャンに教えられようとしている。

こちらが裁く立場にあるのに、ノンクリスチャンに裁かれようとしている。

だから影響力がないのだ。

120 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月14日(日) 午後8時49分

タイトル: 世界における霊的戦いのために祈ろう

ここ1か月、ものすごい量の翻訳をこなした。

明日からまた仕事が毎日ある。

老眼になったのか目がなかなか回復しない。しょぼつく。

チェルノブイリ関係の英和と露和の仕事だった。

放射能汚染について勉強することができた。

さて、再建主義の働きを初めて25年たつ。

1986年に米国でR・J・ラッシュドゥーニーの著作と出会い、翌年に神学校の卒論を書くために勉強。

その翌年には大和で牧師をしながら毎日勉強した。

1994年まで思考を変える時期だった。福音派の考えから再建主義の考えに。三鷹では多くのことを学んだ。

翌年からは、自立して働きを開始した。

25年前はまだ、いろんな意味で世の中が回っていて、問題はそれほどなかった。

私は、神の導きにおいてずっと問題意識を持っていたから、考えに考えていたが、世の中の一般の人々は、その時代の体制で満足していた。

クリスチャンも福音派の体制で満足していた。

いずれこの体制は破局にいたると考えていた。

1988年にすでに大筋は理解していた。

そして、予想していたとおりに世界の状況が変わっていった。

私は理解されるのにだいたい 30 年かかると考えていた。

クリスチャンの間には、徐々にだが理解者が増えている。

しかし、世の中の人々はまだまだ理解しない。

陰謀論者でかなり理解力がある人々でも、限界がある。

ノンクリスチャンは、どうしても霊的な世界のところに降りていくことができない。

霊的な世界が理解できなければ、世の中の本質が理解できないということだから、本質的に間違える。

世の中の本質は、霊である。神と悪魔の戦いである。

この霊的な戦いが、現象に現れているのである。

これが理解できないから、どんなに人気のある指導者でも、最終的にはサタンの陣営につれていかれる。

最後は、残念な結果に終わる。へたすると、オウムのように、犯罪者にまで落ちる。

指導者を間違えることは、自分の人生を間違い、人を不幸にし、取り返しのつかない失敗する可能性がある。

だから、指導者を間違えてはならない。

われわれの指導者は、イエスお一人である。

イエスは聖書を通じて教えてくださる。

だから、われわれの導き手は聖書だけである。

聖書にしたがっていけば、われわれは間違いのない人生を送ることができる。

だから、聖書を無視するような指導者ならば、別れることだ。

自分の人生を無駄に使いたくないならば、正しいことを教えてくれる指導者を見つけるまで妥協してはならない。

こういう重要なことについては、金に糸目をつけてはならない。

私は、書物に関しては金に糸目をつけなかった。

ドーイウェルトの本は 1 冊 2 万円もするが、必要だと思ったので買った。

カルヴァンからカイパー、ヴォス、ドワイウェルト、ヴァン・ティル、そして、ラッシュドゥーニー、ゲイリー・ノースと、真理を手ほどきしてくれる人々の本を読んだ。

予備校で3日教えれば27万くらいになったので、あいている時間を読書に使った。

残念ながら、今、キリスト教書店に並ぶ本は、ほとんど読んでも意味がない。

重要な本はごくわずかだ。そして、それを見つけたら精読すべし。時間をかけるべきだ。

上記に挙げた人々、とくに R・J・ラッシュドゥーニーとゲイリー・ノースの本は、キリスト教のエッセンスなので、ぜひ精読することをお勧めする。

さて、ラッシュドゥーニーの影響が政治に現れはじめた。

ティーパーティーの指導者下院議員ミッシェル・バックマンは、ラッシュドゥーニーの孫弟子である。

彼女のロー・スクールの恩師ジョン・エイズモーはラッシュドゥーニーの影響を強く受けている。

ミッシェル自身は自分の恩師をフランシス・シェーファーとしているが、フランシス・シェーファーの思想はラッシュドゥーニーからきている。

フランシス・シェーファーは、神学的に不徹底で、ある意味で2流である。

Wikipedia では、シェーファーが「統治主義者（つまり再建主義）」であったと述べているが、まったく違う。

彼は、セオノミーも、ポスト・ミレも奉じていなかった。

ただ、福音派に対してカルヴァン主義を紹介し、幾分誤謬から守った功績はある。

どの程度までラッシュドゥーニーの思想を政治に取り入れるか見守っていきたい。

今、アメリカは、がけっぷちである。

もしこの運動が失敗したら、ナチス以上の恐怖政治になるだろう。

そして、その影響は日本にも来る。

だから、ぜひともティーパーティー運動、バックマンやロン・ポールにはがんばってもらいたい。

アフリカでは、南スーダンが独立した。

恐るべき迫害が行われた場所である。実際に十字架についたクリスチャンがたくさんいる。

無数の犠牲者のうえについてクリスチャンが勝った。

ザンビアとあわせて、アフリカにおける神の国の発展のために祈りたい。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月15日(月) 午前11時19分

タイトル: クリスチャンは泣き寝入りしない

神を信じない人は泣き寝入りをする。

しかし、クリスチャンはしない。

なぜか。

神の裁きが必ずあると期待するから。

自分の手のとどかない強い権力が、理不尽なことをしたり、権利を侵したり、略奪したり、殺人したりしても、われわれは泣き寝入りしない。

卑屈になってその人々におもねったりしない。

なぜならば、神の裁きを待っているから。

最高裁判所まで訴えを持って行っても、最終的に正しい判決が下るとは限らない。

とくに社会が墮落して、正義を軽んじる場合、為政者よりの判決が下ることがある。

この場合、ノンクリスチャンは神を信じていないので、泣き寝入りする。

しかし、クリスチャンは、人間の裁判では裁かれなかったことをすべて公平に裁かれる神に期待するので泣き寝入りしない。

聖書には、このような「神の最終審判」がたくさん書かれている。

王がたくさん裁かれている。

そして、貧しい人々の権利が守られている。

信仰がある人々は、現実世界を超越してものごとを評価する。

そして最後には神が正しい裁きをしてくださり、不条理を解消してくださると信じているので、心が安らかである。

122 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月16日(火) 午前5時17分

タイトル: 本当の教会音楽はバッハなのか？

(1)

私はロックは教会にはふさわしくないと考えています。

場にふさわしい音楽ではないので、違和感を覚えます。

ロックの根底には、ニューエイジがあり、ニューエイジの起源はウェストコットとホートの幽霊会ですから、基本にオカルトがあると思います。

だからといって、バッハがふさわしいか。

どうもそのように思えません。

ヨーロッパ文明は、基本的に自然主義です。

自然理性が聖書啓示と並立、もしくは、優越するようなところがあります。

ユダヤ人の場合、アブラハムからキリストまで 2000 年の訓練の中で、「聖書の文字ひとつひとつに対するこだわり」とか「律法を守ることの重要性」を教えられていました。

ですから、紀元 70 年以降、背教した後でも、聖書を捨てなかった。タルムードとかいろんな要素を追加して、聖書を実質的に否定しているのだけど、それでも、律法を民族のアイデンティティにしている。

ユダヤ人が受けた 2000 年の訓練とは、「自然よりも聖書」を学ばせるためであった。

ヨーロッパは、最初から律法を捨ててしまった。

儀式律法を捨てて、道徳律法だけを残した。

つまり、律法について考え方をきちんと整理できなかった。

そのため、ヨーロッパの土着の異教がキリスト教に入った。それは、ヘレニズムというやつです。

(2)

ヨーロッパがキリスト教の担い手になったということは、キリスト教がヘレニズム化（ギリシア化）されたことを意味する。契約という考え方もあいまいになった。

総合して、ギリシア化されたヨーロッパのキリスト教は、自然が非常に大きな意味を持った。

ヘレニズムは、神と無関係に永遠の昔から成立していた自然を信じる。だから自然崇拝です。

ボヘミアン・グローブでふくろうを拝み、自然崇拝し、同性愛のパーティをやるような連中は、キリスト教の影響を払拭し、ギリシアへ逆戻りしている。

今の「自然に帰ろう」とか「母なる自然」とか、いわゆるグリーン革命のようなものは、ギリシアの自然崇拝の変形であって、反キリストです。

ヨーロッパの音楽には、この自然主義が強くあって、これを教会に取り入れることが本当にいいのか、疑問です。

私は、日本人にとってヨーロッパ音楽が教会音楽とイコールになっているのは、文化侵略としか見えません。

(3)

神道には、西洋の教会が失った契約的考え方が残っています。

自然を自立するものではなく、神との契約の中で捉える。

神殿構造の3段階（庭・聖所・至聖所）は神道に残っています。

おそらく雅楽は秦氏が持ち込んだもので、秦氏がユダヤ系キリスト教を継承しているとすれば、雅楽にそういう原始キリスト教の要素が残っているのではないかと思います。

神道にはカバラ（ユダヤ神秘主義）や呪術など悪魔的な要素が入っているのでそのまま受け入れるわけにはいきませんが、本来の聖書的な音楽を考える上では重要ではないかと思います。

123 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月16日(火) 午前5時38分

タイトル: フジテレビの韓流推しは無駄な努力

フジテレビが韓流を推しているが、無駄な努力である。

民族は神が設定されたもので、人為的にどうこうできるものではない。

何かを好きになるかどうかは、自然のなりゆきであって、押し付けて変わるものではない。

この押し付けの背後に「東アジア共同体」構想がある。

これはロックフェラーの理想であり、ソ連と EU でやってすでに失敗している実験である。

ソ連では「ソ連人」というものが作られた。

いろんな民族が、互いに差別なく暮らすのが理想国家ソ連であった。

しかし、これは民族性を無視したものであるから、長年の鬱積がついに爆発した。

ロシア人は、逆の方向に向かった。

ソ連崩壊後、ロシア民族主義が過激化した。

ユーゴなども失敗例である。

結局は内乱になった。

家族をばらばらにできないように、民族もばらばらにできない。

民族を結び付けているものは DNA であり、それは先祖において互いにつながっている人々は、本能的に何かを感じるものである。

そういった半ば動物的な本性を人為的に否定できるはずがないじゃないか。

いくら KARA とか少女時代を薦められても、好きになれない。

馬を水辺に連れていくことはできても、水を飲ませることはできないのと同じだ。

フジテレビは、ホリエモンの一件で、背後にユダヤがいることが明らかである。

フジの買収に資金提供したリーマンはヤコブ・シフのクーン・ロエブを源流に持つ会社である。

ユダヤが、韓国人を利用して、韓国文化を日本に広めて、日本と韓国の国境を消滅させるという魂胆である。

これも、バベルの塔の試み。

ロックフェラーは、無駄に終わるのではやくあきらめるべきだ。

タイトル: 山の上にある町としての教会

教会がロックを礼拝に取り入れるようになった大きな原因は、教会成長学だろう。

神学校時代、フラー神学校で博士号をとった教会成長学の講師が「礼拝にロックを取り入れて若者を集めるべきだ」と言っていた。

礼拝前にヘビメタのバンドを演奏させるべきだすら言った。

このような伝道方法は、聖書的ではない。

聖書では、クリスチャンは、山の上の町である。

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。」(マタイ 5・14)

一般の人々よりも高いところにある光。

みんなに見られる輝く存在である。

みんなが見て、「あれが真理だ！本物だ！」とわかるためにある。

みんなをレベルアップするためにある。

つまり、リーダーである。

たとえば、水泳教室に通うとする。講師は、理論と模範を示す。

みんなは「さすが、先生だ。ああいう風になりたい」と思う。

そう思わせなければ、リーダーではない。

リーダーは、一般の人よりも高いものを提示できなければならない。

しかし、教会成長学の方法は、低いものを見せるのである。

みんなが見て、「あんな堕落したものを教会でやっているの？」と眉をひそめるようなものを提示する。

だから、教会成長学にとって教会とは、谷底の暗い町である。

そこで何が行われているのかわからないような陰に隠れた堕落した町である。

教会成長学は世俗と迎合する方法をとったため、教会を大きく墮落させた。

世の中で何が流行しているかなんて教会にとっては関係がない。

自分のレベルを下げて人を集めようとする、人は離れていく。

水泳の先生が生徒を集めたいならば、さらに水泳に上達することである。

フラー神学校は、教会をビジネス化し、人気商売に変えることによって、世界の教会を大きく墮落させてきた。

そろそろわれわれは、サタンの欺きに気づくべきときではないか。

125 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月18日(木) 午後2時05分

タイトル: 国という偶像を捨てよ！それ以外には解決はない。

5人の子供でおまごつをする。Aが中央銀行の役割。B～Eは、その紙幣を使ってもののやりとりをする。B～Eは、等価の商品をやりとりする。当然Aも等価の価値を提供しなければならない。しかし、Aが提供するの、葉っぱにAのハンコを押したものだけ。これでどうして平等ですか？

全員が平等の社会を作るならば、Aも等価のものを提供しなければならない。しかし、Aは「1万円」と書いた葉っぱ。これでAはBに「1万円のをくれ」と言える。AとBの間にはほぼ1万円の不平等が生じる。BがAに1万円分の貴金属をくれと要求できるなら平等。そうじゃなければ最悪の格差社会。

中央銀行だけではなく、民間銀行も金を作り出せる。自分の金庫に入っている以上のお金を貸し出しているから。ということは、その分は、「葉っぱ」と同じ。幸い同時に預金者が引出さないだけ。ホントの格差とは、銀行と市民との間にある。これこそ廃絶すべき。

20世紀以降の戦争は、この不平等によって圧倒的な力を得た銀行家たちが、自分の支配権を拡大するために仕掛けていったもの。政治家や企業、学者、俳優、あらゆる人々は、銀行家の奴隷である。金の出所が統一されているからだ。圧倒的な不平等社会なので、人々は自由な取引ができない。

市場経済においては、需要と供給で価格が決定されるから、自然と平等社会ができる。BはCの提供する商品やサービスが価格に見合わないと思ったら購入を拒否できる。そうすれば、Bは価格を安くするかサービスや商品の質を向上させる。こうやって特権というものが排除される。一般の宣伝とは逆に、市場経済、競争社会のほうが平等社会になるのだ。

一般の宣伝とは逆に、市場の競争を通じて平等社会が登場する。NTTが独占した当時サービスは質が悪くて高かったが、他社が参入できるようになって安くてよいサービスが拡大した。「いや、勝者が独占を強めていけば同じことだ」というかもしれないが、常に市場への自由参入を許すことによって勝者もいつ敗者に落ちるかもし

れない。

Microsoft は、寡占化が進みすぎて、サービスに問題が生じている。「劣悪化」するバージョンアップを繰り返し、消費者の利便性に害を与えている。結果として、アップルへの乗り換えが進みつつある。独占、利権化、政治化こそが、社会的不平等の根源である。

だから、社会主義によって平等社会は絶対に実現しない。かえって資本主義以上の格差が生じる。市場経済において、勝者と敗者の間に格差は生じるだろうが、それはしかたがないこと。誰だって、成功者になりたいが、なれなかったら我慢するしかない。オリンピックで優勝した人をねたんでも無意味。それと同じだ。

社会主義の基本は、政府に富の再分配機能を持たせることにある。つまり、税金を過剰にとって、それを社会に平等に分配するという手法だ。これは、機能しない。なぜならば、税金が官僚の事業に使われるからだ。株式市場は、優秀な企業に金が集まるシステムだ。

費用対効果が優れているところに資金が集まって、もっと稼いで、配当を与えてくれる。株価も上がる。しかし、社会主義の福祉国家のシステムでは、もっとも優秀ではないところに金が集まる。官僚がやる事業には、競争がないので、費用対効果は最悪になる。赤字が続き、そのたびに税金で補てんされる。

大きな政府は機能しない。税金はできるだけ少なくする。国しかできないことに制限する。警察や軍隊、裁判所など「正義の働き」に特化させるべきだ。国には事業をさせてはならない。ソ連を見よ。東ヨーロッパを見よ。北朝鮮を見よ。すべて失敗した。中国は社会主義のシステムを捨てて、資本主義になって大きく成長した。

できるだけ政府には金を渡さないようにせよ。そして、市場に流せ。つまり、市民の可処分所得を増やせ。そうすれば、市民は自分の金だから賢く使う。税金の総額は最大で 9% にせよ。市場に活気が戻るだろう。お金が流れるので、ビジネスは繁盛し、所得も上がり、税収も上がる。

諸悪の根源は、大きな政府である。では、大きな政府の思想的起源は何か。それは、「救世主」である。インマヌエル・カントにおいて、近代思想から神がオミットされた。そして、ヘーゲルにおいて、神の代替者として国家が選ばれた。国家が救世主の役割を果たすようになる。

ヘーゲルの弟子マルクスにおいて、救世主としての国家の具体像が現れ始めた。強度の累進課税制度による富の国家への集中。輸送生産手段の国家への集中。相続税による個人財産の没収。すべてを国家に集めて、国家が再配分せよ、と。義務教育制度により思想統制をせよ、と。

国家は神ではない。国家は人間の集合であるから神ではない。国家が神の座から降りることなしには、今の自殺の体制を破壊することはできない。われわれは、国に紙幣発行という「無から有を生み出す権威」を与え、われわれの私有財産を高率の税金によって献上する権限を与え、神としてあがめてきた。偶像を捨てよ！それ以外には解決はない。

タイトル: 近代国家はバンカーによる独裁制である

銀行と庶民の間には信用創造（つまりお金がないのに貸す権利）という圧倒的な社会的不平等があるため、政治に期待はできない。誰が大統領や首相になっても同じ。真の支配者は紙幣を作り管理するバンカー。彼らが戦争やりたければ、いくら反戦運動しても戦争は起きる。

預金者が預けている額の総額を越えて貸した分は偽札と同じ。重大な経済犯罪。実は、不換紙幣そのものが偽札。一般国民が偽札を作ると逮捕されるのに、バンカーがやっても逮捕されない。絶対的な社会的不平等がある。

近代国家とは、バンカーに偽札を作る権利を与えた詐欺犯の天国。好き放題やらせてきた。形態は民主主義とか言っても、政治家は絶対的な権力を持つバンカーの言いなり。マスコミは、あたかも世論が要求しているかのように工作する役目。

中央銀行に不換紙幣発行権与えることは、偽札発行権与えること。もちろん偽札とは、労働の背景なしに価値を手に入れることだから、泥棒。不換紙幣発行権は泥棒権。ある社会の一員に泥棒権与えて健全でありつづけることは不可能。米国建国者は紙幣を不道徳と断定した。

アームシェル・ロスチャイルドがかつてこういった。「私に通貨の発行権と管理権を与えよ。そうすれば誰が法律を作ろうが知ったこっちゃない」。中央銀行制度、そして、銀行の信用創造制度がある限り、民主主義にしる、共和制にしる、すべて幻想である。近代国家は、銀行家による独裁制である。

127 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月19日(金) 午後4時22分

タイトル: 日本再占領計画

震災前、ある日本人がたまたま帝国ホテルの地下に入ったら、フリーメイソンの会議がやっていた。そこに貼っていた日本地図に東北がなかった。彼らは次はフィリピン・プレートをやる計画。日本を再占領するために。

<http://www.youtube.com/watch?v=4HDby-w2xjQ&feature=related>

128 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月19日(金) 午後4時49分

タイトル: 同じことをハイチとベネズエラでやっていたアメリカ

<http://www.youtube.com/watch?v=QYDoLiiTtyw&feature=related>

チャベスのTV演説

=====

私たちが理解できないことは、アメリカが5000人の海軍兵を送ったことです。さらに大勢送るでしょう。合衆国は、人類の悲劇を利用して、ハイチを軍事的に占領しようとしています。彼らが政府の官邸まで占領しようとした記事を読

みました。彼らは、ハイチ国民とその政府の現在の状況を彼らの都合のよいように利用しているのです。彼らはそれをベネズエラ

でもやろうとしました。1999年にです。私が自らクリントンに電話していわねばなりませんでした。船をUターンさせてください

と。なぜなら、船はすでにこちらに向かっていたのです。1000人の海軍兵が乗っており、ベネズエラの上陸する予定でした。そ

を知ったとき、私はカラカのアメリカ大使にいいました。「どうかここに上陸区しないでください」と。
=====

129 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月20日(土) 午前10時34分

タイトル: 聖書に基づいて社会を再編しよう

社会とは何か。

神はアダムに「地を従えよ」と命令された。

そして、その目的のためにエバを助け手としてお与えになった。

家庭こそが社会の基本である。

ここに社会思想の原点がなければならない。

社会とは、地上を神のために管理し、発展させるためにある。

エデンの園は模範だった。そこから4つの川が流れていたことは、世界中をエデンの園のように自然と文化が豊かに繁栄するものとせよとの命令を象徴している。

「世界のエデンの園化」のために、家庭がある。

そして、それが社会の基本単位である。

アダムとエバから人類が増えていき、民族ができ、国ができ、国際社会ができる。

この順番を間違えてはならない。

イルミナティは、この逆をやっている。

彼らにとっては、国際社会のために国があり、民族があり、家庭があり、個人がある。

「国際社会のためならば、国は滅ぼしてもいい、国のためなら民族を滅ぼしてもいい、民族のためなら家庭を滅ぼしてもいい、家庭のためなら個人を滅ぼしてもいい。」と考える。

共産主義とは、つきつめていけば、国際主義である。

国など最終的に必要ない。

世界が、すべてを共有する、私有財産を誰も主張しない、そういう体制がベストだと。

これは、洪水である。あらゆるものの境界線が消滅する。(今のクリスチャンはイルミナティの神学(共産主義)を取り入れているので、このような考えを持っている。)

神がわれわれに命令されているのは、「違いを認識しながら、総合される」ということである。

個人や家族、民族、国家の枠組みを維持し、違いをしっかりと認識し、それぞれの権利を尊重しながら、互いに融和し、協力する。

これが、聖書の教える社会である。

つまり「一と多」の尊重である。

一致と多様性の両立こそが聖書の理想である。

それは、神が一人であると同時に多数であられるからだ。

三位が契約を結んで一人であられる。

三位も一人も、究極であり、どちらが優位であるとか劣等であるということはない。一も多も究極的価値を持っている。

だから、国際社会とは、私有財産を守られた個人や家族、民族、国家の集合でなければならない。

これは、あたかも人体のようである。

個々の細胞は、それぞれ別の機能を持っていて、個別に様々なものを所有する。

細胞膜が破壊されてしまえば、全体が死んでしまう。

膜構造は厳密に維持されなければならない。

しかし、個々の細胞は、互いに共生するために物質のやり取りをしなければならない。

国家は、個々の細胞や器官、人体全体を守るために存在する免疫システムのようなものである。

個人や家庭、民族、国家がそれぞれ所有する私有財産や権利を保持するために戦う免疫装置である。

免疫システムがなければ細胞も器官も人体も生存できないように、国家がなければ個人も家庭も民族も生存できない。

共産主義が理想とする共産制では、家庭も民族も国も区別がない。これは、あたかも細胞膜のない器官や人体のようなものである。

すぐに死んでしまう。

悪魔の基本的な活動とは、このような「細胞膜の破壊」である。

イルミナティがポルノの蔓延を促進しているのは、家庭を破壊するためである。

共産主義カルト社会では、女性や子供が共有される。

子供が家庭から引き離されて施設で国家のために育成される。実際、チャウシェスクのルーマニアで行われた。

現在の世界のほとんどあらゆる社会思想が、イルミナティの共産主義思想に強く影響されている。

クリスチャンでも、私有財産の所有に罪悪感を持っている。

しかし、私有財産を守り、それを豊かに拡大することなしには、神の国は成長しない。

クリスチャンは、あらゆる共産主義の政策に反対しなければならない。

所得総額の9%を超える税金（聖書では十分の一を取る国家を奴隷国家と定義している）、相続税、国家による義務教育、国営企業、国家による事業、国際機関に国家を支配させる権限を与えることなどに反対すべきだ。

国は、あくまでも個人や家庭の生産活動を支えるために存在する。

個人や家庭が持っている財産や権利を維持し、それを促進するために存在する。

だから、聖書において国家に与えられている権限とは「義」でしかない。

国家は「義のしもべ」である。

国家が越権行為を行うことが聖書において非難されている。

「しかし、彼（ウ ज्या王）の人生の最後は悲惨なものになってしまった。あるとき、彼は神殿の中で自ら香を焚こうとしたが、この行為は実は祭司にだけ許されたことだった。

祭司アザルヤはすぐにそのことで王を非難したが、王は過ちを認めないばかりか、逆に祭司たちを罵った。

すると、神の怒りがウ ज्याに下り、まだ罵る言葉も終わらないうちに彼は重い皮膚病に犯されてしまった。

このため、彼は隔離され、死ぬまで苦しみ続けることになった。」

<http://flamboyant.jp/bible/bib226/bib226.html>

聖書が与えたそれぞれの境界線を越えてはならない。

国は国に与えられた責任を果たせばよい。

社会を聖書に基づいて再編することこそが、われわれに課せられた大きな使命である。

そのときに、社会ははじめて健全に機能し、繁栄するようになるだろう。

この社会実現のために祈り、協力していただきたい。

130 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月20日(土) 午後0時50分

タイトル: 誰がなっても頂点は変わらない

どいつもこいつも・・・

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/110819/stt11081923350012-n1.htm>

「小沢先生は依然として政局の中心にいる。希有な存在であり、政治力量のすごい方だ」って、大阪の橋下も昨年だったか同じようなことを言っていましたね。「小沢先生こそ日本を動かしている。すごいとしか言いようがない」

遂に我らの祖国日本はフリーメイソンと人民解放軍に占領されてしまった。

次誰が首相になっても、実質的に小沢一郎が the Prime minister！！

小沢なんかぜんぜんすごくない。

ユダヤが頂点にいて、左右両方手綱引いている。

右がだめになれば、左を利用。左がだめになれば、右を利用。

菅→江沢民→ネオコンというラインが弱くなったので、こんどは小沢→胡錦濤→ブレジンスキーを利用しようと思えただけでしょう。

131 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月21日(日) 午後6時48分

タイトル: 非常に重要な動画

http://www.youtube.com/watch?v=_JdP5ksv7H0

日本国民のために役に立たない官僚たちを罷免しよう。

憲法にはわれわれにその権利があると規定されている。

132 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月22日(月) 午後11時28分

タイトル: 時間をかけてじっくり神の時を待て

ときどき「自分はみんなにどう思われているのか」という雑誌の記事を見かける。

「どう思われているか」を気にすると、病気になるからご注意ください。

なぜならば、偶像礼拝だからだ。

「人の目」を神としてあがめると、偶像礼拝のシステムの中に入って、その偶像が自分を締め付けに入る。

偶像は絶対にわれわれを救わない。かえってわれわれを奴隷にする。

だから、人の目を気にして、それを恐れると、その奴隷となり、自由を失い、自信を失い、卑屈になり、その苦痛と屈折した心から、他者をいじめることによって解放されようとするようになる。

無間地獄にはまる。

自分がどうしようもない下衆に変わる。

おそらく官僚や企業の社員も、最初は理想を持って入ったのであろう。

しかし、職場全体が墮落して、社会や国民に奉仕する精神を失い、自分の省益やら、利己的な野心やらによって汚染されているのがわかると、自分もそれに合わせるようになる。

組織の中で生き残るために自分を彼らと同じ水準に落としてしまう。

そうなると、彼らと同じように、偶像礼拝の罠にはまるのである。

その組織は全体としてすでにサタンの支配の中に入って、滅亡の坂道を転げ落ちている。

みんなメンバーは自分が墮落したことを知っているのだが、どうしようもできない。

このような罠に日本人ははまりやすい。アブラハムの信仰がないからだ。

アブラハムは、冒険家であった。

ウルという偶像礼拝の町から飛び出した。

そして、一人で神の御声だけを頼りに行く先も知らずに出て行った。

もしその属している集団があまりにも悪くて、自分がそれに参加すると自分もおかしくなるなら、出たらいい。

絶対に救いはあるから。

神は必ず助けを用意してくださる。心配は無用だ。

私も福音派を出て、職に困っていたが、不思議と助けてくれる人々が与えられた。

一つの道が閉じても、不思議と別の扉が開いた。

人間を頼ると、その人間にサタンが入って、こちらを利用しようとする。

クリスチャンはとくに注意すべきだ。

頼る相手にサタンが入る。

頼らなければ普通の人だ。

われわれは拝む対象にサタンが入る。

礼拝を通じて、サタンはわれわれを操作するようになる。

自分の意思を実現するためにわれわれは利用される。

今、世の中をリードしている連中はみんな奴隷である。偶像礼拝したために奴隷になった連中だ。

野田にしても、前原にしても、松下政経塾の出身だ。

野田は、松下幸之助の理念とはかけはなれた増税論者だ。

前原は、ネオコンの手先になって、日中戦争を模索している。

「現実の世界はそんな理想が通るほど甘くない」とでもいうだろうか。

たしかに理想は通りにくいだろう。しかし、時間がたてば必ず神の側が勝利する。

神が勝利するようにこの世界はできている。

分子や原子にまで神の刻印が押されているのだから。

なぜ神の時を待てない？

なぜ神よりも先走る？

じっくり待っていれば、必ず道が開けるだろう。

開けたら、進め。そうすれば、この腐った世界の中で、正しい理想を追求できるような環境が開けるだろう。

自分で先走ると相手にのまれる。

偶像礼拝をして、相手に利用される。

いつも神だけを拝め。神だけに従え。

そして、利得や権力を得ようとするな。

時間をかけてじっくり待っていればそれらは与えられるだろう。

タイトル: イルミナティの内部情報

<http://satehate.exblog.jp/15393618/>

134 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月23日(火) 午後8時01分

タイトル: 茨城県のセシウム134の検出限界値は安全か?

食品汚染の単位がベクレル表記なので非常にわかりにくい。シーベルトに換算してから表記してほしい。

さて、茨城県のセシウム134の検出限界値 20Bq/kg が安全かどうか検証しよう。

茨城県のセシウム134の検出限界は、20Bq/kg。

<http://hibi-zakkan.sblo.jp/article/47513754.html>

これをシーベルトに換算すると、0.38 μ Sv/kg。

<http://www.bq.filil.net/>

一人あたりの年間平均米消費量が 60 kgとして、22.8 μ Sv。

<http://www.maff.go.jp/j/press/soushoku/keikaku/080522.html>

一部に言われるように、内部被ばくが 600 倍危険として、600 かけて、13.7 ミリシーベルト。

<http://tenkantaihei.xxxblog.jp/archives/51755634.html>

国立がん研究センターによると、年間 100 ミリシーベルトで癌発生率 8%増加。

http://www.youtube.com/watch?v=4V_79yGRwEo

仮に、被ばく量と癌発生率が正比例するとして、

13.7 : x = 100 : 8 とすると、x = 1.096%

結論 : 検出限界の汚染された米を食べた場合の癌発生率は 1.1%増加。

135 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月24日(水) 午後7時23分

タイトル: 救われるにしろ、滅びるにしろ、われわれは神の栄光を表す道具である

予定論や聖定論は、キリスト教の中心である。

聖書では、あらゆることは永遠の昔にすでに決定されている。

なぜすでに決定されているかという、神は絶対者であり、御心に基づかないことはひとつも起きないからだ。

神にとって偶然は存在しない。

ひとつの出来事ですら、神が予期せずに起きることはない。

もし予期せずに起きたならば、神は影響を受けることになる。

神は誰からも影響を受けない。なぜならば、すべてのことは神の能動的な働きによって起きるからだ。

たとえ悪であっても、神の許可のもとで起きる。

神はそれを行うわけではない。神は、それを行う悪魔や人間の活動を容認するのである。

悪魔や人間が徹底した悪を行うことができないのは、「抑制の恵み」が働いているからである。

神の抑制が働いているので、悪魔も人間もある程度の悪しか犯せない。

神はあらかじめどの程度悪を許容するかを決定する。

それは、あたかもピンボールのようなものである。

傾斜した盤の上を金属球が落ちていき、穴に入ったり、壁に当たるたびに得点が加算されていき、ついには下に落ちるゲームである。

神は、横から突き出た調整バーを使って、そのボールを跳ね返される。

バーを動かさなければ、ボールはそのまま下に落ちていく。

悪魔や人間は、放置すると、悪を犯す。本性が墮落しているからである。

神は、われわれが悪を犯そうとする場合に、様々な形で抑制してくださる。墮落するチャンスを与えられない。

しかし、神がある目的で、悪魔や人間が墮落することを許可する場合がある。そうすると、悪魔や人間は、その罪を犯し、それによって神の目的が実現する。

このような墮落のコースはあらかじめ神によって精密に計画されている。

われわれが途中で、「神よ、私を誘惑に陥れないでください」と祈れば、その祈りによって神はわれわれの悪を

抑制してくださるが、その祈りすらもすでに神の側で予定されている。

殺人や同性愛のような大きな罪を犯すように定められた人もいる。

ユダのように、キリストを裏切る運命の人もいる。

しかし、神が彼らを誘惑したり罪に落とされているわけではない。

誘惑者の接近や、罪に落ちる機会を妨害されないのである。

神はあえてそのような機会を許容される。

だから、われわれが殺人や同性愛やユダにならずにすんでいるのは純粋な恵みにほかならない。

いやむしろ、神の国のために働き、神を愛するように導かれていることは、最高の恵みを与えられていると考えていいだろう。

神は、一方的に世界のはじまる前からすでに、誰をクリスチャンとし、誰を背教者とするか、決定しておられる。

背教者として決定された人間は、きわめて気の毒である。

彼は、罪の責任を自分で背負うことによって神の計画を遂行する。

永遠の地獄において自分の罪のために苦しむことを通じて神の栄光を表す。

われわれが神を賛美し、永遠の祝福を受けるように定められている場合には、われわれはきわめて幸運な人間である。

なぜ自分が選ばれたのかわからない。しかし、神の側の自由な選択によってこのように選ばれたのだから感謝しよう。

ロックフェラーやロスチャイルドのように世界の人々を不幸にするために力や機会を与えられている人はじつに気の毒な人々である。

彼らが永遠の地獄で受けるべき裁きはいかばかりのものか。

しかし、これも神の決定である。

人間は、神の道具にすぎない。

道具であることを拒否することは被造物であるわれわれにはできない。

救われるにしろ、滅びるにしろ、われわれは神の栄光を表す道具である。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月25日(木) 午後8時30分

タイトル: 放射線の一般の人たちへの健康被害は皆無

重要なので以下引用します。

=====

<http://www.rist.or.jp/atomica/data/pict/01/01080428/02.gif>

冒頭の URL の図の「人工放射性降下物の経年変化」にあるとおり、米ソなどの核実験により 1960 年代の東京でのセシウム 137 の最大値は約 800,000mBq/m²であり、1985 年以降 2003 年までの最大値約 10mBq/m²の実に約 80,000 倍である。

チェルノブイリ原発事故の時でも東京でのセシウム 137 の最大値は約 100,000mBq/m²強であったが、1985 年以降 2003 年までの最大値約 10mBq/m²の約 10,000 倍である。ただし、1 年あまりで約 100mBq/m²まで減少している。

つまり、チェルノブイリ原発事故の時よりも、米ソなどの核実験による 1960 年代のほうが、東京でのセシウム 137 は約 8 倍多かったことになる。

そして、今回の福島原発事故は、公式には「チェルノブイリ原発事故の 10 分の 1」となっているが、西村肇（にしむらはじめ）東大名誉教授によると「チェルノブイリ原発事故で放出された放射能物質の総量の 10 万分の 1 の放射能物質が、福島原発事故では放出された。100 日間の合計でも、千分の 1 の量である」としている。

私は、1960 年代前半の生まれで 30 歳まで千葉・埼玉・東京で過ごしたが、一度も癌を発症したことはない。

またガイガーカウンターを自費で実際に購入した。

おかげで購入する前は、放射線量が本当は実際どのくらいなのか、不安な日々を過ごしていたが、購入後は毎日放射線量が計測でき、「たいしたことがない」と実感でき、日々安心して過ごすことができるようになった。

「東京で 2011 年 4 月 2 日から毎日 0.08~0.19 μ ?/h (マイクロシーベルト/時)」

それでも福島原発事故は、チェルノブイリ原発事故と同じレベル 7 じゃないか、と主張する人もいるかもしれない。しかし、結論からいうとあれは「ヤラセ」である。

東京電力は 2011 年 4 月 4 日、福島第一原発から低濃度汚染水の海洋投棄することを発表・開始した。

西村肇（にしむらはじめ）東大名誉教授が、「福島原発事故の原因の究明」という論文を書き、2011 年 4 月 8 日、記者会見した。

西村先生は、2011年4月8日に、はっきりと、「チェルノブイリ原発事故で放出された放射能物質の総量の10万分の1の放射能物質が、福島原発事故では放出された。100日間の合計でも、千分の1の量である」ということを、厳密な計算式を使って証明した。

日本政府（原子力安全・保安院もそれぞれ独自に数値を2011年4月12日に発表した）は、嘘八百の発表を、西村論文のあとに、慌てて行った。その内容は、「チェルノブイリ原発事故で放出された放射線量の10分の1が、福島原発事故で放出された。だから、事故レベルは7だ」というものだった。

2011年4月12日、原子力安全・保安院と原子力安全委員会は合同会見を開き、従来の暫定評価のレベル5（3月18日）からレベル7へ引き上げると発表した。事故発生以降の放射性物質の総放出量は、原子力安全・保安院の推計で37万テラ（1兆倍）ベクレル、原子力安全委員会推計は63万テラベクレルで、レベル7（数万ベクレル以上）に相当するという。チェルノブイリ原発事故は520万テラベクレルとされる。

その理由は、「震災発生当初、被災者の規律正しさや忍耐強さを称賛した海外メディアは、2011年4月4日に低濃度放射性物質汚染水の海洋投棄が始まったことを境に、日本政府の危機管理批判を強めていた。レベル5で低濃度放射性物質汚染水の海洋投棄をやれば、日本は、太平洋周辺国から袋叩きにされる。海洋汚染に対する膨大な賠償請求を避けるために、役人も東電も、何が何でもレベル7にする必要があった」、である。

国際原子力事象評価尺度の「基準1事業所外への影響：放射性物質の重大な外部放出：ヨウ素131等価で数万テラベクレル以上の放射性物質の外部放出」という尺度を悪用したのである。

海外向けには「レベル7という重大な事故のため止むを得ず低濃度放射性物質汚染水の海洋投棄を行った」と言い訳し、国内向けには「でも福島原発事故はチェルノブイリ原発事故で放出された放射線量の10分の1だから、福島原発事故はチェルノブイリ原発事故ほどひどくない」という二枚舌である。つまり嘘の過大評価である。

仏アレバ社の高濃度放射性物質汚染水を処理できるシステムがもっと早く稼働できれば「低濃度放射性物質汚染水の海洋投棄」は、やる必要がなかった措置である。

さらにいうと、チェルノブイリ原発事故は臨界爆発が起こって、放射線の中の中性子線までもが飛び交った。福島原発事故はあくまでも中性子線以外の放射線（アルファ線、ベータ線、ガンマ線）が漏洩しているのをどう封じ込めるか、という問題である。

福島原発事故では、自衛隊員が22kgの鉛を装備して作業をしていた。鉛で防御できるのは、あくまで中性子線以外の放射線（アルファ線、ベータ線、ガンマ線）までであり、中性子線を防御することはできない。中性子線を防御するには30cm以上のコンクリートや水などが必要である。つまり、福島原発事故では、臨界爆発には至っておらず、作業できないほどの中性子線が飛散するまでの状況にはなっていない、ということである。

チェルノブイリ原発事故と福島原発事故は規模・内容とも違うのである。

放射線を短期間に全身被曝した場合の致死線量は、5%致死線量が2 Sv、50%致死線量 (LD50) が4 Sv、100%致死線量が7 Svとされている。200 mSv以下の被曝では、急性の臨床的症状は認められないとされるが、長期的な影響については議論があり、また、低線量の被曝についても健康被害が生じたとして訴訟が起きている[1]。

放射線被曝の例 [編集]年間被曝量の例と1回あたりの被曝量の例を示す。

実効線量 (mSv) 内訳

0.05 原子力発電所の事業所境界での1年間の線量。

0.1・0.3 1回の胸部X線撮影。

0.2 東京とニューヨーク間を航空機で1往復 (高度での宇宙線増加)。

1.0 一般公衆が1年間にさらされてよい人工放射線の限度 (ICRPの勧告)。#被曝の対策を参照。

放射線業務につく人 (放射線業務従事者) (妊娠中の女子に限る) が妊娠を知ったときから出産までにさらされてよい放射線の限度。

1.2 1日1.5箱のタバコを吸う喫煙者と同居する人が、副流煙から受ける年間の線量[2]。

1.5 1年間に自然環境から1人が受ける放射線の日本平均。

2.0 放射線業務従事者 (妊娠中の女子に限る) が妊娠を知ったときから出産までにさらされてよい腹部表面の放射線の限度。

2.4 1年間に自然環境から1人が受ける自然放射線の世界平均 (宇宙0.4、大地0.5、ラドン1.2、食物0.3の合計)。

4 1回の胃のX線撮影(2011年3月19日以前のバージョンでは「胃のX集団検診 - 0.6mSv/回」という説もある)。

5 放射線業務従事者 (妊娠可能な女子に限る) が法定の3か月間にさらされてよい放射線の限度。

6.9 1回のCTスキャン

7・20 X線CTによる撮像。

10 日本国原子力安全委員会の指針では一般人の「屋内退避」

ブラジル・ガラパリで1年間に自然環境から1人が受ける自然放射線。

13・60 1日1.5箱のタバコを吸う喫煙者の年間の線量 (タバコの葉に含まれるラジウム226、鉛210、ポロニウム210等からの放射線) [2][3]。

50 電離放射線障害防止規則による放射線業務従事者 (妊娠可能な女子を除く) が1年間にさらされてよい放射線の限度。

日本国原子力安全委員会の指針では一般人の「避難」

自衛隊・消防・警察 (妊娠可能な女子を除く) が1年間にさらされてよい放射線の限度。

100 人間の健康に影響が出ると証明されている放射線量の最低値(これ以下の放射線量についての健康被害は長期的なものを含めて、一部に論争はあるが、証明はされていない)。

電離放射線障害防止規則による放射線業務従事者 (妊娠可能な女子を除く) が法定の5年間にさらされてよい放射線の限度。

電離放射線障害防止規則による放射線業務従事者 (妊娠可能な女子を除く) が1回の緊急作業[4]でさらされてよい放射線の限度。

250 福島第一原子力発電所事故での緊急作業従事者に限って適用されている被曝線量上限。

白血球の減少。(一度にまとめて受けた場合、以下同じ)

500 リンパ球の減少。

国際放射線防護委員会による人命救助を例外とする上限。

1,000 急性放射線障害。悪心 (吐き気)、嘔吐など。水晶体混濁。

2,000 出血、脱毛など。5%の人が死亡する。

3,000 - 5,000 50%の人が死亡する（人体局所の被曝については 3,000：脱毛、4,000：永久不妊、5,000：白内障、皮膚の紅斑） [5]。

7,000 - 10,000 99%の人が死亡する。ただし、頭部や胴体ではなく手足のみに被曝をした場合は、手足の機能に障害（熱傷等）が出る。

10,001 以上

放射線の人体に対する影響は、被曝した体の部分などにより異なる。上記の表では X 線撮影、X 線 CT および注記されているもの以外は全身に対するものである。

①体内放射能は無限に蓄積される？

摂取と排泄はやがてバランスする。

放射能で汚染された食品を、来る日も来る日も食べ続けたとしましょう。この場合、体の中の放射線は、どんどん蓄積され続けるのでしょうか。

たとえば、セシウム 137 の半減期は 30 年です。放射能が半分減るのに 30 年かかる。ちょっと考えると、こんなに寿命の長い放射性核種をつぎからつぎへと体内に取り込めば、どんどんたまっていきそうです。本当はどうなのでしょう。

この問題を理解するには、生物学的半減期や有効半減期のことを知る必要があります。

セシウム 137 を例にとりましょう。たしかに、この核種の放射能が半分減るのに要する時間は 30 年ですが、私たちの体の中に入ってきたセシウム 137 は、そこにいつまでもじっとしているわけではなく、尿や糞から排泄されることによって、体の外に追い出されていきます。日本人の場合、セシウムを 100 だけ摂取したとすると、そのうちの半分を排泄によって体外に追い出すのに約 3 カ月必要です。これを「生物学的半減期」というのですが、幸い、セシウム 137 の場合、物理的な半減期が 30 年と長くても、生物学的半減期が 3 か月程度と短いため、体内に取り込まれたセシウム 137 は、割合に速く追い出されてしまうのです。

体内に取り込まれた放射能が 100 あった場合、これが、物理的減衰と生物学的排泄の両方によって、とにかく半分の 50 に減るまでの時間のことを「有効半減期」と言います。物理的半減期と生物学的半減期と有効半減期の関係は、つぎのとおりです。

有効半減期 = (物理的半減期 × 生物学的半減期) ÷ (物理的半減期 + 生物学的半減期) = (30 年 × 0.25 年 (3 か月)) ÷ (30 年 + 0.25 年 (3 か月)) = 0.247933884 年

*0.247933884 年 = 約 3 カ月

セシウム 137 の場合には、物理的半減期が生物学的半減期よりも圧倒的に長いので、このような場合には、有効半減期はだいたい生物学的半減期と同じになります。

摂取と排泄のバランス

セシウム 137 を毎日食べ続けると、体内量は無限に増えていきそうな気がしますが、実際には、ある時点までく

ると摂取量と排泄量がバランスして、それ以上は増えなくなります。逆の言い方をすれば、摂取量と排泄量が釣りあう状態になるまでは、体内量が増え続けると表現してもかまいません。ちょっとした理論的考察によって、平衡状態での体内放射能（ベクレル）は、次式で求められることが知られています。

$$\text{体内放射能の平衡値} = 1.44 \times (\text{1日当たりの放射能摂取量、ベクレル/日}) \times (\text{有効半減期、日})$$

カリウム 40 の体内量

私たちは天然の放射性核種であるカリウム 40 を、1日 50 ベクレル程度食べています。この元素の生物学的半減期は約 60 日、物理的半減期 12 億 6,000 万年ですから、有効半減期は 60 日となります。したがって、下に計算されているように、私たちの体内には、カリウム 40 が 4300 ベクレル程度は、たまっている計算になります。実際には、1日当たりのカリウム摂取量や生物学的半減期にはかなりの個人差がありますので、誰でもピッタリ 4300 ベクレルというわけではありません。しかし、大人なら 4,000～5,000 ベクレルの体内放射能をもっていることは、実際に測定した結果としてもよく確かめられた事実です。

当然、1日あたりの摂取量が多ければ多いほど、また、有効半減期が長ければ長いほど、平衡状態に達したときの体内放射能のレベルは高くなります。しかし、それでも、無限に増えるわけではありません。

$$\text{平衡時の体内放射能（ベクレル）} = 1.44 \times (\text{1日当たりの放射能摂取量、ベクレル/日}) \times (\text{有効半減期、日})$$

(例) カリウム 40 (天然放射性核種)

1日あたりの平均摂取量：約 50 ベクレル/日

有効半減期：約 60 日

ゆえに、私たちの体内のカリウム 40 の放射能は、

$$\text{体内量（ベクレル）} = 1.44 \times 50 (\text{ベクレル/日}) \times 60 (\text{日}) = 4,300 (\text{ベクレル})$$

放射性核種の種類と特徴

放射性核種：プルトニウム 239、物理的半減期：24,400 年、生物学的半減期：200 年（骨）・500 日（肺）、有効半減期：198 年（骨）・500 日（肺）

放射性核種：ストロンチウム 90、物理的半減期：29 年、生物学的半減期：50 年（骨）・49 年（全身）、有効半減期：18 年（骨）・18 年（全身）

放射性核種：ヨウ素 131、物理的半減期：8 日、生物学的半減期：138 日、有効半減期：7.6 日（甲状腺）

放射性核種：コバルト 60、物理的半減期：5.3 年、生物学的半減期：9.5 日、有効半減期：9.5 日（全身）

放射性核種：イットリウム 90、物理的半減期：64 時間、生物学的半減期：38 年（全身）・49 年（骨）、有効半減期：64 時間（全身）・64 時間（骨）

②何となく不気味な内部被曝

放射線の浴び方には、いろいろあります。時間的に言えば、一度にどっと浴びたのか、それとも、同じ線量をだらだらと少しずつ浴びたのか、という問題もあります。また、全身に浴びたのか局所に浴びたのか、というのも重要な点です。と同時に、体の外から浴びたのか、それとも体内汚染をおこした放射性物質によって、体の中から浴びたのか、という分け方も重要です。よく内部被曝の方が外部被曝より危険なのではないかという疑問を耳にします。体の内側から浴びる方が不気味なので、その気分はわかるような気がします。しかし、実際はどのようなのでしょうか？

たとえば、生殖腺が内部被曝で1シーベルト浴びた場合と、外部被曝で1シーベルト浴びた場合を考えてみましょう。両者の影響に違いがあるのでしょうか、それとも同じでしょうか？

体の外から生殖腺が浴びる場合には、多分、ガンマ線のような透過性の放射線のことが多いでしょう。稀には、かなりエネルギーの高いベータ線の被曝によることもないとはいえません。その場合には、ベータ線は生殖腺に当たって主として表面近くで吸収される可能性が強いので、ガンマ線被曝の場合のように生殖腺全体がほぼ均等に浴びるということにはならないかもしれません。

一方、生殖腺自身に取り込まれた放射性核種による被曝の場合には、どういう放射性核種かに応じて、アルファ線の場合もあるだろうし、ベータ線の場合もあるだろうし、ガンマ線の場合もあるでしょう。あるいは、それらの組み合わせの場合もあるに相違ありません。とくにアルファ線の場合などは、それを放出する放射性核種が、生殖腺内でどういう分布をしているかによって、被曝線量の空間分布もずいぶん違ってくる可能性があります。

このように考えてくると、ひとくちに「生殖腺が1シーベルト浴びた」などと言っても、線量の分布などが微妙に異なる可能性があるので、そう簡単な話ではありません。しかし、今のところ、同じ臓器が同じシーベルト浴びたのなら、それが外部被曝によるものであれ内部被曝によるものであれ、生物学的な障害度に基本的な差はないと考えられています。とくに、浴びる放射線が両方ともガンマ線とかベータ線とか同じである場合には、そこにできた放射線の傷跡が外から来た放射線によるものか中から出た放射線によるものか、区別する根拠はまったくありませんので、同じものとして考えていっこうに差し支えありません。

もちろん、かたや、骨に入り込んだプルトニウム 239 によって骨髄に1シーベルト浴びた、というケースと、かたや、外部被曝のベータ線によって皮膚に1シーベルト浴びた、というケースを同等に扱うなどということはナンセンスです。同じ臓器がほぼ似たりよったりの浴び方で放射線を被曝した場合には、それが外部被曝によるものであれ内部被曝によるものであろうが、本質的な差はないのです。

全身線量の求め方

いろいろな臓器が不均等に被曝したような場合、全身線量を求めるにはどうすればよいでしょう。単純に各臓器の線量を加え合わせばよいのでしょうか。そう簡単ではありません。なぜならば、臓器によって、遺伝的影響や癌の危険度が違うからです。発癌の危険性が少ない臓器が1シーベルト浴びるのと、その危険性が大きい臓器が1シーベルト浴びるのとでは当然意味が違ってくるので、各臓器の重要性に応じて重みづけの係数（荷重係数）をかけて合計しなければなりません。下の表は、国際放射線防護委員会がこうした目的のために設定した係数の値です。

実行線量当量とは？

外部被曝であれ、内部被曝であれ、いろいろな臓器が異なる割合で被曝した場合には、この表の係数を乗じて重みづけをしながら合計線量として同じ尺度で比較することができます。なかなか面倒なことです、そのようにして計算された線量の値は共通に比較ができて便利なので、とくに「実行線量当量」と呼ばれています。言うまでもないことですが、下表の係数を全部加え合わせると、当然 1.0 になります。

＊荷重係数

生殖腺：0.25、乳腺：0.15、赤色骨髄：0.12、肺：0.12、甲状腺：0.03、骨表面：0.03、残りの組織：0.30

③◇対応は花粉症対策と同じ

放射線とは、ものを突き抜ける能力が高い光や粒子のことです。そして、放射線を浴びる（＝被ばくする）と、遺伝子にダメージが生じ、人体に悪影響を及ぼすことがあります。放射線を出す能力を「放射能」、放射能を持つ物質を「放射性物質」と呼びます。

今回の原発事故では、原子炉からヨウ素、セシウムといった放射性物質が漏れ出し、大気中にまき散らされています。たとえば、スギから「放射線を出す花粉」が飛散している状態と言えます。放射性物質も、そこから出ている放射線も目には見えません。

窓を閉めて、家の中にいれば、吸い込む花粉の量が大幅に減ります。放射性物質も同様で、屋外と比べ、屋内の被ばくは10分の1程度に減ります。しかし、放射性物質から出る放射線の一部は、窓や壁を突き抜けますから、家にいても、放射線を完全に避けることはできません。

放射性物質による被ばくには、「外部被ばく」と「内部被ばく」があります。外部被ばくは、衣類や皮膚に付着した放射性物質から放射線を浴びることで起きます。家に帰ったら、屋外で上着を脱ぎ、服はよくはたいて放射性物質を落としたうえで、シャワーを浴びれば問題ありません。洗濯物は外に干さず、窓はできるだけ開けず、換気扇もなるべく使わないようにしましょう。要は、花粉症対策と同様、「花粉」を寄せつけないことが大事なのです。

雨が降った場合は、放射性物質を含んだ水滴が皮膚に付着しないように、レインコート（できれば使い捨て）を使うと安心ですし、折りたたみの傘を携帯するとよいでしょう。

体内に放射性物質が入り、身体の中から放射線を浴びる「内部被ばく」は、より危険です。身体の表面に付着した放射性物質と違い、体内の放射性物質は洗い流せないからです。外出するときは、ぬれたタオルなどで口や鼻をふさぐと安心です。テーブルの上に置く果物などには、ラップをかけ、食べる前に洗うとよいでしょう。

◇日常生活でも自然被ばく

ただし、現段階では、避難した原発に近い地域の住民の人たちを含め、一般の人の健康に悪影響が出るとは考えられません。被ばくを心配し、「サーベイメーター」による検査を希望する人が増えていますが、そもそも「被ばくした」「被ばくしていない」という議論はナンセンスです。なぜなら、私たちは、普通に生きているだけで、必ず「被ばくしている」からです。

大気中には「ラドン」といった放射性物質が含まれますし、宇宙や大地からの放射線による被ばくもあります。

ホウレンソウなど食べ物にも放射性物質が含まれます。世界平均では、年間約2・4ミリシーベルトの放射線を浴びます。この「自然被ばく」の量も、場所によって異なります。たとえば、イランのラムサール地方では、年間の自然被ばくが10ミリシーベルトを超えます。日本から、この地方へ引っ越せば、被ばくが増えるわけですが、ラムサール地方でがんが多いというわけではありません。

耳慣れない「シーベルト」という言葉は、放射線が人体に与える影響の単位です。ミリは1000分の1、マイクロは100万分の1を意味します。1シーベルト=1000ミリシーベルト=100万マイクロシーベルトとなります。

もう一つ分かりにくいのは、「毎時10マイクロシーベルト」という表現です。これは、1時間あたり10マイクロシーベルトの被ばくがあるという意味で、線量率と呼ばれます。毎時10マイクロシーベルトの場所に3時間いれば、30マイクロシーベルトを被ばくするという意味です。線量率は「蛇口から流れ出るお湯の出方」、たまったお湯の量が「何ミリシーベルト」という数字で表されます。

◇発がんリスク、喫煙以下

では、どのくらい放射線を浴びると身体に悪影響があるのでしょうか？ 原爆の被害を受けた広島、長崎のデータなどから、100ミリシーベルト以下では、人体への悪影響がないことは分かっています。このレベルの被ばく量は症状が出ないだけでなく、検査でも異常な数字は確認されません。

100ミリシーベルト以上の被ばく量になると、発がんのリスクが上がります。といっても、100ミリシーベルトを被ばくしても、がんの危険性は0・5%高くなるだけです。そもそも、日本は世界一のがん大国です。2人に1人が、がんになります。つまり、もともとある50%の危険性が、100ミリシーベルトの被ばくによって、50・5%になるということです。たばこを吸う方が、よほど危険といえます。

現在、文部科学省が、各地の線量率を測定しています。最も値が高い福島県の数値でも、風向きなどで高めの地点もありますが、多くの地点で、毎時数マイクロシーベルト程度です。測定は屋外で実施していますから、屋内に退避していれば、線量率は毎時1マイクロシーベルト以下です。東京、埼玉、千葉などは、屋外であっても、その10分の1以下です。

毎時1マイクロシーベルトの場所にずっといる場合、どのくらい時間がたつと身体に悪影響が出始める100ミリシーベルトに達するのでしょうか？ なんと11年以上の月日が必要です。通常より高いといっても、現在の放射線のレベルは人体に影響を及ぼすものではないことが分かります。

繰り返しますが、事故の現状では、発がんリスクの上昇を含め、一般の人たちの健康被害は皆無と言えるでしょう。安心して、冷静に行動していただきたいと思います。(中川恵一・東京大付属病院准教授、緩和ケア診療部長)

最後に、何としても「風評被害」だけは避けたいものである。

<http://www.asyura2.com/11/hasan71/msg/445.html>

=====

137 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月25日(木) 午後9時37分

タイトル: 地球に平和をもたらすには、金融システムを完全に脱ユダヤ化しなければならない

地球に平和をもたらすには、金融システムを完全に脱ユダヤ化しなければなりません。

なぜならば、今のシステムは、銀行家に偽札を作る権利を与えているからです。
客から預かったお金以上のお金を貸しています。

これは、偽札を作るのと同じことで、偽札を貸してその利息を受け取る権利が銀行にはあります。つまり、無から有を作るという権利によって、銀行家と庶民の間には、おどろくべき不平等が存在します。

さらに、彼らは中央銀行をも支配しており（中央銀行の総裁人事権は独立している）、中央銀行も不換紙幣という偽札を作っています。

たとえば、A～Eの子供がままごとをしますとします。

B～Eまでが一般の業種につきます。

Aが中央銀行担当。

B～Eは労働をして1万円分を稼ぎます。ですから、等しい価値のものを交換します。

しかし、Aだけは、葉っぱに自分のはんこを押したものを1万円と定義する権利があるので、無労働をB～Eの労働と交換します。

今では、コンピュータの数字をいじるだけなので、葉っぱすらいらぬ。

信用創造と中央銀行という2つの巨大な権限を持っているのが銀行家であり、それゆえ、銀行家はこの世界の神です。

彼らは、その圧倒的な権利を行使して、政治家やマスコミ、大学を買収し、自分の思い通りに動かし、戦争を起こし、世界政府の樹立に向けて活動しています。

イルミナティ・ユダヤが連邦準備制度を作った1913年以降、恐慌と世界大戦の繰り返しであり、最終段階である第三次世界大戦を起こす予定です。

世界の問題の一番中心は、いかにして銀行家から偽札を作る権利を剥奪するかにあります。

それをやろうとしたジョン・F・ケネディは、公開処刑されました。

138 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 26 日(金) 午前 5 時 15 分

タイトル: 米に関する放射性セシウムの暫定規制値で上昇する癌発生率は運動不足や塩分通りすぎと同じ

国の米に関する放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg は、シーベルトに換算すると 9.5 μ Sv/kg。

<http://www.bq.filil.net/>

一人あたりの年間平均米消費量が 60 kg として、570 μ Sv。

<http://www.maff.go.jp/j/press/soushoku/keikaku/080522.html>

一部に言われるように、内部被ばくが 600 倍危険として、342 ミリシーベルト。

<http://tenkataihei.xxxblog.jp/archives/51755634.html>

国立がん研究センターによると、年間 200~500mSv で癌発生率 20% 増加。運動不足や塩分通りすぎと同じ危険度。

http://www.youtube.com/watch?v=4V_79yGRwEo

暫定規制値の汚染された米を食べた場合の癌発生危険度は、運動不足や塩分通りすぎと同じレベル。

139 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 26 日(金) 午前 6 時 14 分

タイトル: 前原誠司が首相になると日中戦争始まります

前原誠司が、キャピトル東急でネオコンの AEI・アメリカン・エンタープライズ・インスティテュートが主催した「政策研究集会」に出席。テーマは、「日本と中国を、どのようにして戦争に突入させるか、そのプラン作り」。

『週刊オルタ』の西山澄夫さんのメールを。転載歓迎。

「速報」

2005 年 10 月 25 日、26 日、ブッシュの支持基盤であるネオコン派の政治家、知識人が集まるワシントンの政策研究所、AEI・アメリカン・エンタープライズ・インスティテュートが主催して、日本の国会議事堂裏のホテル、キャピトル東急で、「政策研究集会」が開かれた。テーマは、「日本と中国を、どのようにして戦争に突入させるか、そのプラン作り」である。

参加者は AEI 所長クリストファー・デムス、次期総理・安倍晋三、鶴岡公三（外務省、総合外交政策局審議

官)、山口昇(防衛庁、防衛研究所副所長、陸将補)、民主党・前党首・前原誠司、その他自民、民主の複数の議員。

テーマは「有事、戦争に、どう対処するか」では無く、「中国と日本を、どのようにして戦争に持って行くか」である。

以上は裏付けが取れた正確な情報である。

以下は裏付けの取れていない未確認情報(裏付けの取りようがない)である。

今後2年前後に、日本海側の都市に、「米軍の」ミサイルを着弾させ死傷者を出させ、それが北朝鮮からのものである、とマスコミ報道を行い、一気に日本国内の世論を戦争賛成、治安維持体制に持って行く、また京都、大阪付近で新幹線の爆破テロを起こし世論を戒厳令体制、戦争賛成方向に誘導する(テロは米軍と自衛隊の共同作戦で実行し、イスラム原理主義または北朝鮮のテロと報道する)。

「京都、大阪方面」と場所が特定されている点、テロ作戦の準備を知った軍内部からのリーク情報の可能性がある。が、真偽の確認のしようがないので、情報の「信用度は低い」。ただし万一、本当にテロがあった場合には、北朝鮮やイスラムのテロではなく、「戦争をするための米軍と自衛隊の画策」である事を事前に明らかにしておくため、日本を戦争賛成の方向に誘導させない「クサビを打ち込んでおく」ため、あえて信用度の不確かな情報を流します。(転載ここまで)

http://c3plamo.slyip.com/blog/archives/2006/09/post_274.html

140 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月26日(金) 午前9時58分

タイトル: 政治分野だけはイエスは主ではない?

私は、政治について話すと福音派の人々の怒りを買ってきました。

この政治嫌いは、福音派の特徴です。

どうして激怒するかというと、サタンがその点については今のキリスト教には許していないからです。

サタンは、キリスト教を「私事」に限定しました。祈りとか癒し、教会活動、教育などについては、許していますが、政治については許しません。

それで、サタンが独占している領域である政治についてクリスチャンが関心を持つものすごく怒るのです。

今の伝道者は、そのような分野についてサタンに明け渡していますので、攻撃されません。

しかし、神はすべてについて主権者であり、とくに、政治的な分野においては主権者であります。

なぜならば、アダムの使命は「地を従えよ」であり、地上を御国に変えること、神の御心が実現するようにすることにあるのですから、政治的に主のみどころがならず、戦争や貧困があればそれはわれわれの任務不履行になります。

それから、現在世界の王はイエスであり、イエスは政治的に世界を統治しておられます。

地上の王や大統領、首相、議員らは、みなイエスの代理であり、イエスの命令を実行するために地上において働きます。

ですから、政治について触れないキリスト教は、イエスを統治者として認めていないに等しいのです。

クリスチャンの最低条件は「イエスは主である」と告白することですから、政治分野についてイエスが主ではないというならば、それは、クリスチャンではないということになります。

141 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月26日(金) 午前10時04分

タイトル: 倒錯している戦後歴史観

戦後のすべての、あらゆる領域における主流・正統派の歴史解釈はフリーメイソンのものであり、連合国は善 VS 枢軸国は悪という対立構造が基本となっています。

しかし、実際のところは、逆です。

イルミナティ・フリーメイソンがまず英国を攻略し、次にフランス革命によってフランスを乗っ取り、独立戦争を通じてアメリカを、ついでロシア革命によってロシアを、蒋介石を通じて中国を攻略し、植民地化しました。そして、最後に残った枢軸国を攻略しようとしたのが、第二次世界大戦でした。

第二次世界大戦を通じて、日本やドイツ、イタリアが、イルミナティ・フリーメイソンの軍門にくんだり、属国化しました。

日本は、戦後米国の奴隷になったのではなく、フリーメイソンの奴隷になったのです。米国はそれ以前にフリーメイソンの奴隷になっていました。

地震は、罪深さの問題ではありません。もちろん、日本人が欲ぼけになって罪を罪とも思わなくなって墮落したことも大きいですが、しかし、物事の本質はさらに別の側面を持っています。震災は、フリーメイソンの計画でした。

原爆は、明らかに米国の罪であり、どんな言い訳をしてもごまかすことはできません。米国人クリスチャンは、日本に責任を転嫁して自己義認する傾向がありますが、非常に罪深いことです。あれは非戦闘員に対する大量虐殺であり、歴史上最大の犯罪です。悔い改めないならば、裁きが下るでしょう。米国のキリスト教は原爆問題を

解決しない限り、祝福されないでしょう。

142 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月26日(金) 午前10時06分

タイトル: 人間の力に頼る方法を取る理由

ロバート・シュラー、ビリー・グラハム、オーラル・ロバーツは、フリーメイソンのうわさが付きまといまいます。

ロバート・シュラーとビリー・グラハムについては、完全にキリスト教から逸脱し、異端になりました。

オーラル・ロバーツについては、「4,500,000ドルの献金がなければ、神はオーラルの命を取り上げられるだろう」というような不安感をあおるサタンの手法を用いており、典型的なカルトであると思います。

こういう人間の力に頼る方法を取る理由は、1. 貪欲、2. 不信仰でしょう。

真の意味において神を恐れていない。

143 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月26日(金) 午後8時07分

タイトル: 放射能報道に出てきた数値を検証する

昨日、下記の報道があった。

=====

川崎市多摩区にある公園できょう、「被ばくしても健康被害の恐れがない」とされる目安を、大幅に上回る放射線量が新たに検出されました。

(1) 高い放射線量が検出されたのは、川崎市多摩区菅稲田堤の稲田公園です。これは市民団体の要請で川崎市が調査したもので、公園内にある児童プールの管理棟脇で、毎時1.7マイクロシーベルトの放射線量を検出し、市が目安にする健康被害の恐れがない被ばく量毎時0.19マイクロシーベルトを大幅に上回りました。

(2) さらに、この場所に積まれていた泥を採取して調査したところ、1キロ当たり1万6500ベクレルの放射性物質を検出しました。川崎市によりますと、高濃度の放射性物質が検出された泥は、いつ頃からこの場所に積まれていたのか分からないということです。市は、周辺を立ち入り禁止にするとともに児童プールの営業をきょうから中止しました。川崎市で市の目安を超える放射線量を検出したのは中原区の平間公園と中丸子南緑道について3カ所目で、今回の調査が最も高い数値となりました。

<http://www.tvk-yokohama.com/tvknews/news1.php>

=====

これらの数値を検証しよう。

(1)

1.7mkSv/h は、15mSv/y。

年間 15 ミリシーベルトとは、どのくらいの健康被害をもたらすのだろうか。

国立がん研究センターによると、癌罹患上昇率は、年間 100mSv で受動喫煙や野菜不足と同じ 8%。

癌罹患率と被曝率が比例関係にあるとすると、

$100 : 8 = 15 : x$ として、 $x = 1.2\%$

つまり、この公園内にある児童プールの管理棟脇の放射能による影響によって癌発生率は 1.2%高まる。つまり、無視できる値。

(2)

積まれていた泥の放射能は、1キロ当たり 1 万 6 5 0 0 ベクレル。

これをセシウム 134 によると仮定し、シーベルト換算すると、330.0 μ Sv/kg。

<http://www.bq.filil.net/>

報道では明らかにされていないが、この泥が、仮に 50kg あったとする。

一年間この泥がそこにそのままとどまると仮定すると、 $330.0 \times 50 = 16500 \mu \text{ Sv} = 16.5 \text{ mSV}$ 。

すでに述べたように、国立がん研究センターによると、癌罹患上昇率は、年間 100mSv で受動喫煙や野菜不足と同じ 8%。

癌罹患率と被曝率が比例関係にあるとすると、

$100 : 8 = 16.5 : x$ として、 $x = 1.32\%$

つまり、この放射能を持つ泥 50kg が道路わきにそのままとどまった場合に、それによって癌にかかる確率は 1.32%高まる。つまり、無視できる。

144 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 26 日(金) 午後 8 時 46 分

タイトル: 1 キロあたり 5・4 ベクレルの肉を食べた場合の癌発生上昇率は？

さらに違う記事も検証しよう。

=====

茅ヶ崎市にある5つの小学校で放射性物質が検出された牛肉が給食に使われていたことがわかりました。

これはきょう開かれた市長会見で明らかにされたものです。茅ヶ崎市によりますと、ことし5月と6月に市内5つの小学校の給食で出された「ビーフストロガノフ」と「肉どん」で放射性セシウムが検出された牛肉が使われていたということです。肉の放射性物質の量は、ビーフストロガノフについては、1キロあたり5・4ベクレルと分かっていますが、肉どんは同じ肉が残っていないため、放射性物質の量を調べられないということです。これを受けて茅ヶ崎市では、2学期の給食が始まる来月2日から国が安全宣言をするまでの間、市内全ての小学校の給食で牛肉を使うことを見合わせることにしています。茅ヶ崎市の服部信明市長は、「安全をしっかりと確保して食材を使う責任があるので、国の情報を見極めたい」とコメントしています。

<http://www.tvk-yokohama.com/tvknews/news1.php>

=====

ビーフストロガノフに使われた肉に含まれる放射性物質がセシウム134と仮定すると、5.4Bq/kgは、0.1026 μ Sv/kg。

<http://www.bq.filil.net/>

子供一人前80gとして、 $0.1026 \times 80 / 1000 = 0.008208 \mu$ Sv

一部の見解にしたがって、内部被曝が600倍危険とすると、

$0.008208 \times 600 = 4.92 \mu$ Sv

一年間毎日同量の肉を食べ続けたとして、365をかけると、1.798mSv。

国立がん研究センターによると、癌罹患上昇率は、年間100mSvで受動喫煙や野菜不足と同じ8%。

癌罹患率と被曝率が比例関係にあるとすると、

$100 : 8 = 1.798 : x$ として、 $x = 0.14\%$

つまり、子供一人がこの放射能のビーフストロガノフの肉を1年間食べ続けたとしても、癌にかかる率は0.14%上昇するに過ぎない。

つまり無視できる。

147 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月27日(土) 午後5時57分

タイトル: 花火大会で放射能を含む土手に座ることによって発ガン率はどのくらい上昇するか試算

ある花火大会の土手の土の線量が $0.40 \mu\text{Sv/h}$ だそうだ。

体重 60kg の人が 3 時間座ったとして、 $72 \mu\text{Sv}$ 。

浴衣についた土からも 10 分の 1 だけ 2 時間浴びるとして、 0.08×60 プラスして $4.8 \mu\text{Sv}$ 、花火大会 1 日の総被曝線量 $76.8 \mu\text{Sv}$ 。

国立がん研究センターによると、年間 100mSv で癌発生上昇率 8%。

1 日だと $8/365=0.02\%$ 。

$100000:76.8=0.02:x$ $x=0.00002\%$

結論: 花火大会でこの人が浴びた放射線で発ガン率は 0.00002% 上昇する。

146 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 27 日(土) 午後 5 時 44 分

タイトル: 計算に間違いがあり削除よろしくお願ひ申し上げます。

先ほどの投稿は、計算に間違いがありましたので削除してください。

148 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 27 日(土) 午後 11 時 56 分

タイトル: 10 万 Bq/kg 以下の木材瓦礫を焼却した場合に癌発生率がどれだけ上昇するか試算

農水省の決定により、汚染瓦礫 10 万 Bq/kg 以下なら焼却埋め立てできることになった。

セシウム 134 の場合 10 万 $\text{Bq/kg}=2\text{mSv/kg}$ 。

2500 万トンの 75%、1875 万トンが木材だという。木材に限定して話をする。

42 都道府県 572 団体が分担して焼却することになっているので、全量が 10 万 Bq 以下であり、均等に配分されると仮定して、1 都道府県あたりに配分される量は平均して約 44 万トン。この放射線量は、

$44000000 \text{ kg} \times 2\text{mSv}=880000\text{mSv}=880\text{Sv}$ 。

つまり、1 県で最大 880 シーベルトの廃棄物を埋め立てることになる。

1 県あたりの人口を 255 万人とすると、一人当たりの被ばく量は最大で、 $880\text{Sv}/2550000=345\ \mu\text{Sv}$ 。

国立がん研究センターによると、 100mSv でがん発生率は 8% 上昇するため、 $345\ \mu\text{Sv}$ では、 $100000 : 8 = 345 : x$ $x = 0.027\%$

つまり、木材瓦礫焼却埋め立てによって引き受けた県の県民が癌にかかる率は最大で約 0.03% 上昇する。 .

149 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 28 日(日) 午後 7 時 08 分

タイトル: 南北戦争とロスチャイルド

南北戦争は、ロスチャイルドによる米国乗っ取りの戦いであった。

ロスチャイルドには、敵が 2 者いた。

(1) 一つは、ロシア。(2) もう一つは、リンカーンである。

(1)

ロスチャイルドのイギリスとフランスは、南部を応援していた。

それに対抗して、ロシアは北部を応援していた。

ロスチャイルドは、米国を始末したあとで、自らに敵対するロシアを倒さねばならなかった。1917 年ロシア革命によってロシア・ロマノフ王朝は倒れた。

(2)

ロスチャイルドの応援した南部は敗れたが、傀儡財務長官サロモン・P・チェイスを通じて国立銀行法を議会で通し、中央銀行を設立し、米国銀行紙幣を発行する権利を得ることに成功した (1863~64 年)。

実は、この法律は、明治 5 (1872) 年制定の日本の「国立銀行条例」の典拠となった。つまり、日銀もロスチャイルドの銀行なのである。

リンカーンは、中央銀行と戦い、議会を動かして合衆国銀行 (Bank of the United States) を廃止に導いた。

リンカーンは、ロスチャイルドについてこのように批判している。

「お金の力 (訳注: ロスチャイルドのこと) は、平和時には国を喰い物にし、戦争時には国に対して謀反を働く。

それは、君主制よりも独裁的で、専制よりも傲慢で、官僚よりも利己的である。近い将来、私が狼狽するような危機が訪れるだろう。その際には、わが国の安全のために自らを奮い立たせなければならなくなるだろう。諸法人に王権が与えられた。腐敗の時代が続くだろう。そして、わが国のお金の力は、人々に損害を与えつつ自らの統治をひき延ばそうとするだろう。そして、ついには数人の手に富が集まり、共和国は破壊されるだろう。」

<http://www.servelec.net/lincoln.htm#4>

これは、ロスチャイルドを激怒させた。

現代の研究者たちは、リンカーン暗殺の陰謀に加担した以下の者たちがロスチャイルドの銀行とつながっていたことを示している：リンカーン政権の戦争大臣エドウィン・スタントン、ジョン・ウィルクス・ブース、彼の8人の仲間、70人以上の政府官僚と実業家たち。

<http://www.servelec.net/lincoln.htm#5>

つまり、リンカーンの暗殺はロスチャイルドによるクーデターだったのだ。

<http://www.rense.com/general86/pres.htm>

ケネディとリンカーンが非常に類似していることがわかるだろう。

ケネディは連邦準備制度に抵抗し、政府通貨を発行して殺された。

彼は、陰謀の存在について警告を発した。

ブースによるリンカーン暗殺の顛末と、ケネディ暗殺のそれとが酷似しているから調べてみてほしい。

ここからわかることは、ロスチャイルドの計画とは、「内乱を通じて州や領邦国家や藩の制度をつぶして国内統一する。統一したら、中央銀行を作る。中央銀行に反対するものは暗殺する」である。

なぜ中央銀行を作りたがるのかというと、その国の神になるからである。

アムシェル・ロスチャイルドがこういった。

「私に通貨の発行権と管理権を与えよ。そうすれば、だれが法律を作ろうが知ったこっちゃない」と。

南北戦争を通じてロスチャイルドはアメリカの神になった。しかし、リンカーンがそれを阻止した。リンカーンが暗殺された。中央銀行を通じての、ロスチャイルドのアメリカ支配はしばらく停止した。

しかし、1913年連邦準備制度の設立により、中央銀行が生まれ、ロスチャイルドに米国の紙幣発行権と管理権が与えられた。

アメリカはロスチャイルドの王国となった。

150 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月28日(日) 午後11時48分

タイトル: 昨年311を予言した人

昨年311を予言した人。

http://www.youtube.com/watch?v=VnK0-kWz3Vo&feature=player_detailpage#t=273s

(4:32 くらいから)

151 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月30日(火) 午前3時10分

タイトル: 1キロあたり5・4ベクレルの肉を食べた場合の癌発生上昇率は？ (修正)

これまでの計算は間違いでした。

ベクレル・シーベルト換算は、成人の場合50年、子供の場合年齢から70歳までの積算年数でした。

そうすると、1年あたりの被曝値は劇的に小さくなります。

=====
茅ヶ崎市にある5つの小学校で放射性物質が検出された牛肉が給食に使われていたことがわかりました。

これはきょう開かれた市長会見で明らかにされたものです。茅ヶ崎市によりますと、ことし5月と6月に市内5つの小学校の給食で出された「ビーフストロガノフ」と「肉どん」で放射性セシウムが検出された牛肉が使われていたということです。肉の放射性物質の量は、ビーフストロガノフについては、1キロあたり5・4ベクレルと分かっていますが、肉どんは同じ肉が残っていないため、放射性物質の量を調べられないということです。これを受けて茅ヶ崎市では、2学期の給食が始まる来月2日から国が安全宣言をするまでの間、市内全ての小学校の給食で牛肉を使うことを見合わせることにしています。茅ヶ崎市の服部信明市長は、「安全をしっかり確保して食材を使う責任があるので、国の情報を見極めたい」とコメントしています。

<http://www.tvk-yokohama.com/tvknews/news1.php>

=====
ビーフストロガノフに使われた肉に含まれる放射性物質がセシウム134と仮定すると、5.4Bq/kgは、0.1026 μ Sv/kg。

<http://www.bq.filil.net/>

これは、子供が食べた年齢から70歳まで生存したと仮定して生涯被ばく量だから、6歳児として、1年では、

$$0.1026/64 = 0.0016\mu\text{Sv}/\text{kg}/\text{y}$$

(しかし、これは、正確な数値ではありません。というのも、預託実効線量といって 70 年間の間に放射能が減衰していく分を含めて放射線を浴びた総量だからです。

http://search.kankyo-hoshano.go.jp/food2/servlet/food2_in

しかし、細かな計算をして正確さを求めるのではなく、だいたいどの程度の影響を受けるかを調べるものなので、ここでは、単純に 64 で割ります。)

$$\text{子供一人前 } 80\text{g} \text{ として、} 0.0016 \times (80/1000) = 0.00013 \mu \text{ Sv}/\text{y}$$

一人前 80g を 1 年毎日食べ続けた場合の被曝量は $0.00013 \mu \text{ Sv}$ 。

国立がん研究センターによると、癌罹患上昇率は、 2000mSv で喫煙と同じ 60%。

$$2000000 : x = 0.00013 : 1$$

$$x = 2000000 \times 1 / 0.00013 = 15384615384 \text{ 年} = 154 \text{ 億年}$$

つまり、この子供が一人前 80g を 1 年毎日食べ続けた場合、癌に関するタバコの害と匹敵するには、154 億年食べ続けなければならない。

この計算に異論のある方はご教授願います。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 31 日(水) 午前 6 時 19 分

タイトル: 人に対してやったことは、全部自分に返ってくる

TV 政治討論番組を見ていて思うのは、十何年も同じことを議論していること。

つまり、こんなに明らかなことをなぜ行政が行わないのかとか、無駄だとか、不正だとか。

私はもう聞き飽きた。正しいことがなにかがわかっているならば、どうしてそれが実現しない？

明らかにおかしい。

政治制度は機能していない。

どうしてか。

暗殺されるからだ。政治家にしろ、実業家にしろ。

先日、NHK が、終戦間近に地震兵器によって破壊された工場について報道した。

被災者が、B29 から蒔かれたビラに「次は何をお見舞いしましょうか」と書かれていたと証言。

その番組を担当したアナウンサー夫婦がなぞの死を遂げた。

原発反対運動がはじまりかけたときに、原発反対の立場だったある銀行幹部が自殺した。

今の体制は、脅迫によって成立している。

自分の意見に逆らう動きが明らかになったら、すぐに代表的な人物を殺して、釘を指す。

このような体制が長続きするはずがない。

「剣を取る者は、剣によって滅びる」

武力によって覇権を取ろうとする者は、武力によって滅ぼされる。

パワー信仰者は、パワーによって滅びる。

人は自分がやったように、人にやられる。

人を幸せにした人は、自分も幸せになる。

人を豊かにした人は、自分も豊かになる。

人を不幸にした人は、自分も不幸になる。

人を貧しくした人は、自分も貧しくなる。

人に対してやったことは、全部自分に返ってくる。

神はこのようにして人間を裁かれるので、暗殺によって支配するような体制は絶対に短命である。

153 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 31 日(水) 午前 6 時 29 分

タイトル: 小さな政府を

自分で自分を変えられる組織などない。そんなこと期待するな。チェックアンドバランス。聖書の「性悪説」に

帰るべき。

合衆国の法律の体系は、チェックアンドバランスでできている。人間を信頼しないシステム。だから、利害の対立する組織を互いに戦わせてチェックさせあう。一番チェックが厳しいのは市場である。だから、お金を政府に渡すべきではない。つまり、増税は愚の骨頂。お金は市場に流す。消費者がチェックする

市場のシステムでは、権力が分散されている。消費者が王様であり、その王様は一人ではない。株主がどんなに偉くても、株主の間違ひは、会社の業績となって現れ、消費者に拒否されれば市場で生き残れない。フジテレビの凋落を見てもわかる。市場のシステムにおいてお金はもっとも効率的に使われる。

お金が最も不合理的に使われるのは、大きな政府においてである。原子力村のようなものが至る所にあつて、互いに利益を与え合う人々が集まる。そして、われわれの税金が無駄に使われる。だから、そもそも税金を渡さなければいいのだ。減税しかない。小さな政府しかない。

「行政サービスが劣化する」とか言って抵抗されるだろう。しかし、国鉄の例を見ればわかるように行政のサービスよりも、民間のサービスのほうが圧倒的に優れている。なぜならば、生き残りをかけているからだ。常に倒産の危険と直面しているから、努力せざるをえない。しかし、行政はそのチェックがない。

天下りが悪いとか何とか言っているが、そんなのは問題ではない。福祉国家のシステムそのものが悪いのだ。大きな政府そのものが害毒なのだ。これは、まだ 100 年しかたっていない実験的システムである。失敗したことが明らかになった。だから、つぶすしかない。

官僚が事業をやると自分の再就職とか利権のためにシステムを作る。それがフジツボのようにどんどんたまって船を傾かせる。官僚は自分のやっていることが国家に対する反逆であり、国家を破たんさせることを理解すべきだ。いずれは自分に跳ね返ってくる。だから、バカなことをやめろ、といたい。

知識階級の国民は、世論を小さな政府に誘導すべきだ。大きな政府には希望はまったくない。このようなシステムは、肥満体と同じであり、肥満体を健康にするには薬を追加することではなく、運動させてスリムにするしかない。できるだけチェックアンドバランスが機能するシステムに変えること。

税金は、収入の 9%に限定すべき。それでやっていける。政府がやるべきことは、警察・司法・軍隊など正義に関する務めだけだ。事業は民間がやる。行政がスポーツセンターを作る必要はない。そういうものは、民間のほうがうまくできる。熾烈な戦いがあるので、もっともスリムな企業だけが残る。

福祉に関しては、収入の 10%を政府を通さずに分配する民間システムを作る。民間だから競争の中にあり、分配がもっとも巧みなところが生き残る。医療保険や介護保険、年金などは、個人の自己責任にする。最低限の生活を保障するためのセイフティーネットもその 10%を利用して作る。

154 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 31 日(水) 午前 6 時 31 分

タイトル: 小さな政府になぜならないのか?

大きな政府から小さな政府になぜならないかという、すべて中央銀行家の意志がそれだから。中央銀行の株主は実質的な神であり、国の本当の支配者である。彼らは、最終的に国民から富を奪い尽くす計画を立てているので、小さな政府など望んでいない。税金で貧乏にする計画なのだ。

マルクスはロスチャイルドの理念を継承している。マルクスが目指したのは、すべてを国家に帰属させること。だから、ほうっておくと、近代国家は、増税や相続税などで国民に対して際限のない搾取を繰り返す。福祉国家が「必要者への富の平等的分配の制度」などと考えている人は、共産党宣言を読むべし。

中央銀行や銀行に偽札を作る権限を与えている今のシステムでは、いくら国民に選挙権があっても、新しい体制を作ることは不可能。全部、登場する政治家は銀行家の利益代理人でしかない。銀行家たちは、国民から搾取することしか考えていないから、政治家を用いて増税につぐ増税を行う。

近代国家の体制とは、ユダヤ人銀行家による、異邦人に対する戦争の体制である。選挙制度は、それを隠すためのカムフラージュ。米国が原爆を落としたのではない。米国が占領したのではない。ユダヤ人が、世界帝国を作るために米国人を騙して利用したというだけのこと。

中国人や韓国人の反日感情とか、全部幻想。ユダヤ人がそういうように地域がまとまって対抗勢力を作らないように印象操作しているだけ。田中角栄とかがユダヤ勢力を差し置いて単独行動をとった。だから、はめられてつるし上げられた。

この世界で権力持ちたいならば、政治家になんてなっても無駄。自由はまったくない。米国大統領ですらない。ジョン・F・ケネディがはっきりと述べたとおり。権力持ちたいならば、紙幣の製造と管理の権利を手に入れるべし。つまり、中央銀行の株主になれ。それ以外は、みな操作されているだけ。

だって、労働せずにばんばん紙が1万円になるんだ。コンピュータの数字をいじるだけでお金になるんだ。こんなうまい話があるか？こんなことで蓄財できる人間にどうしてわれわれが勝てるか？中央銀行家と国民は、ゴジラ対バンビである。

中央銀行を廃止するために戦った米国大統領が何人も暗殺されている。米国建国者は紙幣を不道德とし、中央銀行を作らせてはならないと警告した。1913年に連邦準備制度ができて、ついに米国は滅亡した。もはやかつての米国ではない。

民族同士で戦うのは愚の骨頂。真の敵を見るべき。異邦人同士を自滅させる計画に乗ってはならない。

155 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月31日(水) 午後8時35分

タイトル: ルシファーによるバベルの塔建設が崩壊するように祈る

松下政経塾は、キッシンジャー政経塾とか、フリーメイソン政経塾とか、内容を明らかにするためにはっきり名前を変えてほしい。前原、野田は、どうみても、国境破壊男。TPP で堤防決壊させて、日本の農業水浸しに。すでに放射能プロパガンダ被害で水浸しになっているが。

世界中で、民族派の政治家や体制が破壊されている。カダフィやチャベスなど。日本では、田中派。小渕暗殺により清和会支配後、民族派完全消滅。民主党のもとで、TPP に組み込まれ、モンサントの食料支配下におかれ、食料を通じて世界政府の独裁下におかれようとしている。

石井四郎はアメリカの傀儡だったと思います。というか、関東軍そのものがイルミナティ。石原莞爾は世界政府論者でした。

関東軍は、CIA と同じような動きをしていた。つまり、政府内政府。政府の意思とは無関係に動き回る。そして、その国をあらゆる方向にひっぱっていく。おそらく関東軍のトップがフリーメイソン・イルミナティと通じていたのだと思います。

イルミナティによる国内の民族運動をつぶす方法は、同類と見せかけて接近し、運動を別の性質のものに変えてしまうこと。統一協会は、実質世界政府を目指しているから共産主義であるにもかかわらず、反共をかかげて、民族派政治家や活動家に接近した。キリスト教では、米国福音派が完全にやられた。

正統派キリスト教と統一協会の違い：ニュー・ワールド・オーダーの開始点をどこに置くか。正統派は、イエス・キリスト以降ニュー・ワールド・オーダー。統一協会は、イエスは失敗したので、文鮮明がニュー・ワールド・オーダーを作る。

統一協会と、イルミナティは「ニュー・ワールド・オーダーはこれからやってくる」と考える点で一致。その意味では、現在の福音派は、未来派であり、イルミナティや統一協会と同じ。「終末は近い！再臨のキリストが世界を支配する」は、「あの 2000 年前のキリストはだめだった」と同義。

ルシファーによるバベルの塔建設が崩壊するように祈る。

156 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 8 月 31 日(水) 午後 8 時 55 分

タイトル: バベルの塔は、ピラミッドの模倣だった

なぜイルミナティは、塔を作りたいがるのか。

イルミナティの EU はバベルの塔を作った。

<http://tak0719.web.infoseek.co.jp/qanda3/satanEU.htm>

イルミナティの先祖であるニムロデはバベルの塔を作ろうとした。

このバベルの塔、実際はピラミッドのようなものだったと思う。

なぜならば、ピラミッドは、ヨセフによる神の礼拝所として建設されたから。

ピラミッドは神の山であり、キャップストーンに神の目があった。

幕屋の原型がピラミッドだと私は考える。

だから、今イルミナティがシンボルとしている「三角形と目」は、ピラミッドのイミテーションなのだ。

サタンは、創造できない。

サタンは、模倣しかできない。

サタンは、神の真似事をしたがる。

だから、バベルの塔は、ピラミッドの模倣だった。

157 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年8月31日(水) 午後10時15分

タイトル: 100mSvでは癌にならない by 放射線防御委員会長

http://www.youtube.com/watch?v=_zRZ4WD5AvI&feature=related

158 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月1日(木) 午前1時52分

タイトル: 石油をつくる奇跡の藻

<http://www.youtube.com/watch?v=ns6Mg1yN0So&feature=related>

159 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月1日(木) 午前8時06分

タイトル: チェルノブイリで20万人を調査した当の学者が、放射線は危険ではないと結論

チェルノブイリに行って治療かたわら 20 万人の調査を実行した当の学者が、放射線は危険ではないと結論。

セシウムは 10 日以降影響ない。

甲状腺がんもそれほど多くない。20 万人の 1 人でるところ 2 人程度。

<http://www.youtube.com/watch?v=WwtX53TfWyM&feature=related>

160 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 9 月 1 日(木) 午前 8 時 46 分

タイトル: まず銀行家から特権をはく奪せよ

「通貨とクレジットの管理が政府に返還され、神聖な責任として認められるまで、議会主権と民主主義について話すことは無効で無益なものである。一旦、国が金融の管理を手放したら法律を誰が作るとかは問題ではない。一度、高利貸しの手に入ったらどんな国でも破壊されつくしてしまう。」 (元カナダ首相)

銀行家には、自分が持っているお金以上のものを貸す権利がある。これは、偽札作りと同義。

たとえば、自分に 100 万のお金しかないにもかかわらず、友人に 1000 万貸す権利があれば、利子を 10%とれば、1 年で資産は倍になる。

民間人がこんなことやれば偽札犯として逮捕されるが、銀行家は許されている。ここに、民間人と銀行家の間に巨大な不平等が存在する。

もう一つは中央銀行。中央銀行は、紙幣を発行できるが、今は兌換ではなく、不換である。

不換紙幣は、偽札にはかならない。なぜならば、紙幣を裏付ける価値があるかないか不問だからだ。

偽札は、労働の対価として著しく低いものを提供することだから泥棒や詐欺と同じ。

中央銀行には、泥棒する権利が与えられている。

このように、近代国家とは、銀行家による独裁体制である。

民衆と銀行家の間にあまりにも大きな不平等がある。

そして、あまりにも巨大な権力を持った銀行家は、政治家を思いのままに動かし、学者を動かし、実業家を動かしている。

彼らの決断次第で大恐慌を起こせる。バブルの後に引き締めを行って、二束三文になった株を買い占めることに

より、市場を独占できる。

戦争を起こして他国を乗っ取ることができる。

今、アメリカでも、日本でも起きていることは、銀行家による破壊である。

この問題を解決しない限り、政治も民主主義もまったく意味がない。

全部、銀行家が決めて、政治家はそれを演じているだけ。

選挙制度は茶番であり、すでに結論は出ている。

世の中を変えたいならば、まずやるべきことは、銀行家の特権のはく奪である。

161 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月1日(木) 午後3時40分

タイトル: NHKが米軍の地震兵器が戦時中日本に適用されたことを紹介

<http://www.youtube.com/watch?v=UBqqv1yVKXo>

162 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月2日(金) 午前7時27分

タイトル: ニュー・ワールド・オーダーのための準備は着々と進んでいる

(1)

中央銀行によって通貨量が一元管理できる体制での株式制度ってのは、パチンコ屋のようなもので、玉の量が管理されている以上、勝ち負けはすべて中央銀行の一存である。

中央銀行によって通貨流通量が管理されている体制では、景気不景気が随意に引き起こされる。バブルを起こして、十分に人々が借金をしたのを見計らって、通貨量を制限する。借金で首が回らなくなった会社を底値で買い取る。ユダヤ人はこうやって日本の市場を支配した。

中央銀行制度は、胴元（システムを作った人々＝ユダヤ人）が儲かるようになっているばくちのシステム。彼らは、異邦人はスッカンピンになるまで金を使うだろうとたかをくくっている。

(2)

「神なんてしろものを考えだした人間は、歴史上最大のペテン師」という人がいるが、神がいるかいないかは科学で扱う対象ではないので、ペテン師かどうかを判断することは不可能。究極的には、神の存在問題は主観の領

域。だから、誰も宗教信者を「洗脳されている」とか「ペテン師にだまされている」と呼べない。自分自身がだまされていないことすら証明できない。

経験科学は、データ収集がすべてである。データがなければ法則化もできない。死後の世界についてどうやってデータを集めますか。神の不在についてどうやってデータを集めますか。だから、経験科学は帰納法的手法をとり続ける限り、死後の世界や神存在については沈黙するしかない。

科学が演繹的手法をとり始めると、それは、宗教に変わる。だから、科学が科学であり続けるためには帰納法的手法をとる必要がある。データなしでものを言うのは、科学者の仕事ではなく、宗教家のそれ。だからといって、宗教はだめだということにはならない。なぜならば、宗教はドグマに基づく知識の手法だから。

宗教とは、ドグマに基づいて、演繹的に物事を判断していくシステム。これは、知識のシステムとしては有効であり、決して違法ではない。科学的経験的実証的思考だけが合法であるというなら、人間存在そのものが違法になる。なぜならば、人間の思考は、帰納的と演繹的とを組み合わせるものだから。

(3)

「昔から社会の上層部は宗教家だった」という理由だけでは、「だから宗教はペテンだ」と結論するには足りない。宗教は、社会の基礎の基礎を形成するものだから、宗教家が社会において尊敬され、そのために所得が向上するのは普通の現象。

科学的知識は、人間の思想を形成するための材料にはなれるが、思想そのものにはなれない。建築資材だけがあっても、ビルはできないのと同じ。その建築資材をどうやって組み合わせてビルとするかを考えるのは思想である。だから人間は、不可避免的に宗教的であり、宗教から完全に解放された人間はいない。

政治家は学問を尊ぶ。科学的見地を尊重する。しかし、選挙対策本部にいけば、御札やだるまなど縁起物がある。選挙必勝祈願に神社におまいりにいく。誰もそれをとがめられない。なぜならば、すべての人が同じことをしているから。結婚相手を、科学だけで決めますか。直感は科学の正式手法ではない。

科学か宗教か、という二者選択の思考方法は間違い。オウム事件やカルトの行状を見て、人々は、「宗教は危険だ」「頭のおかしい人がやっている」と自分から切り離すようになった。まんまとイルミナティの思想誘導に乗ったわけだ。

イルミナティは、「理性とキリスト教」を対決させた。そして、偽りの歴史を教えた。「ガリレオは科学を主張したが、教会によって妨害された」と。あたかもキリスト教が科学に敵対しているかのような印象を与えてきた。事実は逆。近代科学の母体はキリスト教である。これは少し歴史をひもとけばわかる。

(4)

イルミナティとは、「真理の光を与えるルシファー」を拝む悪魔教である。イエスは「わたしは世の光である」といわれた。サタンはこれに対抗して自分こそが光だと叫んできた。そのだましにまんまと乗ったのがイルミナティであり、啓蒙主義である。この偽りの光による世界の統一。これが彼らの目標。

国連は、ルシファー礼拝の組織である。祈祷部屋を管理しているのがルシス・トラスト社。この会社はもともと

ルシファー・トラスト社だった。祈祷部屋は光を中心に成立している。

ローマ・カトリックをキリスト教と誤解してはならない。実質的支配者イエズス会の創始者デ・ロヨラはアランブラドス（スペイン語で「光に照らされた者」）という秘密結社出身。このイエズス会からイルミナティを作ったヴァイスハウプトとディスペンセーションナリズムを作ったラクンザが出た。

今、ほとんどの福音派を支配しているディスペンセーションナリズムは、イルミナティの教えであり、それゆえ悪魔教である。ほとんどのキリスト教が変質して別のものになってしまった。ローマ・カトリックもプロテスタントもイルミナティ化されてしまった。イルミナティ化された者同士が一致を叫んでいる。

キリスト教の合同は、イルミナティの光のもとでの合同である。ユニオンなんとかという名前はそういった背景がある。「互いに争わないで仲良く」という美名のもとで合同が行われて、集団で悪魔化されてしまった。

(5)

イルミナティは、米軍を使って世界中の国々を武力支配することによって、その国のすべてを変質させてきた。日本はマッカーサーによってイルミナティ化された。マッカーサーは、同僚のフリーメイソンに対して「わたしはフリーメイソンの道徳を広めるために日本に行く」と言った。

日本は、「ピラミッドと目」によって蹂躪されたのであり、米国によってではない。米国はそれ以前に蹂躪されていた。ルーズベルトのもとで米ドル札に「ピラミッドと目」が印刷された。日本はすでに世界政府に組み込まれていた英米仏露の連合軍によって無理やりその一員にされた。

みんなが賛美している「開かれた王室」のような王室の民主化傾向は、民族の解体を目的としており、世界政府の完成のためである。そのためには、「特権階級の王室のもとで人々は苦渋をなめていた」という図式が作られるが、実際はそんな構造はどこにもない。ロシア革命前に、人々は皇帝を敬愛していた。

民族国家・王室・キリスト教を悪者に描くのはイルミナティの思想誘導である。中国や韓国、そして、福音派キリスト教が、反天皇、反民族なのは、日本民族の解体・弱体化のために洗脳され、利用されているから。

人々がかっこいいと考えてやったり好んだりしている薬物や、同性愛、AVなどは、民族解体の手法であり、土台から国家を転覆するためである。ニュー・ワールド・オーダーのための準備は着々と進んでいる。

164 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月2日(金) 午後4時47分

タイトル: イルミナティもぼろが出始めたか

<http://www.dailymail.co.uk/news/article-2024790/George-Soros-refuses-ex-lover-Adriana-Ferreyr-1-9m-Manhattan-apartment.html#ixzz1WkrXtAG9>

ジョージ・ソロスが、愛人に暴力、首を絞める。

イルミナティもぼろが出始めたか。

165 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月3日(土) 午前8時09分

タイトル: 宗教戒律としての酒タバコ禁止は異端である

キリスト教は、何を食べてもいいという教えである。神がイエス・キリストにおいて全世界を聖められたので、すべては聖くなったと教える。その反面、神に対する感謝を忘れて食べると、すべての食べ物は穢れる。

「もしあなたがたが、キリストとともに死んで、この世の幼稚な教えから離れたのなら、どうして、まだこの世の生き方をしているかのように、「すぎるな。味わうな。さわるな。」というような定めに縛られるのですか。そのようなものはすべて人間の戒めと教えによるものです。」(コロサイ 2:20-22)

酒タバコを宗教的義務として禁止する教会があるが、完全な間違い。パウロは、ここで、食物禁止を「縛られる」ことであるという。それは、束縛であり、クリスチャンの自由の喪失である。また、それは「幼稚な教え」、「人間の戒めと教え」でもある。

コーヒーなど他の嗜好品を禁止する宗教もある。嗜好品は、カフェインや他の刺激物が含まれていることが多い。それは、神が人間に必要なだから与えたものである。われわれは、日常生活から離れた世界に入ることによって、リフレッシュされる。仕事の後にコンサートに行くとか。

神は嗜好品を通じて、仕事からの安息を与えておられる。

もし酒が悪いなら、なぜイエスがカナの婚礼で水をぶどう酒に変えられたのか。しかも上等の。タバコが悪いなら、なぜ神はタバコという植物を創造されたのか。酒タバコを悪いとする人々は、神ご自身に向かって「あなたは悪い」といっているようなもの。つまり、法を自分で作るという最悪の罪を犯している。

旧約の食物規定は、善悪の区別を実物教育で学ばせるためであった。つまり、具体的な食べ物で神の意思に従うことを学んだ。だから、旧約時代には「ものそのもの」に聖不聖の区別があった。しかし、キリストという本体が現れた以上、そのような実物教育は不要となった。

これは、法定年齢に達していない人が模型を使って自動車運転を学んでいたが、年齢に達したため、もはやその模型が不要になったのと同じである。食物規定は今日完全に撤廃された。むしろ、何かを穢れていると考えるならば、「万物を神と和解された」(コロ 1:20) キリストの御業を否定する罪になる。

誤解してほしくないのは、健康上の理由でアルコールやタバコを忌避することは間違いではないということ。問題は、「宗教戒律として酒タバコを禁止すること」である。新約時代には、「ものそのもの」に聖不聖の区別はなくなったが、新たに「動機による」聖不聖の区別ができた。

つまり、「神を愛するために行わない」行為すべてが穢れている。

「きよい人々には、すべてのものがきよいのです。しかし、汚れた、不信仰な人々には、何一つきよいものはありません。それどころか、その知性と良心までも汚れています。」(テトス 1・15)

信仰から出ない行為はすべて汚れる。

旧約時代は「ものそのものにこだわる」が、新約時代は「動機にこだわる」時代なのである。(もちろん、旧約時代においても、動機は重要であったが。)

現代の教会が特定の食べ物を禁止しているのは、旧約と新約の時代区別がきちんとできていないためである。

166 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月4日(日) 午前10時36分

タイトル: クリス・バズビーなる人物の狙い

福島事故を過剰に危険視する人々が権威として引き合いに出すクリス・バズビーなる人物は、「出産の許可制」による人口削減を主張する環境保護運動団体シエラ・クラブを生んだ「みどりの政治」運動と関係がある。彼自身の環境コンサルタント会社の名前も Green Audit。 http://en.wikipedia.org/wiki/Christopher_Busby

バズビーは、「みどりの政治」運動を推進するイングランド・ウェールズ緑の党のために働いていた。 http://en.wikipedia.org/wiki/Green_Party_of_England_and_Wales 「みどりの政治」運動は、環境テロ組織シーシェパードの思想的母体である。 <http://www.bookrags.com/research/green-politics-enve-01/>

現代の環境運動の真の目的は、人減らしである。 <http://www.youtube.com/watch?v=mZU9SCoPQQc>

だから、人減らしをしている側の人間（バズビー）が、「人が減る。大変だ！避難しろ！」と叫んでいる。

おかしくないか。

これら福島を煽る人間の狙いは、日本の占領である。

グローバリストたちは、人口削減計画にしたがって、獲得しようとする天然資源がある土地の人々を放射能を使って汚染・殺害してきた。『広島からイラクへ：ウラン戦争の61年』という著書においてローレン・モレットはこのように述べた。

「1991年、劣化ウラン弾を使った米英連合軍による秘密の核戦争が、中東、ユーゴ、アフガニスタン、レバノンで始まった。その明確な目的は、石油埋蔵地域もしくはパイプライン地域に住む多くの住民の健康を害し、遺伝的に未来を破壊することであった。」

イラクやユーゴ、アフガニスタンにおける劣化ウラン弾の絨毯爆撃及びグリッド爆撃により、土地は永久に放射能によって汚染された。2006年にイスラエルがレバノンに対して行った劣化ウラン弾爆撃において濃縮ウラニウムが使用されていたことが最近明らかになった。このことは、第4世代核兵器の実験が秘密裏に行われたことを暗示している。

おそらく、福島における原子炉の燃料漏れは、…日本や米国、ヨーロッパの人口を減らすために実行されたのであろう。」

<http://gramercyimages.com/blog1/tag/dr-chris-busby/>

米英連合国が、グローバリストの指示のもとに、資源地域の人々を劣化ウラン弾によって汚染し、殺害し、遺伝的に傷つけてきた。

支配したい場所の住民を無能化することにより、その場所を空白地帯にしたいのだ。

バズビーがさかんに「避難せよ」といい、彼の仲間が「日本人は北3分の1から避難せよ」というのは、占領するためだ。

167 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月6日(火) 午前2時05分

タイトル: ついに奴らの計画が見えてきた

ついに奴らの計画が見えてきた。

<http://www.appealforfukushima.com/ja/>

原発事故の目的は、日本占領である。

合法的侵略を許すこと。

そのためには、日本人に福島の管理は不十分であり、手に負えない状況であり、国内に汚染が広まってどうしようもない状況になっていると吹き込めばいい。

「政府の言っていることは、間違いで信用できない。本当の数値は違うのではないか」みたいな疑心暗鬼に陥ることを狙っている。

「国際機関に任せればいいのだ」と誘導している。

国際機関って何？

国連って何？

イルミナティの機関。ルシファーを礼拝する組織。

こんな機関に依頼したら、何されると思いますか？

植民地化ですよ。奴隷。完全な。

東北農業は放射能によって破壊されたということになっているから、そこにモンサントが付け入る隙ができる。

遺伝子組み換え作物によって日本は食糧に関して完全にコントロールされる。

いいですか。みなさん。

決死の祈りが必要です。

日本人、政府が、悪魔の誘惑に乗らないように祈ってください。

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月6日(火) 午前3時44分

タイトル: どうしてこれで日本の北3分の1から退避せよとなるわけ？

<http://blue.ap.teacup.com/jickey/81.html>

バズビーの予測計算にしたがって今後10年間放射性降下物が蓄積した場合の癌発生率増加は、0.3~0.13パーセント。

完全に無視できる範囲。

どうしてこれで日本の北3分の1から退避せよ（マリオン・ファルクとの対談）となるわけ？

169 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月6日(火) 午前4時17分

タイトル: これが日本の軍隊の真の姿だーイラクで自発的に起きた感謝デモ

これが日本の軍隊の真の姿だーイラクで自発的に起きた感謝デモ

<http://www.youtube.com/watch?v=690NvwbZL8c>

170 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月7日(水) 午前0時38分

タイトル: 6%の人のために94%の人は疎開せよ?

クリス・バズビーの主張:

1. 内部被曝は1000倍危険。
2. 福島原発事故により417,000の癌患者が出現。
3. 日本の北3分の1は居住不可能になるから避難せよ。

<http://www.gatheringspot.net/news-article/general-discussion/scientists-declare-northern-13-japan-uninhabitable-and-should-be-evacuated>

1. 食品上限500Bq/kgの肉100gを毎日食べたとする。

$500\text{Bq/kg} = 9.5\mu\text{Sv/kg}$

これは、50年の積算被曝量なので、50で割ると、 $0.19\mu\text{Sv/kg} \cdot \text{year}$

100gでは、 $0.19 \times 100/1000 = 0.019\mu\text{Sv/kg} \cdot \text{year}$

これを毎日食べると、1年で $0.019 \times 365 = 6.935\mu\text{Sv}$

内部被曝を1000倍危険とすると、 6.935mSv

国立がん研究センターによると、タバコの害に匹敵する線量は 2000mSv であるから、タバコ並みの発癌率になるまで、

$2000/6.935 = 288.392$ 年かかる。

つまり、許容上限500Bqの肉を毎日100g食べたとしても、タバコ並みの発癌危険性に達するまで約290年かかる。

無視できる値。

2.

本当に417,000人の癌患者が生まれるとする。

東北北海道の人口は 600 万人。

$417000/6000000=0.06=6\%$

6%の人に影響が出るからとって、その他 94%の人がどうして疎開しなければならないのだろうか。

3.

結局、疎開を勧めている学者、クリス・バズビー、マリオン・フルク、ローレン・モレットのことをまともに受けていたら日本が破壊されてしまう。

冷静さが必要だ。

171 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 9 月 7 日(水) 午前 3 時 05 分

タイトル: 911 ビル倒壊が爆弾によらないってまだ信じている人がいる不思議

びっくりするが、まだ 911 のビル倒壊が飛行機によって起きたって考えている人がいるんですね。実際に現場のビルの中にいた多くの消防隊員がビル倒壊の前に爆発音を聞いている。だから、飛行機説を取る人間は、情報が足りないのではなく、情報を受け取りたくないというだけなんでしょう。

<http://www.youtube.com/watch?v=7JRBmykntVk> 「現場作業した隊員の証言：机も電話も、何もかも跡形もなかった。電話は、小さな手のひら大のキーパッドがあっただけだ。すべてが粉々になった。」これが、ビルの自重で起きた倒壊ですか？

http://www.youtube.com/watch?v=FGGP20137SA&feature=player_detailpage#t=126s 事故直後の粉塵まみれの消防士の証言：飛行機激突後、「3 回の爆発があった」。これ嘘ですか？何のために？

http://www.youtube.com/watch?v=X3uFvOiTNz4&feature=player_detailpage#t=4s インタビュアーが北棟から逃げてきた人々にインタビュー。「これらの方々は、ロビーを通過して逃げてきました。ロビーに爆弾があったといっています。」証言者：「階段を下りてきましたが、ロビーはなかった。すべて破壊されていました。」これ嘘？何のため？

http://www.youtube.com/watch?v=X3uFvOiTNz4&feature=player_detailpage#t=28s 別の証言者：「階段を降りて逃げました。ロビーの外に出ましたが、ロビーはありませんでした。まったく消えていた。」「ロビーはなかった。私は、爆弾でまずロビーが破壊されたと思います。」これ嘘ですか？別の一般市民が異口同音にロビーがなかったという

爆弾による破壊が空想ですか？じゃあ、なぜこれらの消防士たち、一般市民が、異口同音に「爆弾が破裂した」と証言しているの？もし口裏を合わせるなら、なぜ？爆弾による破壊が空想というならこれらに答えなければな

らない。違いますか？ちなみに、911 委員会はこれらの証言を完全無視した。

僕は、これだけ明確な証拠がありながら、それらを見せしめ、ビルが政府の公式見解と同じように飛行機衝突によって倒壊したととる人々の運命までは責任を負えない。

なぜならば、彼らは嘘を喜ぶ人々だから。

嘘を喜ぶなら、喜んでください。そして、嘘つきに騙されて破滅しても、「騙された！」と言わないでください。

全部自分が蒔いた種を刈り取っただけですから。

172 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 9 月 7 日(水) 午前 10 時 41 分

タイトル: 聖書が記された目的

史的イエスなるものを求める必要はクリスチャンにはまったくない。それは無駄な努力である。

史的イエス（してきイエス）とは、「キリスト教の開祖とされるナザレのイエスについて、キリスト教信仰の観点を排除し、史料批判など歴史学的な手法を用いて探究される歴史上の人物像のことである。」(Wikipedia「ナザレのイエス」)

つまり、「聖書に述べられているイエスは、本当のイエスなのだろうか。福音書記者が解釈したイエスではないか。そんなイエスを信じていいのだろうか。われわれは、彼らの信仰に依存するイエスではなく、ありのままのイエス、歴史的に実在したままのイエスを求めるべきではないか」という立場である。

これは、使徒の権威がわかっていないから起きる問題である。

使徒は、イエスの証人としてじきじきにイエスによって選ばれた人々である。

イエスは、彼らに御言葉を委ねられたので、われわれは、使徒の言葉に聞かねばならないのである。

つまり、いかに使徒のフィルタを通してイエスが伝えられたとしても、そのフィルタ自身がイエスの指定したフィルタなのであるからいいのである。

イエスは、「本当の私を歴史的資料から探りなさい」とはいわれず、「私が任命した使徒の証言を聞きなさい」といわれた。

われわれにとって、真実のイエスとは、「使徒が聖書において記したイエス」である。福音書ごとに視点が異なっているので、強調点が違うが、それは、互いに矛盾しているということではなく、神が立体的にイエスを描こうとされたためである。

歴史学は、時間的、空間的に、史実をできるだけ正確に描こうとするが、福音書は違う。

聖書は、「神と人間の契約の書」であり、「神の国」を築き上げるための書物である。

だから、歴史書ほどの時空的正確さはそもそも期待されていない。

われわれが、偉人伝を読む際に、ことさらに場所と時間を気にするだろうか。

偉人伝を読む目的は、偉大な人の描写を通じてそこから教訓を得るためである。何か科学的なデータを得るためではない。

それと同様に、聖書にも明確な目的があるので、それに焦点を当てるべきであり、科学的なデータを提供する書物として読むべきではない。

聖書は、われわれがいかにして、神の契約の中に入り、イエス・キリストを頭として新人類として、世界を統治し、神の国を拡大し、世界をエデンの園化し、神の栄光の世界を築き上げるか、ということを教えている。

単なる「救われるため」そして「伝道するため」の書物ではない。

聖書は、「統治」するためである。

サタンの王国を縮小して、イエス・キリストの王国を拡大するためである。

オセロゲームみたいなものである。

われわれの人生は、どれだけサタンの駒を減らして、どれだけイエス・キリストの駒を増やしたかで評価される。

この世に生まれてきたのは、あたかも劇場の舞台に上がったのと似ている。

人々の目の前に出てきた演者は、自分の役割を果たして舞台袖に下がる。

われわれは、目的をもって生まれてくる。そして、役割を演じて、去る。

神と御使いと天上のクリスチャンが観客として見ている。

見ているだけでなく、助けてくれる。

脚本はすでに仕上がっており、ただ演じることだけが残っている。

神が書かれた筋書き以外のことは絶対に起きない。

神は、われわれが誰と出会って、どの学校に入って、どの職場で働くか、誰と結婚するか、などすべてを決定しておられる。

祈り、聖霊の導きにしがって活動する中で、次第に自分の使命がわかるだろう。

わかったらすべてを捨てて従え。

神は、必要なものをすべて与えてくださるだろう。

世界を変えるためにわれわれは召された。

われわれの主な目的は、天で行われているように、神の御心を地上で行うことにある。

「御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。」(マタイ 6・10)

173 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月7日(水) 午後0時09分

タイトル: イエス・キリストしか道はない

(1)

NHK に出ていた精神科医によると、引きこもりの原因のひとつは、自分を世の中のものさしで計り、肯定できないからだという。

また、「閉塞感のある時代の中で自分を肯定できずに精神を病む人々が多い」とも。

そして、自分を肯定する哲学としてニーチェがいいと。

完全に間違っている。

ニーチェの最後を知っているか。発狂した。

発狂した人間に教えを請うのか。

どこまでもイエス・キリストを避けるのだなあと思った。

はっきりいう。イエス・キリスト以外に救いの道はない。

ほかのものは、いったんは救いを与えてくれる。

しかし、それは必ず裏切る。

しかも、人生の最後に。

サタンはずっとわれわれを騙し続けようとしている。死ぬ直前になって引き返せない時点まであわよくば騙せればいいと考えている。

だめだ。

今すぐ、騙しのシステムから解放されなければならない。

どんなに仕事に精を出しても、カルチャーセンターにいつて趣味に打ち込んでも、人間に救いを求めても、最後には失望に終わる。

究極的な解決は、被造物にはない。

被造物は、人生の目標にはならない。

被造物は、われわれが楽しむために与えられた。救い主になるために与えられたのではない。

だから、被造物には救いを求めるな。

われわれは、イエス・キリストという創造主に救いを求めるべきだ。

造られた者は、造ったお方のもとに帰る以外に根本的な解決はない。

聖書を無謬の書物として受け入れ、イエス・キリストを救い主として受け入れ、そして、イエス・キリストの共同体の中に入れ。

つまり、契約、神の国の中に入れ。それしかない。

そのときに、はじめて自己を肯定し、問題は根本的に解決する。

このミニストリで、最高にキツイ薬にまでいたったうつ病だった方がいらっしゃるが、すっかり癒された。

その娘さんも重度の障害をもって生まれたが、奇跡的にすべて治った。うつ病も障害も完治宣言が出た。

医者もびっくりだったという。

そうだ。奇跡は起きる。

奇跡を起こすには、考え方を変えないとだめだ。

いいですか。

今のキリスト教の癒しの集会は最後は変なところにつれていかれるからご注意ください。

ニューエイジ運動の一種であることが多い。

解決は、イエス・キリストの契約の中に入り、その中において、神から使命を与えられ、自分を忘れて没頭することだ。

考え方が整理がついて、健全な教えにならない限り、絶対に自己肯定などできない。

(2)

勝利するためにやるべきこと：

1. 罪責感をとること。

イエス・キリストを信じることによって、罪責感はすべて取れる。イエス・キリストが身代わりに罪を負ってくださったので、罪を犯しても、悔い改めることによって仕切りなおしができる。

この「ご破算」ができるかできないかで、精神が受けるストレスは大幅に軽減される。

2.

契約の規則を守る。

病気や秩序の破壊が起こる大きな原因の一つは、罪である。

罪とは、神の法への違反である。

神の法とは、神の御心であり、聖書の教えである。

エンジンに食用油を注いでも破壊されるだけだ。

それと同じように、人間も「それ用の」ものを与えないと壊れる。

ニーチェなど、人間の教えは、エンジンに食用油を与えるようなものである。

われわれの創造主が啓示された神の法を守る以外に健全な道に至ることはできない。

3.

予定論を信じなさい。

神は世界の歴史をすべてことごとくあらかじめ決定されたと信じなさい。

そして、世界は必ずイエス・キリストが勝利されると信じなさい。

サタンは必ず滅ぼされると信じなさい。

イエスが十字架と復活を通じて、「人類最大の敵」である死に勝利された。

だから、イエスには敵はいない。

イエスは「わたしは天地におけるすべて権威を与えられた」と宣言された。

だから、イエス・キリストは、今世界の王であり、イエス・キリストに逆らうことができる人は誰もいない。

サタンはすでに 2000 年前に敗北した。

だから、われわれがイエス・キリストのもとに行き、契約に入るならば、われわれはイエスにあって王になり、勝利する。

4.

聖書を疑うな。

聖書は、タブーである。

タブーとは、触れてはならない神聖なものである。

タブーとは、疑いを超越した権威である。

人間理性で評価するならば、人間が神を超えることになり自己矛盾に陥る。

人間は、あくまでも聖書の教えを前提として受け入れるしかない。

疑わず、聖書の言葉をそのまま受け入れて、それを周りの環境に関係なく堅固に信じ続けよ。

これこそがわれわれが人生をかけて訓練すべきことだ。

われわれは、周囲の目、周囲の評価に流される。

われわれは、よい意味で「自己完結した人間」にならなければならない。

われわれは神ではない。しかし、聖書は御言葉である。

だから、われわれは、周囲の人の意見ではなく、「御言葉が何を言っているかによって完結する」ための訓練を

つむべきだ。

古来、信仰の勇者たちは、この訓練を受けてきた。

私は、受験競争を通過した。

受験において世間体は大きな動機になる。

世間的にどのような評価の学校か気になる。

そして、「自分があの学校に入ったらこうなる」と夢見てがんばるのである。

こういう訓練をつんだので、世間体とか周囲の目に弱い人間になった。

「神が肯定してくれればいい！」と考えられるのに時間がかかった。

神はわれわれを「世間体・世論に関して」自己完結した人間になるよう訓練される。

毎日が戦いである。

しかし、解決は聖書にあり、神にあるので、安定している。

こういう契約の民になる以外に精神を正常に保つことはむずかしいだろう。

もうそろそろ諦めて、イエス・キリストを信じたまえ。

174 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月9日(金) 午前8時29分

タイトル: 国を本来の姿に戻すべきだ

国というのは、そもそも、個人や家庭が生産活動をする際に、自分の命と財産を守るために用心棒を雇ったところから始まっている。

ある人々が集まって村を作る。村の中で世話役が人々の命と財産を内外のならずものから守ってあげる。

安全な村には人が集まるから、次第に大きくなって国になる。

そして、その世話役が国王になる。

国とは、個人と家庭へのサービス機関であって、これ以上でも、これ以下でもない。

その国が、一部の有力者の都合によって動き出し、彼らのビジョンのために奉仕するように変貌することがある。

国が主人公になって、国民を利用するようになる。

一部の資本家の都合で外国の領土をとるために、戦争に駆り出される。

国のために過重な税金をとられる。子孫に残そうと思っていた財産を相続税でとられて、すっかんぴんになる。家の取り潰し。

こうなると、もはや本来の意味を失っているのに、国民にとって国は邪魔者、敵になる。

20世紀の初頭に始まった福祉国家とは、共産主義国家であり、どのような名前をつけたとしても、「ぼったくり国家」である。

マルクスは、著作において、私有財産制の廃止をといた。

われわれがいただいている国は、このような国家である。増税につぐ増税。政治家や官僚の無駄遣い。過剰な報酬。なんだかアメリカが始めたわけのわからない戦争に首を突っ込む。

だから、このような国を運営・維持する政治家や官僚は、われわれの敵であり、われわれにとって邪魔者である。

国の原理的な姿に帰るべきだ。

国は、「タバコは健康に悪いからすってはならない」なんてことに首を突っ込むべきではない。それは、われわれが決定する。何が健康で、何が危険か。シートベルトをして自分が死んでも、自己責任である。

げんに、警察は、民事に介入しないではないか。

介入してもいいのは、他人に対して迷惑をかける行為だけだ。

国が国民の福利のために首を突っ込んでいいことなど一つもない。

無駄な事業を始める。その事業のために公務員が増え、事業所が建設され、その事業所の所長に天下りの役人が赴任する。そして、退職金をがっばり取って、そのような事業所を渡り歩いて金を稼ぐ。

もう寄生虫だろう。

国民であるわれわれは、国を本来の姿に戻すべきだ。つまり、「サービス機関」に戻すべきだ。

Date: 2011年9月9日(金) 午前8時51分

タイトル: 訂正

シートベルトをして自分が死んでも

→

シートベルトをしなくて自分が死んでも

335 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年10月24日(月) 午前9時00分

タイトル: 訂正

「非寛容を旨とする」→「寛容を旨とする」、自ら「非寛容」→自ら「寛容」

828 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年4月19日(木) 午後3時00分

タイトル: 訂正

「自転車操業で、しかも、まったく誰からも、いかなる教会からも、いかなるクリスチャンからも支援も受けていない伝道者」と書きましたが、2000年当時、数人のクリスチャンの方々からご支援をいただいております。現在もご支援をいただいております。変わらぬご厚意と忠実なお働きに感謝にたえません。

大変失礼なことを書いてしまいました。申し訳ございませんでした。

在 主

富井 健

842 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012年4月26日(木) 午後10時29分

タイトル: 訂正

「北海道再建主義支援会」を「北海道再建主義協力会」に訂正をよろしくお願い申し上げます。

申し訳ございませんでした。

富井 健

849 投稿者: kusakabemanai

Date: 2012 年 4 月 29 日(日) 午前 10 時 32 分

タイトル: 訂正

彼は、著書 Pearl Harbor: Final Judgement (1992 年) において、

→

1944 年に米国陸軍長官ヘンリー・L・スティムソンの任命により、1941 年の真珠湾攻撃に関する調査を担当したヘンリー・C・クラウゼンは、後に米国南地区のスコティッシュ・ライト最高評議会の最高総司令官になった。彼は、著書 Pearl Harbor: Final Judgement (1992 年) において、

875 投稿者: kusakabemanai

Date: 2013 年 5 月 2 日(木) 午後 11 時 47 分

タイトル: 訂正

帽子をかぶるべきではない

→

礼拝において帽子をかぶるべきではない

176 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 9 月 9 日(金) 午後 0 時 38 分

タイトル: ついにイルミナティ失墜の時がきたのか？

世界が動きつつあります。

大変な変動が起こっている。

イルミナティが失墜するかもしれません。

=====

みなさん、こんにちは。

次はこれである。アメリカの王様、ロックフェラー族の次期総裁の呼び声の高い、ジェイ・ロックフェラーが、世界の若い世代の潮流からついにはじき飛ばされたというニュースである。

このニュースは、ベンジャミン・フルフォード氏のもので、それ以外に今の所情報がないために、真偽のほどは現状では定かではないが、フルフォード氏の言説を仮に信じたとすると、今世界のトップレベルの、言い換えれば、もっとも深い所で、主従関係の激震が走りつつあるということである。そのグループは、ジェット戦闘機も使える立場にあるものどもである。

日本はネオコン NWO/ロックフェラーのアメリカ（すなわち、デービッド・ロックフェラー王国）の従属国家である。前原はネオコン/シオニストの同調者であると見られている。なぜなら、出自の池田大作創価学会とシオニスト（狂信的ユダヤ主義者グループ）はずぶずぶの関係だというのは、周知の事実だからである。

SWCと「創価学会」の連携

一方、小沢一郎は、これまで同じアメリカでもジェイ・ロックフェラーの仲間だと見られていたのである。

このジェイ・ロックフェラーに向かって「あなたの時代は終わった。立ち去れ」と言ったという人物が出て来たというのである。

はたして、これは吉報か？ それとも、凶報か？

これから世界が良い方向へ行くのか？あるいは、さらに悪い方向へ行くのか？

いずれにせよ、判断は自分の頭でする他なはいだらうヨ。以下のものである。

今、世界で何が行われているのか？ 風雲急を告げる混沌の情勢！！

57 カ国会議 J ロックフェラー氏参加拒否される 犯罪銀行家十万人逮捕近し

Benjamin Fulford National emergency committee Aug 30, 2011

09/06/2011

Weekly Geopolitical News and Analysis20110906: Satanic cabal threatens to make San Francisco and Damascus “uninhabitable.”

先週モナコで開催された57カ国の財務代理による「ロックフェラー、ロスチャイルドに支配されない新しい金融システムの秘密会議」について（因みにこの会議にデイビッド・ロックフェラーと菅直人は参加を希望したが

断られた。)

Neil Keenan and Keith Scott について【和訳】

親愛なるベンジャミン様

(全ての個人名はその方の仕事と/あるいは生命を守るために伏せてあります)

あなたと私のことはご存じないとおもいますが、私は A と申します。金融（銀行）業界における多大な詐欺行為を終わらせようとする、あなたの長い期間に渡る努力と尽力を賞賛いたします。詐欺行為あまりにも巨大なので、近代金融（銀行）制度がそのものが詐欺だといえるほどです。

先週モナコで、X 氏は会議の出席者の前で彼自身ケースについて発表をしたのです。私はそこにいたので、いまでも高揚感が続いています。私はどの国の大臣が出席したか、どの組織が会議に参加したかはお伝えしません。本当についに、銀行や主要な仲介業者によってなされた詐欺行為が終わりに近づいていることを具体的な証拠を見ることが出来たのです。あなたがおっしゃる通り、57カ国の政府の代表が会議に参加していました。

現在、数百万の家族から財産の略奪に対する責任を取る日が近づいていることを見ることができます。彼らは、誠実なビジネスではなく、詐欺、ごまかし、窃盗を通じて、彼らの利益を拡大させ、銀行家の莫大なボーナスを増加したのです。この数々の窃盗行為を目の当たりにしながら、沈黙を強制させられてきたグローバルアカウント*の保護者の一人として、大変うれしくなり、新しい日がやってくると声と上げたいのです。

訳注：*International Treasury Control (IOTC) 関連のことだと思われる

当初、予定されていた会議の始まり、ジェイ・ロックフェラー氏は会議への出席を要求しました。彼は招待をされていませんでしたし、これは招待者のみの会議だったのです。

X 氏はロックフェラー氏に会議に来ないように告げ、二人は直面したのです。ロックフェラー氏は地面を踏みつけ、いらつきながら、「私が誰か知っているのか?」と言いました。X 氏は、「知っています。あなたは誰でもありません」と、返事をしたのです。ロックフェラー氏は怒鳴り声をあげ、怒り狂ったあとで、X 氏は「古い世界秩序は終わり、新しい世界秩序が始まろうとしている」と話したのです。その後、X 氏はロックフェラー氏に若い世代のための勇敢な新しい世界で、彼のようなミイラはチリとなって消え去れと告げました。ロックフェラーはいったんその場を離れて、彼のセキュリティとともに戻ってきて、無理やり会議に参加しようしました。X 氏は彼のセキュリティを呼び、ロックフェラー氏は文字通り放り出されたのです。私はそこにおいて、それを見ていて、何がおきたのか分かりました。

会議は延期され、海上は船上に変更されました。船は国際水域上に移動したところで、二つのヘリコプターが突然現れ、明らかに会議の妨害を意図していました。数分以内に軍用機が現れ、尾翼を数回下げました。ヘリコプターは明らかに威嚇を受けて、その場を去りました。私たちは軍用機がヘリコプターの背後から、攻撃的な態勢をとっているのを見て、その場を離れないと、打ち落とすといっているのだと理解しました。

それ以上に、その会議において、合意されたことは、あなたが長い間、言い続けてきたことを証明しているように見えます。ビルダーバーグ関係者、三百人委員会、ハザール人、CFR（外交問題評議会）など、BIS（国際

決済銀行)、IMF(国際通貨基金)、そして、おそらく世界銀行は時代遅れになります。それ以上のこととして、もしも会計監査が実施されれば、5万人以上の銀行上層部に位置するような人々が逮捕されるでしょう。私は全世界では逮捕者数は10万人近くになると信じています。一所懸命働く人々に騙して、彼らからお金を盗んできた嘘つき、泥棒銀行家連中が捕まると思うと私は自分ひとりだけで喜ぶことはできません。

X氏はブルドッグのようにたくましく、この男性は特別なものを持っています。(X氏以外に)一体だれが銀行によるまた一つの横領、つまり1335億ドルの債券の横領が行われていると考えられたのでしょうか?(X氏以外に)一体だれが世界にこの債券をありかを突き止められるのでしょうか?彼らはこの債券は本物ではないと主張し、イタリア政府は言いたい放題主張していますが、これらの債券はイタリア財務省に入金記帳され、それから、アメリカの(最近公開された、未使用金の)TARP資金と呼ばれている口座の存在しています。

X氏の背後にはよく確認されているように、主要なアドバイザーとしてB氏がいます。X氏はB氏を採用したことは賢いことです。私が知っている限りB氏ほどこれらのグローバル口座と、これらの口座と銀行の詐欺行為の関係について理解している人いません。B氏は今日最も興味深い人物です。B氏はRay C. Damとは全く別の次元の人間です。X氏とB氏は世界をよりよくする挑戦がまっています。彼らは実現するために必要な知識、技術とリソース(ball)を持っています。それ以上に彼らは非常に高潔な人たちであるということです。ハザード人たちはこの世に逃げ場所がないことがわかるでしょう。彼らがどこに行こうとも、何をしようとも彼らは捕らえられ、追跡されます。世界は目を覚ましています。世界はこれらの嘘つきの泥棒どもに対して、同じひどい復讐を望むでしょう。何よりもまず、真実が明らかにされて、この泥棒ねずみたちの隠れ場所がなくなるのです。彼らの友人や知り合いも誰一人として、手助けしないでしよう。ねずみのように彼らはお互いにのしりあい、大衆の激怒から逃げようとするでしょう。あなたは彼らがどうやって、ずるをして、盗んできたかを明らかにすること助け、多くの人たちをびっくり仰天させるでしょう。

このことがあなたにメールをした趣旨です。B氏に接触する方法を探してください。この人間の持つ金融詐欺に関する知識は膨大なものです。彼は銀行が何をしているか、そしてどうやって解決するかを知っています。銀行は単に人々だけでなく、政府債権も盗み、多くの国家を倒産させています。止めなければなりません。これが止められることができるということがわかりました。もしも

B氏について疑問があるのであれば、X氏に聞いてください。私はあなたがX氏と話していることを存じています。

上級財務担当 V より

注意:悪魔連中を転覆させようと勇気をもった多数のトップレベルの内部担当者が私(バンフルフォード)に接触を持っています。X氏とB氏はその中の二人で、私(バンフルフォード)とすでに接触しています。

※和訳ボランティア協力して下さった読者の方々、心より御礼申し上げます。

<http://quasimoto.exblog.jp/15394054/>

=====

http://www.youtube.com/watch?v=EGrAqfnx-DU&feature=player_embedded

177 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月9日(金) 午後1時10分

タイトル: 57か国会議が40億人殺害計画者たちを追い出すことに合意

http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=9RcH3XI4wnc

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月9日(金) 午後4時27分

タイトル: イルミナティ内部で対立が起きている。

http://www.youtube.com/watch?v=RHqVkJpmiyrQ&feature=player_detailpage#t=1365s

180 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月10日(土) 午後0時59分

タイトル: 今年のビルダーバーグは中止された

ベンジャミン・フルフォードの情報によると、スイスで開かれた今年のビルダーバーグは、中止された。

これは、明らかにイルミナティが弱体化し、混乱していることを示している。

われわれの祈りが聞かれているということではなくて何だろうか。

さらに、続けてイルミナティ崩壊、40億人大虐殺阻止、ロックフェラー、ブッシュら 911 自作自演事件の犯罪者たちが逮捕され、法のもとに公平に裁かれるように祈ってください。

=====

弁龍民の弁:

<http://p.tl/EXZu>

参加者が逮捕から逃避したため、ビルダーバーグによる会議は中途半端でキャンセルとなった。

ーベンジャミン・フルフォード 2011.06.20

BIS と CIA の情報: 6月9日からスイス・サンモリッツで行われていたビルダーバーグ会議は、ヘンリー・ハインツ・キッシンジャーを含む重要な参加者が逮捕されそうだったため途中でキャンセルとなった。そんなこともあって、重要メンバーである、ドイツ銀行 CEO のジョセフ・アッカーマンとオランダのベアトリクス女王の二人が白龍会に接触し、新しい金融システム構築に協力してもいい、と言ってきた。中国共産党政府を代表する交渉人も、先週白龍会代表者と中国で行った会議で新しい金融システムに対するサポートを表明した。しかし、

技術的な作業が多く残されており、これらのチェンジの日付をはっきり述べることは難しい。新しい金融システムが、音も無く徐々に、大っぴらに発表されることもなく導入される事も多いにあり得る。

CIA と BIS からの情報筋によると、サンモリッツでのビルダーバーグ会議の失敗は、ジャーナリストや民衆に対して会議をオープンにするように、とスイス政府が命令したため、としている。

更にこの情報筋によると、参加者の多くが6月13日の月曜日一テンブル騎士団がビルダーバーガーを逮捕するという報復計画一までにスイスから逃げることを決めた、ということだ。この大失態の結果、デービッド・ロックフェラー、ジョージ・ソロスと仲間のハザール・サタニスト達は、最近の歴史では見られない程に孤立している。

この失敗に続いて、イスラエル首相のベンジャミン・ネタニヤフは日本の菅直人に電話し、日本の殆どの原発はイスラエ傘下会社が制御していて金融システムをハザール人に全て渡さないなら核虐殺を起こすと脅した、と日本の軍事諜報からの情報があった。全く同じ恐喝が、ミシシッピ川沿いにある洪水中の原子力発電所にも向けられている。イスラエル人達は、ペンタゴンとロシアの両方から「核による恐喝は、お前等の専売特許じゃない。手を引かないなら覚悟しておけ」という警告を受けている。

中国での会議は、ある意味で、多くの、斬新で重要な情報が示された。まず、イタリアのチアッソで日本人二人がイタリア税関権力から違法拘留を受け、持っていた1345億ドル分のアメリカ債券を盗まれた事件。

その一人であるワタナベ・ミツヨシ（元メリル・リンチ）によると、日韓トンネルに用立てる為に大量のケネディ債を運んでいた、という。

相棒のヤマグチ・アキヒコはヤクザの親分から預かった債券を運んでいた。そのヤクザによると、債券は日本で作った蓄財だという。ディック・チェイニー前副大統領が最近になってその債券を精査し、本物判明するや、5,000億ドル分の債権を詰めた箱を2個持ち去った。ヤクザは『チェイニーが言ったように本物なら、俺もスイスで現金に換えてみてえもんだぜ。』

だが、債券はローマ法王に通ずる P2 フリーメーソン・ロッジと工作員のデービッド・セイルとダニエラ・ダル・ボスコに奪われた。

(つづく?)

http://richardkoshimizu.at.webry.info/201106/article_77.html

=====

181 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月11日(日) 午前0時37分

タイトル: 悪魔が悪魔を追い出しても無駄

世界は、神の創造であるので、サタンは支配を完成することができないのです。

陰謀は必ず失敗する。

バベルの塔は必ず倒れる。

ロックフェラーとキッシンジャーが最後の最後に失敗しそうです。

これは、ロバート・シュラーが最後の最後に失敗したのと平行しています。

これまで世界を牛耳ってきた人々が霊的な世界において倒れた。

それを倒すことができたのは、クリスチャンの祈りです。

これまで、サタニストたちは、ディスペンセーションナリズムを流行させて、クリスチャンを縛ることに成功した。

しかし、われわれがその仕組みを見破って、祈りを開始した。

じつは、クリスチャンこそ、キリストの細胞であり、われわれが祈ることはキリストが祈ることに等しい。

キリストは、神の右に座す世界の王ですから、キリストが祈れば、必ず聞かれる。

だから、「祈りによって山を動かすこともできる」といわれた。

その前に「いちじくの木」の話しが、イスラエルの象徴として出てきたので、山も象徴です。それは、ローマ。

祈りによって当時の世界帝国であったローマも動かすことができる。

われわれが祈ることによって、世界は変わる。

キッシンジャーがすでに米国を裏切って、中国のために働いているという情報もあります。

中途半端な世界を作るのではなく、完全にキリストの世界ができるように祈ってください。

白竜会なるものが何か。

キリストを否定する限り、サタンでしかない。

中国の秘密結社が世界を支配するようになるなんて悪夢以外の何者でもない。

サタンは、相続者ではありません。

「柔和なものは幸いである。地を相続するからである。」

182 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月11日(日) 午前8時56分

タイトル: ビルダーバーグに強制介入するスイス国会議員

<http://www.infowars.com/bombshell-swiss-parliamentarians-to-force-way-into-bilderberg/>を
以下翻訳します。

=====

カート・ニンモ

Infowars.com

2011年6月10日

ビルダーバーグ警備員による EU 議員への暴行について

イタリアの政治家で、北部連盟のメンバー、「市民的自由・公正・内政に関する欧州議会委員会」の委員であるマリオ・ボルゲツィオは、昨日、秘密主義のグローバリスト計画に抗議するために会合に入ろうとしたが、ビルダーバーグの警備員に殴られ、逮捕された。驚くべきことに、ボルゲツィオに対する虐待は、米国で報告されなかった。これは、ある米議会議員の殴打が報道されていないのと似ている。 Infowars.com は、この問題について詳細にお知らせする。

「ウィー・アー・チェンジ」スイス支部のドミニク・シュライバーがアレックス・ジョーンズショーに本日出演し、「多数のスイスの MPS がビルダーバーグの会員と戦争犯罪者ヘンリー・キッシンジャーらを逮捕するために動いている」と述べた。

6月6日の、ポール・ジョセフ・ワトソンの報道によると、ドミニク・ベッテヒがスイス連邦当局に対して、前米務長官を逮捕するよう要請した。

シュライバーによると、ジュラ州代表ドミニク・ベッテヒとスイス国民協議会のメンバーたちが、ジョージ・W・ブッシュ、ヘンリー・キッシンジャー、ディック・チェイニー、リチャード・パールを含む、戦争犯罪者として国際的に指名手配されている会議参加者の逮捕を要求している。

2月に、ブッシュは、グアンタナモ収容所での囚人の処遇や他の戦争犯罪の罪名により、逮捕請求が出たためスイスへの旅行をキャンセルした。

ベッテヒと州指導者たちは、ビルダーバーグ会議への参加を要求しており、1時間以内にグローバリストのグループに対決することを計画している。

Justin.tv で Alex Jones Live ビデオをご覧ください。

ルーカス・ライマンへの Infowars チームによるインタビュー。

キッシンジャーとパールは、ビルダーバーグ会議の常連である。現在セント・モーリッツにいる Infowars チームが、今週前半に、悪名高い新保守主義者パールを発見した。

スイスの政治家ルーカス・ライマンは、アレックスのショーに出演し、「スイス国民党は、国際通貨基金や世界銀行、ビルダーバーググループに反対する」と言った。ライマンは、ベッテヒや他の州指導者たちと、ビルダーバーグの門までデモ行進を計画している。

スイス国民党は、58人の国民協議会のメンバーと国会議員6人を擁する連邦議会における最大政党である。

ドミニク・ベッテヒによるスイス・ドイツ語の手紙:

手紙の写真

183 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月11日(日) 午後6時13分

タイトル: あまりにもお粗末な政治家の歴史観

「自民党の石原幹事長は10日、青森県弘前市で講演し、発生から10年を迎える米中枢同時テロについて「産業革命から続いた西欧文明、キリスト教支配に対するイスラム圏の反逆で、歴史の必然として起きた出来事ではないか」と述べた。自身の歴史観を披露したものだが、テロを「必然」と表現したことは不適切との批判が出そうだ。

テロ発生当時、行革担当相として首相官邸に駆け付けたエピソードを紹介する中で言及した。石原氏は「これから世界がどんな風になるのか。西欧文明がこれからも世界をリードしていくのか、えらい時代になったと思ったのを今でも鮮明に覚えている」と述べた。

<http://www.47news.jp/CN/201109/CN2011091001000546.html> 」

情報弱者は政治家をやってはだめ。

今のアメリカを支配しているネオコンは、クリスチャンではなく、「ユダヤ人」なの！

しかも、シオニスト。

ユダヤによる世界支配を目指しているが、絶対にユダヤがやっているとはいわない。アメリカの世界支配ともいわない。

「世界を民主化する」という大義名分を掲げている。

この表看板をそのまま信用するのは馬鹿以外の何者でもない。

「そうか！世界の人々を自由にし、民主化するためにアメリカはがんばっているのか」と納得し、イラクの子供たちを殺し、人々を劣化ウラン弾で汚染するのを助けているすべての人間は、のろわれるべき。

米国政府がやることを信用し、それに同調して、武力による侵略を手助けする人間は、その政府と同じ刑罰を受ける。

つまり、無数のイラクの子供たちの死の責任を背負う。

この石原の「キリスト教対イスラム教」の対立構造なんていう米国のシオニストユダヤ人が広めている間抜けな歴史解釈に騙されたもう一人の無学者小沢は、キリスト教を「排他的」で「武力で文化を侵略する教え」などと述べた。

今の日本の知識人は、このような誤解に自らの身をゆだね、自分を次第にカルト化し、正当に文明を評価できなくする傾向にある。

たとえば、小沢は、仏教は、広く異なる文化を受け入れる心の広い宗教であるといった。

——何万ものクリシタンを迫害し、残虐な拷問にかけた徳川幕府は、仏教だったが？

またある著名な歴史家は、多神教は寛容だが、キリスト教は不寛容だといった。

——3百万人のキリスト教徒を殺したローマは、多神教であったが？

批判の対象を間違えて、「だからキリスト教原理主義なるものが世界を侵略してだめにしている」みたいな筋違いの批判をして落ち着く人々が多い。

元来、キリスト教原理主義（ファンダメンタリズム）は、単に「聖書は無謬の神の言葉である」と主張する教派であり、「武力によって覇権を拡大せよ」なんていいません。

ファンダメンタリズムは聖書に従うから、「剣を取るものは、剣によって滅びる。剣を鞘に収めよ」とのイエスの言葉を信じる。

また、「平和を作る者は幸いである。その人は神の子と呼ばれる」との言葉を信じる。

米国宗教右派の武力覇権主義は、聖書とはまったく異なるところから入ったのである。

宗教右派の指導者（パット・ロバートソンやビリー・グラハム）は、フリーメイソンであり、フリーメイソンはルシファーを信じる。

だから、宗教右派は、キリスト教ではない。

キリスト教の仮面をつけた悪魔教である。

自分を偏った理解に陥れるのは、ほかでもない自分であり言い訳はできない。

少し調べるならば、正しい情報にめぐり合うだろう。

人が間違っただけで固執するのは、正しい情報を得る機会がなかったからではなく、間違っただけで「意図的に選びとった」からであり、それゆえ自分に責任がある。

184 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月12日(月) 午前6時57分

タイトル: 悪魔に対しては善人に対するように接してはならない

霊的な現象は、日常生活から国際政治まで随所に見られる。

たとえば、あなたの職場や近所に変な人がいないだろうか。

あなたの気に障るようなことをわざとする。

自分が気落ちしているときとか、信仰が弱くなっているときに、その人は不思議と元気づいていないだろうか。

「この人はなぜ自分の内面の状態を知っているのだろうか。」とびっくりしたことはないだろうか。

こちらが弱くなっているときとか、相手に譲歩したようなときに、その人の顔が不気味な薄笑いを浮かべたのを見たことがないだろうか。

われわれは、四六時中霊の世界において戦っている。

サタンは人間を使ってわれわれを攻撃する。

だから、信仰しかないのだ。

信仰だけがこのような攻撃を防いでくれる。

人間に対して譲歩してはならない。

相手の歓心を買おうとか、相手に取り入ろうとしてはならない。

相手は必ずあなたを利用するだろう。

日本は、周辺国の「戦争責任」という名の恫喝におびえてきた。

彼らは、われわれの弱点一人のよさーを知っている。

だから、南京大虐殺のような虚構を吹き込んだ。

日本人の外交下手は、霊的な世界を知らないところからきている。

悪魔的な人間に対しても、普通の人間と同じ対し方をしている。

悪魔的な人間には、力を示すしかない。

相手に「こいつと問題を起こすとやっかいだ」と思わせるような対策を講じるべき。

素直に金を出せば、どんどんつけこまれる。

日本の外務省は、「架空請求」に金を使って、どんどん深みにはまったナイーブな人に似ている。

悪霊に取り付かれている人間に対処するには、警察に訴えるしかない。

外交では、武力である。

謀略には謀略で返せ。

相手がこちらの弱みを握るなら、こちらも相手の弱みを握って対抗せよ。

185 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月13日(火) 午前5時13分

タイトル: 人間が努力していいのは6日だけである

聖書では人間に属する領域と神に属する領域をしっかりと分けている。

人間が努力していいのは、6日だけである。

残り1日は、神の仕事のために残しておかねばならない。

つまり、人間ができる範囲のことをするのが月曜から土曜まで。

日曜日は、神が仕事をなさる日である。これは、聖なる日である。(*)

われわれは、「人事を尽くして天命を待つ」姿勢でいるべきだ。

人間の側としてすべてを行ったら、結果は委ねるべし。

われわれの側で改革の努力をしても無駄であるならば、そこから離れるべし。

われわれが警告を発した相手が変わらなければそれは、相手の責任であって、われわれのではない。

われわれが警告を発しない場合は、われわれの責任になるが。

きちんと警告をしたにもかかわらず悔い改めない場合は、放置せよ。神が裁かれる。

神は宇宙の法を定められたので、警告を聞かないことには大きな代償が伴うだろう。

(*)

曜日に聖不聖の区別があるわけではない。イエス以降、すべての日は聖なる日であり、安息である。

万物が聖められたからである。

礼拝は日曜日に限定されるというわけではない。

すべての日が礼拝日である。

186 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月13日(火) 午前6時29分

タイトル: イルミナティが内部分裂しつつある

板垣英憲氏によると、ロスチャイルド（欧州）とロックフェラー（北米）の間の確執が今やだれの目にも明らかとなって来たという。

=====

◆フリーメーソン・イルミナティ情報(ニューヨーク発)によると、イルミナティ内部の対立抗争が激化している。

それは、

①A = 世界政府派とB = 世界新秩序派の対立

②C = 長老世代とD = 若手世代の対立「世代間戦争」

という2つの様相を示しているという。

①A = 世界政府派とB = 世界新秩序派の対立抗争は、

A = ジェイコブ・ロスチャイルド

と、

B = ディビッド・ロックフェラー（ロックフェラー3世代5男 = 末子、本家を僭称）、ジェイ・D・ロックフェラー（ロックフェラー4世（嫡流 = 当主）

との確執、戦いである。

②C = 長老世代とD = 若手世代の対立「世代間戦争」は、

C = 長老世代 = イルミナティをを牛じってきたディビッド・ロックフェラー（96歳）やジェイ・デビッドソン・ロックフェラー4世（74歳）と

D = 若手世代 = ナサニエル・フィリップ・ヴィクター・ジェイムス・ロスチャイルド（1971年生まれ、上に姉3人の末っ子、愛称・ナット = 東京・帝国ホテルに居住・事務所）

（7番がそう）

らの若い世代との対立である。ジェイコブ・ロスチャイルド4代目男爵（74歳）であり、長老世代に位置していながら、若い世代の養成に力をいる。

<http://quasimoto.exblog.jp/15421801/>

=====

イルミナティが分裂して、対立抗争に発展することを期待する。

内部で互いに消しあって一つの勢力として機能しなくなることを祈る。

ロックフェラー一族が、世界の政治経済文化に対して影響力を行使できなくなることを祈る。

神の国を邪魔するすべての悪魔的勢力が失墜することを祈る。

188 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月13日(火) 午後1時50分

タイトル: クリス・バズビーは原発事故放射能はタバコよりも460倍安全と言った！（再送）

(ゴミ文字が入っていたので再送)

バズビーは、ロックフェラーの走狗です。証拠？ シーシェパードの母体である「みどりの政治」運動とかかわっているから。「47万人が被爆するので、北日本には人は住めない。退避しろ！」って気違いでしょう。北日本の人口の6%ががんになるからってなぜ全員が退避しなければならないの？

「全体では0.13%の発ガン率上昇だから大変だ！」 喫煙による発ガン率上昇は60%。この人の説明では、福島原発事故は、喫煙よりも460倍も安全ということになる。なのに、「北日本から全員退避せよ！」 おかしくないですか？

189 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月13日(火) 午後3時23分

タイトル: 原発事故由来癌という0.3%の罹患率の病気でなぜ日本中が騒ぐ？

クリス・バズビーは、内部被爆は1000倍危険だという。そういわれると大変危険な感じがする。しかし、福島原発事故でがん患者が0.13%増えるといわれればどうだろうか。運動不足で20%増加ですよ。運動不足よりも害が少ないものがどうして「危険」なんですか？

「放射線は危険だ」は、現代の神話ですね。「円高で日本産業壊滅」と同じ。神話だらけ。どうしてこんなに神話が増えているの？もちろん、操作でしょ。洗脳でしょ。日本を破壊する人々の。「いや、TV報道に騙されるな。放射線は非常に危険だ。」というほうがどうも正しく見えてしまうが。

もちろん、47万人に被害が出るわけだから、危険には違いない。でも、疎開せよとか、「北日本は居住できない」とかのレベルではない。われわれは、放射線に関しては、経験がなく、そのため幽霊を恐れるような状態になっている。だから、データが大切なのだ。データでどれだけの危険度か。

データとして、「北日本を空っぽにせよ」というクリス・バズビーは、癌発生上昇率0.13%という数字を出した。日本人の0.13%の人に影響がでるようなことで、今世間は大騒ぎしているわけだ。おかしくないか？最高でも47万人。0.3%。0.3%の人に影響がでることでどうして北半分放棄？

問題に対処する場合に、全体から細部を見、細部から全体を見るという繰り返しが必要だが、放射線被害を強調する人々は、細部にだけこだわらせる。「放射線によってこういう症状が起きる」と例を示されれば「怖いな」と思うだろう。しかし、それは、何%の人に影響するかを見ないと。

どんなに恐ろしい病気でも、それが全体の0.3%しかかからないとすれば、奇病として無視するだろう。原発由来の癌は、0.3%しかかからないのだ。どうして無視できない？

190 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月13日(火) 午後4時11分

タイトル: 自国通貨の価値が上がる円高は長期的には好ましい

<http://diamond.jp/articles/-/14001>

よくぞ言ってくれました！

191 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月13日(火) 午後5時29分

タイトル: ミレニアムの読者は破局に巻き込まれませんように

アメリカは、ナチスの政府にのっとられた。

<http://lewrockwell.com/barnett/barnett37.1.html>

家庭菜園すら自由に造れない。

人々の自由が急速に制限されている。

悪魔がものすごいスピードでアメリカを支配している。

場合によっては、この動きは、日本にもやってくるだろう。

先日の反原発デモで逮捕者続出したことは前兆だろう。

ベンジャミン・フルフォードがいうとおり、世界の人々がイルミナティの支配を覆すために活動しているならば、それにわずかでも期待があるかもしれない。

しかし、悪魔が悪魔を倒すことはできないので、最後にはクリスチャンが活躍しなければならない。

だが、残念なことに、クリスチャンが200年かけて悪魔によって飼いならされたため、機能しなくなってしまった。

このような悪魔的な動きについて、クリスチャンは何を考えているだろうか。

「ああ、預言の成就だ。これはあらかじめ予定されているので、回避できない。もしこのコースが実現されないならば、再臨もない」と。

ハル・リンゼイやティム・ラヘイらグローバリストたちが、さかんにクリスチャンに吹き込んできた教えの呪縛

は強烈である。

アメリカのクリスチャンはこのことについて祈らない。

諦めている。いや、むしろ期待している。

自分が逮捕され、処刑される段に気づいても遅い。

私が話した範囲で言えば、もう説得は不可能。

彼らは固い。

「これから反キリストによる世界支配は避けられない」と。

祈れば避けることができるのだ。

祈りによってサタンの支配を覆すことは可能なのだ。

しかし、彼らはそれが聖書預言だと信じているから、祈らない。

ということで、もはや誰もアメリカのナチス化を止められない。

私は、これだけ何度もいろんな場で説得を試みてきたのだから、もはや言うことがなくなった。

説得されることを拒んだ日本のクリスチャンが、ナチス政権によって投獄され、処刑されても、自分に責任はない。

頑固者は、頑固者として滅ぶ。

ただ、まじめに警告に従った人々まで害が及ぶとなると黙ってられない。

「神よ。どうか、守ってください。」と祈らざるをえない。

警告にしたがって、悪から自分を遠ざけた人々、悪魔の働きの阻止のために祈り、神の国のために犠牲を払ってこられたミレニアム通信の読者の皆様については、どうか世界を襲う破局に巻き込まれないことを祈りたい。

192 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月15日(木) 午前0時38分

タイトル: 日本という国はイスラエルなのである

神武天皇は朝鮮人だとかいう謬説がはびこっているが、朝鮮の神話において、日本にやってきた東扶余の王解夫婁は、扶余族の王であって、朝鮮人ではない。

扶余族は、スキタイの一部族である。

松本清張らによれば、応神一族は、朝鮮半島南部から渡来してきた扶余族であり、扶余族は製鉄技術を持っていたスキタイ人の末裔だという。

次のブログは私とまったく考えが同じである。

<http://takahasisinji.jugem.jp/?eid=89>

ちなみに、私が発表したころには、ほとんどまったく扶余と天皇家との関係を扱うブログはなかったが、今はかなり増えた。

藤原氏と扶余の関係についても触れるブログが現れている。

おそらく、神がはっきりと日本人のルーツを教えておられるのであろう。そういう時代になったのだ！

スキタイ族は鉄文化を持っており、ヒッタイトとのつながりがあるとされている。

「スキタイ族もヒッタイト人の末裔である。」

<http://8906.teacup.com/toraijin/bbs/582>

ヒッタイトは、B.C.1650・B.C.1200 に王国を築き、聖書では「ヘテ人」と呼ばれている。

エサウはヘテ人の妻をめぐったので、イスラエルの中にヒッタイトの血はかなり流れているだろう。

ヒッタイトは製鉄技術と製銅技術も持つ優れた技術民族であり、イスラエル人は彼らからそれらの技術を学んだだろう。

これらヒッタイトの技術と血が、イスラエルに入り、そして、それがスキタイに伝わったとなると、スキタイ人にイスラエルの要素が多分にあったと想像できる。

まとめると、

ヒッタイト→イスラエル→スキタイ→扶余→天皇

という流れになる。

これで、古墳の形が「マナの壺」（仁徳天皇陵）や「祭壇」（各地の方墳）になっているのもうなづける。

古墳時代から、日本には馬の文化が顕著に現れる。

つまり、天皇家とは、鉄の道具を操るスキタイ系騎馬民族の出身であり、それゆえ、その伝統の中にユダヤ性が濃厚に含まれているのではないか。

日本という国は、イスラエルなのである。

天照大神は、イエス・キリスト。

だから、日本は、イエス・キリストの国。

このように結論して間違いではないだろう。

193 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月15日(木) 午前9時13分

タイトル: 道はどんどん狭くなっていく

信仰的成長とは、自分の道がどんどん狭くなっていくことである。

聖別とは、時間や経験とともに自分と霊が異なることが明らかになった人々との別離を意味する。

相手が、霊的にあまりにも違い、しかも、接触することによって自分が著しく墮落したり、束縛されたり、不利益をこうむる場合、それは、本質的に霊が異なる人種であり、同じ空気をすうのも、すれ違うのも避けなければならない人々だ。

イサクとリベカは、エサウのカナン人の嫁に悩まされる。

カナン人は、偶像礼拝をする民族で、イスラエルとまったく霊が違う。

今の天皇皇后両陛下も、雅子さんで苦しんでいる。

皇太子は、霊が異なる人と結婚してしまった。

創価学会（そして、おそらくコリアン）という皇室とは無縁の人と。

そして、さらに悪いことに、皇太子が彼女の側についている。

このままなら、皇太子は、天皇になるべきではない。

おそらく、ここまで結果が出ている以上は、このまま時間が経過しても、さらに状況は悪化するだけだろう。

麦と毒麦は最後は、はっきりと分かれる。

それは、再度交わることはない。

はっきりと分かれるようになり、正体が明らかになったということは、別の道をとるべしとの神のメッセージだろう。

これは、信仰の自然の形態であり、けっして恥ずべきことではない。

信仰の歩みとは、このような別離を通じて、自分の道が浄化されていくこと。

道はどんどん狭くなっていく。

そして、その道を引き返すことはできない。

194 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月15日(木) 午後11時19分

タイトル: 聖書の世界観以外に社会を正常に保てない

世界観には3つの要素がある。

1. 存在論。
2. 認識論。
3. 倫理。

これらは互いに有機的に関連しあっている。だから、存在論における変化は、他の2つの要素に影響を与える。

聖書の存在論は、「世界は三位一体の神の創造による」である。聖書の認識論は「神の啓示である聖書は知識の土台、最高権威である」である。そして、聖書の倫理は「聖書に記された神の法が倫理の土台である」である。

聖書の世界観は、このように一貫している。神が世界を創造されたという存在論を基本として認識論と倫理が導き出される。

しかし、ヒューマニズムの世界観は、一貫していない。「世界は神による創造ではなく、進化による」という存在論を持つ。「知識は人間の経験から帰納法的に得られる」という認識論である。そして、「人間が決定したものが倫理である」という倫理観を持つ。

1.

「世界は人間が創造したものではない」という存在論を持つならば、「人間は知識を得ることができ」という

認識論はあきらめなければならない。

なぜならば、知識は経験的だけではなく、超自然的なものでもあるからだ。

帰納法的認識論の欠陥は、「経験した部分しか知ることができない」というところにある。もちろん、科学において、A点とB点とC点のデータが得られた場合、その3つを関数で結ぶことは可能であるが、しかし、厳密に知識を経験に基づかせる認識論では、このような因果関係を見つける行為は違法である。A点とB点とC点のデータはA点とB点とC点のデータ以外の何者でもない。

その3つを線で結んで関数化する行為にお墨付きを与えるのは、人間同士の「約束」でしかない。

その約束に基づいて得られた法則は、たとえ10000回の試行でその正しさが確認されたとしても、1億回目かどうかはわからない。あくまでも法則とは、人間の約束事でしかない。だから、人間の知識は常に反証を許すべきであるということになる。

だから、知識はどこまでいっても暫定的であり、絶対確実な知識は存在しないということになる。

2.

世界が人間によって成立したのではないので、倫理を人間が決定できるとすることにはいかなる合理性もない。「殺人してはならない」「偽証してはならない」など基本的な倫理すらも、相対的であり、社会や環境が変われば、変化する。

裁判所の決定で死刑判決を受けた殺人犯は、たまたま「殺人が罪と定義された社会」に生まれた不運な人に過ぎないということになる。

こうなると、社会は、確信を持って死刑を実行できなくなる。人々の精神は非常に不安定で、安心を得られない。

結論として、われわれは、聖書以外に首尾一貫した世界観を持つことはできない。ヒューマニズムを信じることによって、確信を奪われ、常に人の評価や決定に怯える人間が増え、不健康な社会になる。

すべてを選択・すべての選択を解除

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月16日(金) 午前8時16分

タイトル: 食料配給制にしようとしているグローバリスト

黙示録の成就: グローバリストたちは、番号がない限り、物を売ることも買うこともできない社会にしようとしている。

=====

以下の記事をチェック。

日本もいずれ米国のような食糧配給国家になるか？

<http://www.iza.ne.jp/news/newsarticle/world/america/526330/>

米政府の「フードスタンプ」と呼ばれる低所得者向け食料品購入補助制度は、2008年の金融危機以降、受給者が急増。年間費用が680億ドル（約5兆4400億円）に膨らみ、財政赤字削減との絡みもあって、制度の見直しを求める声が出始めた。「フードスタンプ」の受給者は4600万人で、人口の15%に相当する。きょうのテーマは「食料配給国家」とした。

この制度は農務省の事業で、費用は連邦政府が負担する。名称は、2008年に補助的栄養支援プログラム（SNAP=Supplemental Nutrition Assistance Program）に改められたが、いまま「フードスタンプ」で通っている。かつてはクーポン券が配給されたが、現在はカードを交付。スーパーや食料品店のレジでデビットカードと同じように使うことができる。

■不景気で受給者急増

「フードスタンプ」の受給は、4人家族だと、世帯の月の総所得が2389ドル（約19万1000円）を超えないことが条件。給付額は所得によって異なるが、4人家族だと最大668ドル（約5万3000円）になる。1人当たり1日5.5ドル（約440円）だ。受給者は08年暮れごろから急増した。受給者数4600万は金融危機前の07年と比べると70%増。昨年の年間費用680億ドルは、当時の2倍に相当する。

ロサンゼルス近郊のスーパーでパートをするジェンナ・ソーセドさん（32）の時給は9.7ドル（約770円）。週26時間働くが、彼女と息子（12）が暮らしていくのに十分でなく、「フードスタンプ」を受給している。ソーセドさんは「働いているのに政府の援助を受けるのは悲しいこと。正規社員になりたい」と話した。

■低賃金の埋め合わせに？

ロイター通信は、「フードスタンプ」受給者の典型として、ソーセドさんのケースを紹介し、その上で、この制度の問題点の一つとして、雇用者に代わって低賃金の埋め合わせをしている側面を指摘した。現状では、ソーセドさんのようなシングルマザーのパート社員の多くは受給資格者となる。彼女らへの援助は必要だが、雇用者側が「フードスタンプ」を当て込んで、賃金を不当に低く抑えたり、正社員への道を閉ざしたりすることがあってはならないのだ。

「フードスタンプ」はこのほかにもさまざまな問題を抱えている。所得を偽っての不正受給をはじめ、食料品以外の売買を行うなどの詐欺行為も目立つ。また、制度自体を知らない人も少なくなく、生活困窮で本来は有資格の3分の1が「フードスタンプ」を受給していないという。米政府は何が何でも財政再建に取り組まなければならない状況。議会共和党は、必要に応じて際限なく出費が膨らむ現行制度は見直すべしとの声を強めている。

■おなかをすかせた子供たち

さて、食料品購入などで農務省が行っている補助は「フードスタンプ」だけではない。学校給食への補助、妊婦や5歳までの子供がいる家庭を対象とした「WIC」と呼ばれる食料品支給もある。にもかかわらず、米国で

は1700万人の子供が食料不足 (f o o d i n s e c u r i t y) の状態にあるというのだから驚く。4人に1人がおなかをすかせているというのだ。

米国には州や民間に「フードバンク」と呼ばれる組織があり、貧困の人たちに食事を配るNPOなどに必要な食料を届けている。1700万人の食料不足は、フードバンクの中でも最大の「フィーディング・アメリカ」が食品会社の支援を得て実施した調査の結果として指摘した。

1700万人のうち400万人の家庭は「フードスタンプ」受給などの条件を満たせず、補助を受けられない。補助からもれた人たちは「フードバンク」を頼るしかない。「肥満との戦い」を進める米国が同時に「食料配給国家」であり、それでも救えない人がいるとはなんとも皮肉なことだ。

(編集委員 内島嗣雅 (うちはた・つぐまさ) / S A N K E I E X P R E S S)

<http://ayarin.iza.ne.jp/blog/entry/2436865/>

=====

196 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月16日(金) 午前8時58分

タイトル: 味噌とくそは分けよう

以下の船井幸雄氏と太田龍氏の解説は、ある程度正しい。しかし、キリスト教とイルミナティを混同するという致命的な間違いを犯している。

=====

ザビエルが1549年に日本に来て以来、一貫してユダヤ・イルミナティの日本に対する戦争は継続していると考えています。フランシスコ・ザビエルというのはイエズス会の創立メンバーの一人で、イグナティウス・デ・ロヨラ(1491~1556)につぐナンバー・ツーです。ザビエルとロヨラが二人で相談して、ヨーロッパとアフリカと新大陸はロヨラが、インド以东アジアはザビエルが布教するというふうに協定したのです。

日本人はザビエルという人物の正体というか重要性にまったく気づいていません。ザビエルはインドからマラッカ経由で日本に来ました。ザビエルの役割は単なるキリスト教の伝道師ということだけではありません。彼はイルミナティの世界支配の将校、斥候というか將軍くらいの役割を持って日本に来たのです。

日本に4年足らずいて、たちまち信者をつくっていったのですが、そんなことが目的ではなく、日本の値踏みをするとか、日本を徹底的に調べ尽して、どのように処分するかという戦略を立てて、彼らの根拠地を日本につくることにありました。ザビエルは1年半かそこらでイエズス会の本部に報告書を出しています。

「日本はヨーロッパと対等か、もしかするとはるかに優れた水準の文明をつくっている。しかもまったく付け込む隙のないような強力な軍隊を持っている、民族として団結している」と報告しています。

だから彼らにとって、日本は危険な存在だと見抜いていたのです。そこで、日本人全部をキリスト教に改宗させ、精神的な彼らの奴隷にするか、それができなければ殺すしかないという選択に迫られたわけです。日本を最終的に奴隷にするか、キリスト教徒にするには、南米とかアフリカでは部族を全部征服して、部族ごとキリスト教に

改宗させることを強要し、集団洗脳しました。日本人は読書する能力もあり、そういうことはできなかったのです。

そこで、文章による教育、不況が必要だと認識しました。そのため、宣教師は日本語を勉強してポルトガル語辞典をつくったりし、早い時期からさまざまな日本語を翻訳したりしています。このような文章による布教により、日本人の精神を洗脳するという戦略を行使したわけです。

中国に対しては、日本よりはるかに大きな世界最大の国家ですから、これをどのように処分するかについて、ザビエルは中国にしばらく滞在して方針を立てて、報告書をローマ本部に送っています。

そのとき以降、彼らの日本に対する方針は一貫しています。つまり、精神的に日本を日本人でないようにするための方針、アジアに対しては武力による侵略を行使するという方針を立てます。最終的に、米軍が日本を占領して原爆を投下して、恐怖に陥れるわけです。アメリカや西洋の文化を押し付け、日本の歴史を否定し、頭脳を変えてしまいました。

いまでもこの方針はつづいています。精神的に心理的に、習慣・風俗・食べ物などすべてにわたって日本的なものを全部変えてしまうわけです。そして抵抗するものは排除します。そういうふうにして一貫した日本に対する工作がおこなわれているということを、日本人は知らなければならないと思うのです。

(日本人が知らない人類支配者の正体 船井幸雄 太田龍 より)

=====

イルミナティは、キリスト教ではない。イルミナティは、「イルミネーション（啓蒙）の光」であるルシファーを崇拝する。つまり、悪魔教である。

イグナチウス・デ・ロヨラは、アランブラドス（スペイン語で「イルミナティ」）というグノーシス秘密結社出身であり、イエズス会は、イルミナティの組織である。

ローマ・カトリックは、次第にローマ法王という偶像を崇拝する宗教に変わったが、イエズス会が支配するようになってから完全にサタン教に変わった。

キリスト教とローマ・カトリックは対立する宗教であり、それは今日まで続いている。

イエズス会の目標は、キリストの御国を造ることではなく、ローマ法王の御国を造ることであり、全世界をローマ法王の支配下に置くことである。

日本人がイエズス会を追い出したのは、キリスト教の迫害ではなく、「ローマ法王教というカルトの締め出し」である。

プロテスタントとローマ・カトリックの区別の知識、とくに、カルヴァン主義とのそれに関する知識なし文明を論じると、こういう混同が起きる。

味噌とくそは分けよう

197 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月17日(土) 午前6時41分

タイトル: 神は自らを助ける人を助ける

イエス・キリストを信じた人々は、契約の中に入る。

契約とは神の国のことである。

つまり、帰化人になることだ。

奴隷の国、死の国、サタンの国の国民だったが、帰化して、神の国の国民になった。

神の国は、単なる個人の集合ではない。それは、有機体である。

聖書では、「キリストのからだ」と表現されている。

だから、われわれは、みな互いに細胞である。

キリストは、十字架の後に復活された。

キリストは、死に勝利された。

だから、神の国とは「いのちの国」である。

神の国=キリストのからだ=復活体=永遠の命の体=いのちの国

われわれは、永遠の命の細胞である。

われわれは、永遠に滅びない。

われわれは、死なない。

われわれは、キリストにあって死に勝利した。

われわれは、あらゆる敵に勝利した。

だから、

われわれは、あらゆる敵に勝利する。

だから、

われわれが祈るときに、あらゆる敵を敗北させることができる。

神の国に逆らう存在は、絶対的に敗北する。

それゆえ、われわれにとって絶望の言葉はふさわしくない。

「もうだめだ」とか「絶望だ」とか「神に見捨てられた」とか「滅びる」とか「火の池」とか「地獄」とかは、絶対に口にしてはならない。

敵については、適用してもいい。しかし、自分に適用してはならない。

われわれが、神の国の中にいる限りにおいて、われわれに適用すべき言葉はひたすら「いのち」「勝利」「繁栄」「祝福」である。

われわれは、永遠の体の細胞であり、死に勝利されたキリストの一部である。

ならば、どうして、敗北することがあるのだろうか。滅びることがあるのだろうか。

すべて「死に属する言葉」「敗北に属する言葉」「絶望に属する言葉」を口にする者は、穢れる。

モーセの民の中で「もうだめだ」「われわれは滅びる」と述べた人々は、裁かれた。

諦めた人々は、滅んだ。

契約の民は、死体に触れることすら禁止されていた。

死を連想させる「土」（「土に還る」＝「死」）を這うものは、穢れた動物であった。

（キリストが世界を神と和解され、聖化されてから土は死の象徴ではない。）

契約の民は、命と勝利の民であり、それゆえ、われわれからすべての「否定的な言葉」や「絶望の考え」「虚無的思想」「無政府思想」「自殺的思考」「敗北的思考」を追い出さねばならない。

これがボトムラインである。

契約の民としての一線である。

これを超えるならば、神からの裁きが来る。

神は、絶望する人をお助けにならない。

神は、自らを助ける人を助ける。

198 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月17日(土) 午後9時34分

タイトル: 日本人は一世代でどの分野でも世界のトップになる能力がある

日本人は、一世代で世界一に上り詰める。

明治維新から40年もたたないうちにロシア軍を破るほどの軍事力をつけ、世界の一等国に上り詰めた。

日本サッカー協会は、18年で女子が世界一。

男子も香川や清武などすごい才能が現れつつある。10年以内で十分に世界一を狙えると思う。

イルミナティは、日本人の潜在能力を知っているから、徹底して武装解除したのだ。

もし弱小民族ならば、原爆など落とさない。諸都市を徹底して破壊しつくし、戦争放棄の憲法を作らせ、腑抜けを作る平和教育をほどこしたのは、再起不能にするためだった。

実際、われわれの周りには、その傷が深くみられる。

このままだと日本は立ち直れない。

しかし、日本人は、一世代で世界の一流に躍り出る能力がある。

だから、子供に「統治者」教育を施すべきだ。

GHQの教育は、経済に特化したものだった。軍事や政治に関しては、考えさせないようにした。

我々は、子孫に「軍事と政治」に関して一流の教育を施すべきだ。

そして、自国を自分で守り、統治できる人間を育成せよ。

そのためには、まずわれわれが世界の構造を知り、戦後どのように思想操作され、騙されてきたかを自覚すべきだ。

キリスト教とオウムなどカルトを混同するような幼稚な教育ではなく、きちんと思想史も概観できるような健全な教育を施して、自立した人間を育成せよ。

そうすれば、一世代のうちに、売国奴を国内から追放し、独立国日本を回復し、世界のリーダーになれるだろう。

199 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午前10時37分

タイトル: 信仰の人は人間の力に頼らない

基本的に人間の罪とは、「自分の王国を作ること」である。

この基本的な罪を捨てない限りは、まともな人間にはなれないし、まともな人生は送れない。

牧師になることは、神の国を作るためである。

それなのに、多くの牧師は自分の王国を作りたがる。

自分の教会の教勢、牧師給、キリスト教界での影響力、名誉、地位・・・。

こんなくだらないもののために一生を無駄にしている。

彼らの努力はすべて本末転倒であるから、最後にのろわれて終わる。

サタンは、人生の中ごろではおとなしくしている。自分の姿を見せない。サタンが現れるのは人生の末期においてである。

そして「今までよくも騙されてきたねえ」と笑う。

人生の中では、何度かおいしそうなケーキが出てくる。それを食べたらおしまいである。

政治家ならば、中国や韓国が仕掛けるハニートラップ、マネートラップにひっかかったら終わりである。

一生をそれをネタにゆすられる。

売国奴に成り下がる。

われわれは、そのケーキがどこから来たのかを調べなければならない。

ひも付きかどうか。

同じ神学校出身者の間でどれだけ大きな教会を作ったか、どれだけ大きな会堂を建てたか、どれだけ有名になったか。

こういうものに振り回される人生は「おろか」である。

学生時代、純粋に真理を求め、意見を戦わせた仲間が、社会人になり、ある教派の中にプロとして入った瞬間に別の理屈に支配されるようになる。

その教団や教派のシステムは、聖書と無関係である。

純粋に人間の利害によって動いている。

だから、内部はやくざ組織となんら変わらない。

トップは、新米を自分の影響力の中に入るようにいろんな手を使う。

自分の軍門に下った人々については、結婚や就職などいろんな便宜をはかる。

ただし、そこから出るようなそぶりを見せると、猛烈な攻撃を開始する。

「君、ここを出て、いったいどこに行くつもりかね？」とおどかす。

神に頼る訓練をつんでいない人は、あっさりと降参する。

「先生のご指導をこれからも仰いでいきたいと思っています」などといって。

ここで、この人は、神の目から見て、ほとんど役に立たない人間になった。

学生時代、あれだけ真理を求めていた人々が牧師になると次々と無能に変られていく。

このような邪悪な支配の構造のトップに座っているのはもちろんサタンである。

サタンは、手下を使って、「クリスチャンを自分に対して抵抗しないシステムの中に閉じ込める」ために活動している。

だから、この「師弟関係」の中に閉じ込められた牧師たちは、絶対に「クリスチャンによって世界は変わる」とは教えない。

なぜならば、サタンがそういう教えを禁止しているからだ。

政治や軍事、経済など、自立してものを考える人々を作らないようにものすごい努力をしている。

だから、今の牧師に政治の話をするとうれわれはそのような話には興味がないから出て行ってくれ！」とものすごい剣幕で怒鳴りつける。

全部、イルミナティが支配しているのである。

この世界は、たとえ教会とはいえどもルシファーの支配下にある。

このような教会に献金して奉仕しても自分の人生を無駄にするだけである。

われわれの使命は、教派にではなく、キリストに忠誠を尽くすことである。

われわれの使命は、教派の成長ではなく、神の国の成長のために働くことである。

私は、このことを福音派の教会において主張しはじめてから、ほぼすべての友人と職場とお金を失った。

キリスト教界でどこに行っても「前科者」扱いされる。

「〇〇先生がそんなことするわけがないでしょう。あなたがおかしなことをしたに違いない」と決め付けられる。

その立派な〇〇先生は、私が出版をしようとする、そのキリスト教出版社に電話をかけて、「tomiは私たちのところを出た人で・・・」と「警告」を発する。

だから、その出版社は恐れをなして、私の記事を取り扱わなくなる。

かくして、私は、こういった人間を恐れる「業界」にとどまる責任を感じない。

そんなのどうでもいい。

エリヤは、誰に頼ったか。

数百人の偽預言者に頼ったか。

いや、一人で戦った。

イゼベルに脅迫されたときには、恐れて逃げた。

彼を助けたのは誰か。

金持ちか。

違う。

極貧の子持ちのやもめである。

瓶の中にわずかな穀物粉しか残っていない。

神はそのような人間的な目で見れば頼れないような人のところに彼を使わされた。

一流企業は一流企業としか付き合わない。

強者は強者と手を組む。

これが、世のならわしである。

イルミナティはこのようにして強固な支配体制を築いてきた。

しかし、神はこのような体制を破壊される。

誰によって？

エリヤと極貧の未亡人によって。

「人間が勝った」と言わせないために。

「エリヤが勝ったのは、彼の力による」と言わせないために。

神はすべての人を謙遜にさせるために、わざと力の弱い者を選ばれる。

あなたが強者に頼っているならば、まだまだだ。

信仰の人は、人間の力に頼らない。

200 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午前11時31分

タイトル: 自然のタイミングに頼るべし

私は、誰をも自分の計画や仕事の中に巻き込みたくない。

「巻き込む」とは、「自分の意思に反して活動させる」という意味である。

つまり、私は、誰をも「その意思に反して、活動し向ける」ようなことをしたくない。

新興宗教の教祖や、現代の教会の牧師の多くは、「巻き込もう」としている。

自分の利益のために信徒を利用し、金を巻き上げたり、無料労働を強制しようとしている。

このようなメンタリティは、サタンである。

サタンは、自分の利益のことしか頭にない。

人間は、利用して最後にポイ捨てすればいいと考えている。

サタンに憑依された人々の特徴は、「利用」である。

人を利用する。

多くのおろかな人々が、教祖や指導者のそのような邪悪な意思を見抜けないために、自分の財産や時間を奪い取られている。

本当の運動とは、自分を成長させてくれるものである。

「その運動によって、自分がプラスの方向に向かっているかどうか」チェックすべきである。

私は、自分の活動に参加する人々は、自発的であってほしいと思っている。

なぜならば、神がそのようなお方だからだ。

神は、われわれの利益のためにひとり子すらも差し出された。

ご自身を犠牲にされた。

神の希望は、世の教祖や偽預言者とは異なり、「われわれが成長・繁栄し、祝福されること」である。

だから、神がわれわれを召される方法は、あくまでも自然であり、自発的である。

無理に引き込むことはなさない。

無理にすると、必ずいろんな障害が生じる。

神が作られたシステムを見れば明らかだ。

雛は、卵の殻の中で成長する。出てくるタイミングは、実に絶妙である。

自分から出ようとするが、同時に母鳥が少し突っかなければならない。

まだ成長していないのに、外から殻を破っても死ぬだけである。

すべてに時があり、タイミングがある。

自然の秩序にしたがって、すべてを扱う必要がある。

神は、思想的に熟成していないのに、何かの活動に引き込むようなことは絶対になさらない。

私も同じである。

201 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午後0時57分

タイトル: 下品で不気味な反原発デモ

反原発デモらしいが、下品で不気味で見られない。

<http://www.youtube.com/watch?v=t-TYkdAouJQ&feature=related>

<http://www.youtube.com/watch?v=O8KEYQ5qbsM&feature=related>

何らかの悪霊が騒いでいる。

恣意的なものを強く感じる。

これは、背後に誰か仕掛け人がいるはず。

おそらく左翼だろう。反日の丸だそうだ。

警察によると 25000 人だというが、主催者は 6 万人と発表。

この誇張、沖縄の反基地集会と似ている。

左翼が反原発運動を利用して何かをしようとしているのだろう。

普通の市民運動を利用しようとする人々の計略にはまってはならないと思う。

202 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午後2時26分

タイトル: 反原発運動の裏側

<http://blog-imgs-36.fc2.com/t/a/c/tachiagare962/panflash00045313.jpg>

203 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午後3時10分

タイトル: 両親の教育権への国家の侵害

両親は、子供に関して教育権がある。

この教育権は、神によって授与されたものであり、それゆえ神聖かつ不可侵である。

両親は、子供を御言葉によって指導することができ、また、そうする義務を負っている。

両親は、聖書の教えにしたがった運動に子供を加える権利と義務がある。

両親は、子供を訓練し、御言葉にしたがった生活習慣や言動、学力を身に着けるべく彼らを強制できる。

そのようにしないと、教育権が与えられた意味がない。

だから、他人と両親では、立場が違う。

他人の場合、ある人々を自分の立場に引き込むには、勧誘しかない。

つまり、インターネット、ビラ、本、講演会、口コミなどを通じて、人々を勧誘するしかない。

強制することはできない。

しかし、両親は子供に対して、聖書に関して真理を教え、習得させ、強制する権利と義務がある。

「虐待防止」運動は、両親のこのような不可侵の権利に対する違反になりえる。

両親がしつけや訓練のせいで、通報されて、逮捕されることがある。

両親と他人の間に、子供に関して権利と義務を平等化することはできない。

平等化すると、キリスト教文化は死ぬ。

継承と相続が不可能になるからだ。

サタンは、これを狙っている。

米国は、虐待防止の美名のもとにおける国家の家庭への介入を通じて、キリスト教的訓練、しつけができなくなってしまった。

こうして子供たちが信仰を継承せず、悪魔の弟子になってきた。

今こそ、われわれは立ち上がって、両親の教育権を回復する必要がある。

204 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午後5時04分

タイトル: 恐怖! 「人権侵害救済法案で私は消される。」 by 故中川大臣

恐怖! 「人権侵害救済法案で私は消される。」

http://www.youtube.com/watch?v=rFFMpi2R6hw&feature=player_embedded

【引用開始】

要旨の書き起し

一番守るべき人権を侵害したのであれば、重大な犯罪であるにもかかわらず、なぜか刑事というものをすり抜けて法律を作ろうとしているところが、不可解であり、胡散臭さを感じざるを得ないところだ。

法務省の人権擁護局に、本当に重大な侵害であるならば、なぜ警察や刑事といった分野を入れないのか問いたしたが、答えはしどろもどろ。

あえて刑事局や警察を入れさせたくないという何らかの意図があるに違いないと確信する。

多くの国民から激励やお叱りのメールを受け取るが、この法案に関しては、反対だというメールを毎日数十通受け取るが、賛成してくれという意見はただの一件もない。

「この法律ができれば、中川昭一はじめ多くの国会議員は3日や1週間で政治生命を終わらせてやる」と言っている人がいるようなので、それと併せ考えると、どうせいなくなるから今のうち好きにやらせておくと、あえて反対意見を出さないのではないかと疑いさえする。

それほど不気味に、不可解に、この法案の審議が私たちに見えない所で今もなお進められている可能性がある。

日本の歴史上恥ずべきことの一つとして、国家に逆らう者は特高警察が取り締まった「治安維持法」があった。人権の名のもとに好き勝手に人権委員に特高警察のような権限を与える、まさに「平成の治安維持法」が成立せんとすることを断固阻止することが、国民や子供たちに対する我々の責任だということをお誓い申し上げます。

【引用終了】

205 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月20日(火) 午後11時23分

タイトル: 神道における贖罪のシステムとキリスト教のそのの比較

神道において、罪は、天津罪と国津罪に分かれる。

(1)

天津罪とは、畔放・溝埋・樋放・頻蒔・串刺・生剥・逆剥・屎戸の罪(*)で、まとめると、耕作妨害罪・稲田横領罪・神聖な所汚す罪、或いは殺人罪を意味する。これが、天に対する罪である理由:「人間の命も生命の根源である食物も、元を正せば何れも祖神から賜ったものです。人間だからといって、これを勝手に殺し、奪い、汚すことは出来ない。その殺生与奪はただ祖神の意思で、その命ずるままに従う以外にありません。生死の根本は天つ祖神から与えられたものですから、これを犯す罪が天津罪と呼ばれる」(『神道のいろは』)という。

<http://omoikane.or.jp/frame-new.html>

水田耕作を妨害すること、殺人罪は、神が与えた命の根源を侵す行為であるから、神との関係で罪とみなされる。

(2)

国津罪とは、生膚断・死膚断・白人・胡久美・己が母犯せる罪・己が子犯せる罪・母と子と犯せる罪・子と母と犯せる罪・畜(けもの)犯せる罪・昆虫(はうむし)の災・高津神の災・高津鳥の災・畜仆(けものたう)し・蠱物為(まじおのせ)る罪である(**)。

これは、「この地上人間界の不倫の姿、血を見るような姿、混乱の姿、人間としてしてはならない事をする罪」であり、人間との関係での罪とみなされる。

(3)

さて、この2種類の罪は、十戒の前半の5戒が神に対する罪で、後半の5戒が人間に対する罪であるのと似ている。モーセの律法も、対神関係の戒めと対人関係の戒めの2種類に大きく分類できる。

さらに、興味深いのは、これらの罪に対する解決法である。

神道では、「この「罪」に対する代償として贖い物を差し出すという「祓い」が義務つけられている(同上)。

お祓いとは、実は、贖いなのである。

これは、まさにモーセ律法の「犠牲の小羊」と似ている。モーセ律法において、罪に対する解決は、犠牲の小羊をささげて罪を贖うことによって達成される。この犠牲の小羊は、キリストによる十字架の贖いによって成就された。

興味深いのは、お祓いは、神主が榊を振ることによって実現するが、モーセ律法では、贖いは、ヒソプの枝を左右に振ることによって成就する。

「ヒソプをもって私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう。」(詩編 51・7)

なぜ贖いが成就するかというと、ヒソプの枝は出エジプトの過ぎ越しの時に、イスラエル人の家の鴨居と門の柱とに、小羊の血をその枝に付けて塗ったことから、贖罪の枝と呼ぶことができるからである。

(4)

神社本庁調査部の解釈によれば、神道のシステムにおいて、天照大神が岩戸に隠れた理由は、スサノオの罪を贖うためである。

「(天照大神の) この神隠れは、国津神スサノオノミコトの罪を、天照大神が徹頭徹尾自らあがなわれ、身を隠されたことを意味する。天照大神はスサノオノミコトの罪を責められず、その改悛(かいしゅん)を最後まで期待されるとともに、常に「むつまじき心もちて相許したもう」という大きな自愛と包容力とをもって、その罪を許し、あがなわれたと書紀に見えている。

この神隠れした大神の再出現を祈るのが、天の岩戸の祭りであって、その祈りの果てに、天照大神は再び復活され、世にいう天岩戸開きとなる。それ以後、天照大神は永遠に生き神として、輝かしい御光を私共の上に投げかけておられるのである。

天照大神は又スサノオノミコトの罪をあがなうために、一度は神隠れされるが、再び復活されて、人々に「温かい手をさしのべられ、人々の罪を許す神」として今に至って、私共の上に輝きわたられているというのが、民族古典の示すところである。」(「大祓詞の解釈と信仰」神社本庁調査部長 岡田米夫著神社新報社発行昭和37年7月1日初版発行平成13年2月1日22版発行)

贖罪のために神が「お隠れになる(つまり、死ぬ)」というシステムは、まったく聖書におけるキリストの贖罪のそれと同じである。

(5)

このように、神道における「罪と贖罪(祓い)、そして、それを成就する天照大神」のシステムは、「モーセ律法と贖罪(動物犠牲)、そして、それを成就するキリスト」のそれときわめて類似している。

神道の基本に、聖書があったと類推することは荒唐無稽な試みとは言えまい。

(*)

「畔放(あはなち)とは、田圃の畔(あぜ)を取りこわすのですから、稲田の水は外へ流れ出てしまって、耕作を困らせる事になります。溝埋これは、畔と畔との間の溝を埋めるのですから、田圃に水が入らなくなるので耕作を困らせます。樋放(ひはなち)は、桶を掛けて、山の谷から田に水を引いて来るのを取り放つのですから、耕作を不能ならしめます。以上は何れも稲田と水との関係について妨害する事で、いわゆる耕作妨害罪です。次に頻蒔(しきまき)とは、一度稲種を蒔いた他人の田圃の上に、再び種を蒔く事を言い、串刺とは、他人の田圃の境界に、境界を示す竹を立てることで、共に他人の耕作田を横領する事でありまして、田圃横領罪を言うのです。

これらがなぜ天津罪になるかといえば、稲は人の生きて行く命の根源なのです。コメとは小芽、イネは生根、ヨネは世根だといえます。米により生かされて行く生命の根を絶つ。生きて行く根、即ちこの生命は神から頂いたものです。稲は青人草（人間の事）の食いて行くべきものなりとして、祖神（親神）より頂いたものなのです。それが採れなくなることは、生命の根を絶つ所から、天津罪になるのです。

また生剥（いきはぎ）、逆剥（さかはぎ）とは、これまたスサノオノミコトが天の斑駒（むらごま）の膚をさいて天の機織（はたおり）屋の棟をうかがって投げ入れた。その結果、織姫を殺すことになったとあるように、動物を殺し、また人を殺す罪をいいます。尿戸（くそへ）は、天照大御神は新嘗きこしめされる御祭の御殿に、スサノオノミコトが尿をまきちらした罪で、神聖な所を汚す罪だといえます。」（『神道のいろは』）

<http://omoikane.or.jp/frame-new.html>

(**)

「生膚断（いきはだち）・死膚断（しにはだち）は人間の生きている皮膚及び死者の皮膚を断つこと。白人は、血族結婚等で白子が産まれること。胡久美（こくみ）は、コブ等の出来ること。己が母犯せる罪・己が子犯せる罪・母と子と犯せる罪・子と母と犯せる罪等は、何れも家族生活をする上から見て、人間として犯してはいけない罪をいいます。畜犯せる罪は、人間が畜を犯すというような畜生のような行為をすること。昆虫の災は蛇や百足など地上を這う動物によって害を受ける事。高津神の災は雷などによって、人畜に与える被害。高津鳥の災は鷹や鷲等に人畜をさらわれるような被害。畜仆しは、ケモノを呪い殺す事。蠱物為る罪とは、おまじないをして、正しいものを混乱させる罪をいいます。」（『神道のいろは』）

<http://omoikane.or.jp/frame-new.html>

206 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月21日(水) 午前11時32分

タイトル: 日本攻略の黒幕はユダヤであろう

中国人や韓国人の背後にユダヤ人がいると考える理由の一つは、その思考方法の類似である。

ユダヤ人クリスチャンが書いた本を訳したことがある。その題名は「私たちの手は血で汚れている」である。

つまり、歴史におけるユダヤ人迫害で、クリスチャンの手は血で汚れている、という内容である。

徹底した被害者意識。いつまでも、迫害されたことを忘れない粘着質。

いつまでも日本を責め続ける中国人や韓国人と似ている。

そして、被害者としての自分を強調する傍らで、その社会の奥深くまで浸透し、それを土台から転覆しようとする狡猾さ。

これも、似ている。

つまり、西洋社会におけるユダヤ人は、日本における中韓人である。

欧米では、反ユダヤ主義防止協会を起こらせたら大変なことになる。

「人種差別主義者」というレッテルを貼られて、公職から追放されることもある。

ユダヤ人は、このような反ユダヤ主義に対する攻撃を通じて、その社会に風穴をあけて、そこから自らの支配力を注入する。

これも中韓人の手口である。

被差別人の政権である民主党を通じて、中韓人の支配が強くなっているが、本当はその背後にいるユダヤの支配が強くなっているのかもしれない。

中国の対日工作は、シオン議定書とそっくりである。

やはり、日本攻略の黒幕はユダヤであろう。

207 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月22日(木) 午前8時36分

タイトル: 宗教を馬鹿にすることは絶対にできない

現代人は、宗教を馬鹿にする傾向があるが、それは間違いである。

科学の限界は、科学自身に内在している。

科学は、データがすべてとっていい。

データを集めて、そこから規則性を導き出す。

データなしに何かを言うことはできない。

宗教ではないから。

宗教は、まずドグマ（教え）がある。

そして、そのドグマを各分野に適用していく。

たとえば、神は世界を創造された、というドグマがある。

「だから、われわれは、神の御心にしたがって世界を統治しなければならない」という適用がなされる。

これは、演繹的認識の方法であって、科学の方法ではない。

科学はこのように知識を得てはならない。

科学において、「〇〇教授はこうっておられる。だから、これは絶対に正しい」というような方法は間違い。

「〇〇教授はこうっておられる。だから、彼の意見を参考にしてみよう」は正しい。

ある人の意見は、参考にはできるが、絶対化はできない。

必ず、実際のデータを取って、それで法則性を導き出し、それに異なる数値を当てはめて実際の観察値と比較し、検証する。

科学の方法とは、このように帰納法的でなければならない。

しかし、様々な側面を持つ人間生活は、帰納法的方法では間に合わない。

たとえば、会社の面接で個性を判断するには、それでは間に合わない。

A 君と B 君の個性を比較する場合に、A 君と B 君の皮膚のサンプルを採取して、それを分析して化学的組成を調べてもそれだけの知識である。

いくら行動パターンのデータを集めて、それから性格を分析してもそれだけの知識である。

その人の仕事や社会生活に関する能力を調べるには、総合的理解がどうしても必要である。

つまり、化学的組成に関する知識、性格に関する知識などを総合して結論を出すしかない。

しかし、この「総合」は、直感に基づく。

直感的認識は、科学の論証的認識とは異なるので、総合は、科学ではない。

人間は、帰納法的認識方法だけでは、生活を営むことはできないので、科学だけでは足りない。

だから、「僕は宗教は信じない。科学だけを信用する」ということはできない。

科学だけを信用するならば、人を会社に採用したり、結婚相手を見つけることもできない。

人間は、科学的知識を利用しつつ、自分の世界観で生きている。

宗教も世界観である。

世界観は、存在論、認識論、倫理から構成される。

われわれは、「なぜ物事は存在するのか。どうやって知識を得るか。何が正しくて何が悪か。」ということに関して意見を持っている。

その、それぞれの世界観に基づいて、様々な知識を総合し、判断しながら生活している。

その意味で、宗教家ではない人間は、一人もいない。

科学だけでやっていける人間は、一人もいない。

真理というものを、円形のチーズにたとえると、科学的認識論だけに頼る人は、無数の穴を開けるが、全体を食べられない人に似ている。

経験に基づく知識は、互いに関連性のない個別の知識にとどまる。

円形のチーズをすべて食べるには、個々の科学的知識を道具として用いながら、世界観によって総合を行う必要がある。

このように、帰納法的認識論と演繹的認識論を組み合わせることで知識ははじめて得られるのであるから、われわれは宗教を馬鹿にすることは絶対にできない。

208 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月22日(木) 午前8時57分

タイトル: スペイン語の「聖書律法綱要」

スペイン語の「聖書律法綱要」(または「聖書法の原理」)ができた。

<http://chalcedon.edu/store/Biblical+Law/the-institutes-of-biblical-law-vol-1-la-institucion-de-la-ley-biblica-to-mo-1/>

これで、ロシア語、スペイン語ができた。

ますます、日本人は世界のクリスチャンから差をつけられる。

209 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月22日(木) 午後4時01分

タイトル: 「海外移転=空洞化」と考えるのは誤りだ

以下転載：

=====

東洋経済オンライン 9月22日(木)10時37分配信

日本ではほとんど毎日のように、どこかの企業が生産の海外移転を発表している。その結果、「将来日本には、空洞化した製造業と破綻に瀕した中小規模のサプライヤーしか残らないのではないか」という懸念が高まっている。

日本において、外国への直接投資を先導しているのは、国内の不利な条件を回避する必要に迫られたトップ企業である。

たとえばトヨタ自動車は、自動車の80%を海外で販売しているが、生産は国内と国外が半々なので、海外需要の4割は日本からの輸出で賄っていることになる。同社の豊田章男社長は、今の円高水準では「理屈上は(国内での)ものづくりは成り立たない」と述べている。これから数年は、現地生産がますます増え、輸出は減るだろう。トヨタは300万台の国内生産は維持しようとするだろうが、2008年の400万台からは減少するはずだ。

海外移転が進む要因は、円高だけではない。東日本大震災をきっかけに、多くの企業が、電力供給と電気料金を不安視するようになった。日本の優良企業の取引先の多くが、「ジャスト・イン・タイム」よりも「ジャスト・イン・ケース」(万が一の場合)を重視するようになったのだ。ルネサスエレクトロニクス、HOYA、三井金属などの企業に対し、取引先は、生産の一部を日本以外の国に移転させることで地理的なリスクを分散させるべきだ、と主張してきた。

また日本の輸出企業の一部は、日本と異なり、米国、EU、中国と自由貿易協定(FTA)を締結している国々へと生産を移転しなければならない、と考えている。ジェトロの調査によると、ASEAN(東南アジア諸国連合)諸国を起点に輸出している日本企業のうちの40%は、「FTAの利点を生かすこと」を、ASEANを起点とする理由の一つに挙げている。

生産の一部を海外生産に移行している製造業者を見た場合、海外生産比率は、1990年の17%から97年には31%へと上昇している。その後は30~33%あたりで推移してきたが、今後この比率は大幅に上昇するだろう。

■海外への投資は国内にも好影響

しかし、米国の例を見ればわかるように、生産の海外移転は必ずしも空洞化を招くわけではない。逆に、前向きなグローバル化が国内の経済成長を後押しする可能性もある。企業の海外での成長と国内での成長との間にプラスの相乗作用を生み出すこともできるのだ。

たとえば米国では、異論はあるものの、海外直接投資が国内投資、研究開発、雇用にプラスの影響を与えたことが証明されている。企業は、国内からの輸出だけに頼っていた場合よりも、海外市場でのシェアを拡大できたからだ。

また、海外直接投資は、コストの低下と競争力アップにも貢献する。米経済研究所が米国のメーカー数百社を対象に行った 05 年の調査では、80 年代から 90 年代にかけて、「海外への資本投資が 10%増えると国内投資が 2.2%増え、海外の従業員に支払う給料が 10%増えると国内の従業員に支払う給料が 4.0%増え、海外への投資が増えると国内からの輸出と研究開発費が増えた」ことが明らかになっている。

今日まで、日本の海外直接投資は自動車、機械、電機など一部の産業におけるトップ企業か、繊維やアパレルなどの斜陽産業に限られている。HSBC の試算によると、日本からの海外直接投資の累積額は、09 年時点で名目 GDP の約 15%にすぎない。この率は、米国の 29%、英国の 78%、ドイツの 40%と比べて極めて低い。

加えて、欧米諸国では外国への直接投資と外国から受け入れる直接投資とがバランスを保っているのに対し、日本では、外国からの直接投資が非常に少ない。その理由の一つは、日産自動車のようなケースを除けば、外国企業による日本企業の買収が極めて難しいという点にある。

ただし、今日の海外直接投資の増加は、単なる「空洞化」以上の効果をもたらす可能性を示している。これまで国内市場に依存してきた企業の売り上げが拡大する傾向が見えてきたのだ。

資生堂を見てみると、海外での売り上げが占める比率は、10 年前の 10%から現在は 40%へと急上昇しており、13 年の目標を 50%に設定している。マッキンゼーが発行した『Re-imagining Japan』(邦訳『日本の未来について話そう』)の中で、資生堂の前田新造会長は、日本企業は多様性に乏しく、現在の思考パターンを変える努力は、会社のトップから始めるべきだと訴えている。事実、資生堂は、経験豊富な外国人、カーステン・フィッシャー氏を国際事業担当の役員として迎えた。

外国や外国人とのかかわりがもたらすものには、アイデアも含まれる。P&G では、イノベーションの 50%以上は外国人との協働から生まれているという。資生堂は、10 年に 17 億ドルをかけて化粧品大手のベアエッセンシャルを買収し、世界 4 位の化粧品会社となった。資生堂に限らず、多くの企業がこのように遅まきながらも変貌を遂げつつある。

Richard Katz

The Oriental Economist Report 編集長。ニューヨーク・タイムズ、フィナンシャル・タイムズ等にも寄稿する知日派ジャーナリスト。経済学修士(ニューヨーク大学)。当コラムへのご意見は英語で rbkatz@o...まで。

http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20110922-00000000-toyo-bus_all

=====

投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 9 月 22 日(木) 午後 5 時 06 分

タイトル: イラク侵略の目的は「イスラエルを守るため」と米政府高官が述べる

イラク侵略の目的は、「イスラエルを守るため」であったと米国政府高官が述べる。

(エマド・ミケイ)

2004年3月31日

ホワイトハウスの最高位の諜報機関のメンバーによると、「ワシントン—サダム・フセイン政権のイラクは、合衆国にとって脅威であったのではなく、イスラエルにとって脅威だった。それこそが、米国がこのアラブの国を侵略した理由である。」

インタープレス・サービスが、現在 911 委員会（2001 年 9 月の合衆国へのテロ攻撃を調査するために立ち上げた委員会）の執行理事を務めるフィリップ・ゼリコウの発言を公表した。この発言の中で、ゼリコウは、約 1 年前の侵略の主要な動機は、中東における米国の同盟国であるイスラエルにとって脅威を取り除くことにあったと述べた。

http://www.atimes.com/atimes/Front_Page/FC31Aa01.html

211 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011 年 9 月 22 日(木) 午後 6 時 40 分

タイトル: 反原発デモに日当が出ていた

反原発デモに日当が出ていた。明らかに左翼の工作。

「一昨日、友人から「タダで東京行かないか？」と誘いを受けた。怪しい（笑）。聞いてみると、19日に東京で脱原発デモがあるそうだ。職場では希望者が集まらず、動員ノルマが達成できないとか。つまり、友人の会社社員を装って、デモに参加しろと言うわけだ。

東京の明治公園で集会、後に代々木公園までデモ行進、自由時間無し、丸一日拘束、何が楽しくて貴重な祝日を潰さねばならないのか。no-risu は男らしく、きっぱりと断った。すると友人は言った。

「日当出るよ、しかも結構な金額」

・・・no-risu は男らしく快諾した（笑）。

というわけで行ってきました、「太陽と風、大地、自然の恵みをエネルギーに！『さようなら原発 1000 万人アクション』」。

明治公園に着くと、そこには人、人、人。入り口付近では様々な団体がビラを配っており、大学新入生のサークル勧誘並みにチラシが集まった。チラシは全部もらったが、とくに興味を引くビラは無し。革マル派の香ばしいビラが面白かった程度。」

<http://no-risu.iza.ne.jp/blog/entry/2447923/>

212 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月22日(木) 午後7時38分

タイトル: サタンの策略から福音と日本を守るために戦おう

先日、同志として戦うご家族のところで家庭集会をもたせていただいた。

尊い支援を受けているご家族である。

我々は、まだ小さい群れであるが、しかし、今後日本が再建され、世界が再建されるうえで、貴重な橋頭堡である。

悪霊との戦いに気づいた人々は、どうかわれわれの戦いに参加してほしい。

韓国は、現在、対馬を取ろうと様々な策を弄している。

吉本の大株主は、フジテレビであり、どうりで吉本の芸人ばかりが出るわけだ。そして、韓流をアピールする。

日本にいる韓国人、朝鮮人、中国人について、われわれは、人種差別をするべきではないが、しかし、実質、敵対人種である。

国家を侵略するために活動しているのは様々な情報から明らかである。

すべての韓国人がそうしているわけではないが、韓国は国家としてやっている。

その点は留意しつつも、警戒を解くべきではない。

「へびのように聴く」あれとイエスは言われた。

生まれ変わっていない人間は、エデンの園においてサタンの陰謀にはまってから、サタンの策略の奴隷であり、サタンの計画にしたがって行動する。

だから、われわれは、国家秩序を破壊する人間に対して、警戒をし、その策謀を破壊するために戦うべきである。

原発問題については、放射線に関して過剰な恐怖をあおる情報があふれている。

冷静に対処すべきだ。

癌発生率 0.13%という軽微な危険性を理由に北日本を空っぽにせよと説く敵を排撃せよ。

われわれは、団結して、サタンの策略から福音を守り、日本を守るために戦おう。

213 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月22日(木) 午後8時14分

タイトル: サタンの策略から福音と日本を守るために戦おう 2

この千葉において本ミニストリを支援して下さるご家族に加えて、静岡に支援して下さる兄弟がいらっしゃるが、この兄弟 I 氏の教会は、正式に母教会と分かれることとなった。

この教会は、I 兄弟のお父様が牧師をなさっており、I 兄弟が本 HP を通じてポスト・ミレになってから、お父様もポスト・ミレになられた。

したがって、日本においてポスト・ミレの立場をとる数少ない教会として貴重な存在である。

分離は、ポスト・ミレを巡るものである。

この母教会が属する教派は、伝統的にプレ・ミレであり、私もそこで洗礼を受けた。

私の家族は、昔からディスペンセーションナリストであり、プレ・ミレを信じてきた。

聖書では、立場が異なる場合には、平和を得るために分離できるとある。

プレ・ミレでは、教会は死滅する。実際、死滅しつつある。

なぜならば、敵（イルミナティ）が植えつけた教えだからだ。

プレ・ミレは、自殺のシステムであり、それを信じた教会は、自分を緩慢に自殺に追いやっている。

今後自殺を回避し、発展を望むならば、ポスト・ミレに切り替えることをお勧めする。

三百人委員会が「推奨」するダービーの教え（つまり、ディスペンセーションナリズムのプレ・ミレ）を捨てない限り、サタンの支配から脱出することは不可能である。

214 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月22日(木) 午後10時10分

タイトル: フジテレビのボロボロ国旗を強制排除

チャンネル桜が、フジテレビのボロボロ国旗を強制排除。

http://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=xMFCLT5csEI#t=3332s

これだけの反対をも無視するフジテレビに天罰が下るように祈ります。

215 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月23日(金) 午後8時12分

タイトル: 在日デンマーク人が発する、日本への警告

無節操な移民やポルノ、表現の自由を認めた結果、デンマークは、デンマークではなくなってしまった。日本は、このような愚を繰り返してはならない。

このような国境の消滅を画策しているのは、グローバリストたちである。世界政府を作るために、世界をめちゃくちゃにしている人々である。

これは、単なる政治の問題ではない。霊的な問題である。

日本を守ることは、秩序を守ること。

そして、正義の支配を守ることである。

われわれは、自分のすべてをかけて戦わねばならない。

以下、引用する。

=====

2010/06/21

在日デンマーク人の方からのメールを紹介します。

サヨクに理想の国と称えられたデンマークですが、その国のかたちは生来のデンマーク人が望んだものとはかけ離れてしまったようです。

同じ道を進みつつある日本への警告として、皆さん是非お読みください。

デンマーク人のキム・ペーダセン (Kim Pedersen) と申します。

現在日本在住で累計 16 年日本に住んでいます。子供の頃は福井県の小学校と中学校に通いました。様々な職を経て現在日本ではデンマークからの農業製品の輸入に携わる仕事をしています。また自営業で日本の労働環境の改善を進めるための努力もしております。

さて、今回メールさせて頂きましたのは外国人参政権反対運動に興味があるためです。決して運動に反対している訳ではなく逆に何らかの形で協力出来ないものかと考えているからです。

その背景の理由となるものは沢山ありこのメール一本では説明できませんが、僕の趣旨としては日本を日本として守るためにどうすべきかを考えたいという事があります。

外国の例から考えると外国人に参政権や政治に携わる権利をどんどん与えてしまうといずれはその国が訳の分からない日本でもない、アメリカでも無い、中国でもヨーロッパでも無いものになって行ってしまいます。

下手するといずれは外国人が日本人より多くなり中でも人数の多い民族が仕切ってしまう、日本人はB級の市民にされてしまうという事が考えられます。

当然このような事は 10 年や 20 年では起こりにくいのですが…もっと長い年月を経て起きるものです。

しかし我々日本人（と外国人である僕が書くのも可笑しいですが）は将来の子供や孫、その子供たちの環境を考えるべきではないでしょうか。

僕はデンマーク人です。デンマークの例から挙げますと、1970 年代に労働者不足になっていたため（今の日本です、高齢者が増えて労働者が足りない）、トルコからの労働者をどんどん受け入れました。

当時のデンマークの政治家は無責任で一度受け入れた労働者には家族や親せきを呼ぶ権利まで与えました。当時デンマークでは生活支援法というのが出来たばかりで失業しても失業手当を貰う権利が国民に与えられました。福祉が充実して海外から見れば天国みたいな国でした。今も日本の多くの方が「天国みたいなデンマーク」に行っては福祉の勉強をしています。

この「天国みたいな国」に行けば老後も問題ないと考えた外国人がどんどん入ってきました。特に労働者として呼ばれた方々の親戚や親が入ってきてデンマークは国として負担が増えて行きました。

80 年代になると今度はイランやイラクの難民をどんどん受け入れました。難民は自分の国の戦争や政治的な問題から逃れてデンマークに逃げてきました。

やさしいデンマークの国民はこういう人たちを助けてあげなければと考えると難民もどんどん受け入れました。

80年代は特に問題化はしていませんでしたが当時外国人が多い為デンマークの将来が危ないと考えて外国人反対の党を作り上げた人がいました。彼は人種差別者としてデンマーク中のメディアで批判されました。

彼が主張していたのは単にデンマークをデンマークとして守るためには受け入れていた外国人の数が多すぎるという事でした。

まあ、実際に彼はその内かなりの人種差別者になったかも知れませんが、決して主張していた事が無茶苦茶ではありませんでした。

しかし、メディアからしてみれば人種差別者であり叩くのにはもってこいの人物だったのでしょう。

90年代になり外国人の数がどんどん増えて外国人問題が多発するようになりました。これは外国人労働者を受け入れるようになってたったの二十年後の話です。たった二十年ですよ！

外国人は数が増えたため自分達だけで生活が成り立つようになり、デンマーク語をいつまでたっても覚えな人が増えました。

暴力は増え、デンマーク人と外国人との対立が増え、右翼が強くなって行きました。郷に入れば郷に従えという事を主張する人が増えて行きましたが、そういう人たちは人種差別者というラベルを付けられ結果として職を失ったり、「差別」を受けたりするようになりました。

何しろデンマークは世界の先進国であり難民を受け入れる「天国のような国」でしたから。誰もが安心して暮らせる国だったので。

外国人に反対する人たちは結果を恐れて発言が出来ない社会になってしまいました。デンマークは言論の自由が最も実行されている国だったはずが、外国人反対に関しては公に言えない国になってしまったのです。

その結果、問題があるにも関わらずその問題を取り上げる事がなく 90年代は過ぎてしまい外国人問題は拡大する一方。

一時期イスラム系の人達がコペンハーゲンの小学校、中学校の給食から豚肉を外してほしいと主張し始めました。デンマークは豚肉の輸出で成り立っているような国です。デンマーク人にとって豚肉は大事な存在です。

日本でいえばお米。日本の学校給食からお米を外してくださいと外国人が要求しているようなもの。自分達の給食から外せば良いのに学校全体と要求。

積みも積もった外国人問題は最終的には世界で知られている風刺画問題に発展。デンマークがデンマークである最も重要な基本である言論の自由がデンマーク国内で外国人により侵されたのです。

民主主義を守るか、それとも民主主義に妥協し宗教を尊重する事を重要視するかにまで問題が発展。

世論は真っ二つに分かれ言論の自由をサポートする人と宗教を尊重すべきとする人に分かれて下手すると第三

次世界大戦がはじまるのではとまで懸念されました。

そろそろ5年程前の問題になりますが、未だに収まったのか収まっていないのか分からない状態です。いつこの問題が復活するか分からない状態です。

現在デンマークには外国人が60何万人いると言われていています。国民が550万人の国では一割を超えています。

しかし、この数字は果たして正しいのかと議論されています。実際には150万人いると主張する人もいます。

どの数字が正しいかは別としてデンマーク人は減り、外国人が増えている事に変わりはありません。つまりいずれは外国人が5割を超えてデンマーク人が少数派になる事もほぼ間違いないでしょう。

ちなみにこの問題はデンマークだけではなく殆どのヨーロッパの国に言える事です。

デンマーク人が少数派になった場合、今までのデンマークは消えてしまいます。

ポルノの自由が真っ先に行われたのはデンマーク、ホモの人間が世界で最初に結婚を認められたのはデンマーク、政治的な情報開示を最も徹底的に行ってきたのはデンマークであり、EUにもそれを要求して来た。環境の先進国であり、福祉の先進国。弱い者を支えてノーマリゼーションを訴えて来た国です。オンブスマンという言葉はデンマーク語でありデンマークが生んだ制度。

しかし、このデンマークがもはやデンマークでは無くなりつつあります。しかもたった40年でこう成ってしまったのです。

僕は日本で育ちました。日本が好きです。しかしだからと言って日本の全てが素晴らしいとは思っていません。労働環境は何とかすべきだと思うし、政治の問題も多すぎる。

しかし、日本には素晴らしい歴史があり日本人という素晴らしい性格の民族が居ます。この日本を日本として守るためにはどうすべきかと考えます。

100年後も日本は日本人の特徴を維持した日本人として生存する権利を守れる国にしたいです。

その為には残念ながら外国人の参政権に反対すべきだと考えます。

外国人は政治に参加したければいろいろと方法はあります。日本人との接点を増やし自分の考えを述べる事自体も政治に参加している事になります。日本人がその意見を聞き、意見が良いものであると考えれば日本人を通して日本の政治に影響を与える事になります。

個人的には現在労働環境の通信簿というサイトを立ち上げております。このサイトは日本の労働環境を何とか改善したいという気持ちから作りました。別に参政権がなくても日本に影響を与えられると信じています。

また重要なポイントですが、僕が日本の労働環境を変えるという訳ではありません。日本人が日本の労働環境を

変えられる仕組みを作ったのです。僕は僕なりに日本の労働環境はこうあるべきだという意見を持っています。しかしそれを日本人に押し付けるつもりはありません。

しかし自分が働いた日本企業の労働環境はデンマークと比較してあまりにも過酷です。また、日本人の同僚と話をしても同じ事を言います。

しかし、誰も日本の労働環境を変える事は出来ず我慢の連続です。中には過酷な労働環境のあまり鬱になったという人も少なくありません。これはどう考えても労働環境を変えるべきだと思わざるを得ません。

そこで考えたのが労働環境の通信簿を立ち上げる事です。日本人自らが自分の労働環境を評価していく事により日本を変えて行く。

就職活動を行っている方は労働環境の通信簿にアクセスし労働環境の良いところを選んで就職活動をする。つまり労働環境の良いところは就職活動する人が集中し労働環境の悪いところはなかなか良い人材がつかめない。日本の労働環境は変わって行くと考えます。

労働環境の通信簿はまだ立ち上げ中でおそらく 4 - 5 年は掛ると思われます。皆さんからのサポートがあればもっと早く立ちあがると思いますので是非宜しくお願いします。特に労働環境の投票をお願いします。ホームページは www.roukan.jp です。

このように僕は参政権を持っていませんが、日本に取って日本人にとって、良い変化をもたらす事は出来ると思います。参政権は特に必要ないです。

長くなりましたが、言いたかった事は外国人参政権は良く良く考えなければいけない事、海外ではその失敗例が多くある事、そして日本の政治に参加したい外国人がいれば特に参政権では無くても良い影響を与える事が出来る事。

そして何よりも日本を日本として守る事に関して僕は出来る限りの協力をしていきたい事。

宜しくお願いいたします。

キム・ペーダセン

メール info@mx2.jp

www.mx2.jp 貿易コンサルティング

www.kappabashi.biz 日本陶器の販売

www.roukan.jp 労働環境の通信簿

<http://mamorenihon.wordpress.com/2010/07/30/%E5%9C%A8%E6%97%A5%E3%83%87%E3%83%B3%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%82%AF%E4%BA%BA%E3%81%8C%E7%99%BA%E3%81%99%E3%82%8B%E3>

%80%81%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%B8%E3%81%AE%E8%AD%A6%E5%91%8A/

=====

216 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月23日(金) 午後8時45分

タイトル: 木のよしあしはその実によって知られる

「同様に、良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。良い木が悪い実をならせることはできないし、また、悪い木が良い実をならせることもできません。良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木のよしあしはその実によって知られるからです。」(マタイ7・17-19、12:33)

木は、外見では見分けがつきにくい。

どの木も同じに見えてしまう。

それと同じように、人間を見分けるのも難しい。

善人と悪人を見分けることは至難の業である。

昨今、教会の指導者の不祥事が続いている。

私の昔通っていた教会で教えていた韓国の牧師が、先日わいせつ罪で逮捕された。

木を見分けるには、実を見ることである。

実がよければ、木もよしとすべき。

だから、人間を見分けるには、その人がどのような実を結んでいるかを見るべきである。

その人のグループ、仲間、弟子、子供、親戚がどういう人か。

その人の行動はどうか。約束を破る人か。お金に清潔か。女性問題がないか。

教会だけではなく、どの学校においても適用すべき原則は、「行動に問題がある人間を教師としてはならない」ということである。

仕事の場合、納期の遅れや、約束の質と違う品物を納品するとかした場合、もしくは、支払いが遅れたり、支払いをしなかったりした場合、その相手は、それ以上の付き合いをしてはならない。

もちろん、程度の問題はあるが、しかし、信用を失うようなことをする人間と付き合いと損害を被るのは自分である。

これと同じことが、教師について言える。

あなたが教えを受けている教師、自分の子供を預けている学校の先生が、行動や発言において問題があるならば、その先生から離れるべきである。

牧師であれ、英語の先生であれ、必ず影響を受ける。

約束を破っても、謝罪をきちんとする人なら信頼できる。二度とそういうことをしないと誠実に対応するならば、付き合いができる。

しかし、約束と違うことを平気で述べて謝罪しない、支払いをしない、嘘を言う、騙す、中傷する、こういった人であることが分かったならば、すぐに手を切るべきである。

残念ながら、牧師と言われる人で、仕事を依頼して納品の段階で値引きを要求する人がいた。

これだけでアウトである。

付き合いに値しないし、その教えも信じてはならない。

クリスチャンで、お金を借りて、何度催促してもけっして返さない人がいた。

たかだか2万円である。なぜ払えない？自分には持ち家があるのに。

こういう人は、付き合いに値しない。

実質信仰があるといっても、そんなのは信仰ではない。

行動に表れているものが、その内容を示している。

実を見て、木を知れ。

ディスペンセーションナリズムなる嘘を平気で説教壇から伝えることができる人間を信じてはならない。

聖書から議論して、きちんと説明できないような教えを伝える牧師を信用してはならない。

「原発事故によって40万人の癌患者が増えるので、北日本から全員退避すべきだ」と説くような活動家を信用するな。

騙すような人間と付き合いな。

これらは、悪い木である。

悪い木の運命は何か。

「良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。」

まず「切り倒される」。

アメリカにおいて、嘘で固めた教えを唱えた牧師が、最後の最後になって、自分が作った教会を首になり、追い出された。

嘘の教えを流布するという最悪の罪を犯すような人間は、切り倒される。

偽預言者はみな倒れる。

そして、「火に投げ込まれ」る。

火は裁きの象徴である。

嘘つきは、裁きの苦しみを受ける。

悪い実を結ぶ人間は、牧師であれ、信徒であれ、ノンクリスチャンであれ、活動家であれ、すべて火に投げ込まれ、永遠の刑罰にあう。

神の裁きを逃れることのできる人は一人もいない。

神は侮られるお方ではない。

217 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月24日(土) 午前1時47分

タイトル: TV 業界も日教組に支配されたようなもの

<http://www.youtube.com/watch?v=bHzwiuU4rqI>

松本 :

「TV が視聴者に受けようとして逆に視聴者に捨てられている。」

「お笑いとは、差別。差別はダメと言われたら、お笑いはできない。」

そのとおりだ。

自由・博愛・平等なるフリーメイソンの理想は、幻想だったのだ。

自由があれば、平等はない。

平等があれば、自由はない。

自由と平等を両方とも手に入れようなんてむしがよすぎる。

自由競争の世界は、格差の世界。

格差をなくしたいなら、自由競争をやめろ。

自由競争がなければ、文化は死ぬ。何もかもつまらなくなる。

つまり、格差社会がいやなら、つまらない淀んだ平等社会を甘受せよ。

年功序列で誰でも横綱になれる相撲なんて誰が見たい？

殺人を犯しても死刑にならない社会の行き着く先は、構成員全員の死刑だ。

自分のとった行動に合わせて賞罰が適切にくだらない社会は、死の社会。

左翼に支配された BPO をのさばらせていいのか？

放送業界も日教組に支配されたようなものだ。

もう一度破壊せよ。

そして、一からやり直せ。

福祉国家が幻想であるということがこれで分かったか。

生活保護の支給額が年金額よりも多い社会は、「まじめに働くな」と言っているようなもの。

もう一度作り直すなら、共産主義者、社会主義者を徹底してページしてからにせよ。

タイトル: 聖書の教育による家庭の秩序回復が必要である

最近、TVで家庭内にカメラを入れて夫婦の会話を紹介する番組があるが、驚いてしまう。

妻が、夫を完全になめている。

言うてはいけないことを言う。

子供の前で父親の権威を奪うような言葉を。

これは、家庭内がすでにアナキーになっている証拠だ。

神の法が支配していない家庭。

では、どうして秩序が崩壊したのか。

正しく教えられていないからだ。

女性は、男性を立てなければならない。

もし家庭を捨てて、独立して歩むつもりならまだしも、男性の保護を受けながら、なお、男性の権威を貶めることをするなら、完全なクーデターであって情状酌量できない。

ヴァン・ティルが言ったように、人間の神への反逆は、「子供が父親の膝の上に座りながら、父親の頬を叩く」のに等しい。

つまり、依存しているのに、反逆する。

反逆するなら、依存してはならない。

夫に逆らいたいならば、夫の保護を捨てる覚悟をせよ。

夫に依存しながら、夫の権威を否定するのは、反逆者、革命家、アナキストであり、悪魔の弟子である。

だから、こういう女性には、サタンが憑依しやすい。

神はこの無法な家庭を裁かれる。

男女平等思想、男女共同参画思想。

この悪魔の思想によって、女性が被保護者であることを忘れ、独立者であるかのような幻想を抱くようになった。

しかし、女性の役割である子供を産んで育てることを考えるならば、男性が仕事をして、経済活動をし、女性を保護するのは当然のことである。

女性は、生まれながらに被保護者なのである。

それは、髪の毛において表現されていると聖書は述べる。

髪の毛は、保護を象徴する。

だから、女性や若い男性の髪の毛はふさふさしている。

年配の男性は、保護する立場であって、保護される立場ではなくなったことの象徴として、髪の毛が薄くなったり、白髪になる。

女性は、自らを被保護者として自覚すべきだ。

独立できる女性はいない。

シングルマザーの道は険しい。

このような役割を神に与えられている以上、女性は、男性を立てて、男性の権威を尊重する責任がある。

この責任を放棄するならば、家庭は崩壊し、女性は保護を失って、自らを苦痛と不安に落とし、そして、社会も崩壊する。

男性は、女性に対して、男女平等思想が間違いであることを聖書から教える責任がある。

そして、男性の権威を尊重しない場合には、妻に対する責任から解放されることをあらかじめ通告しておくべきである。

現代の家庭の悲劇は、間違った教育にある。

日教組の左翼思想、革命思想によって、女性が反逆者になってしまった。

聖書の教育による家庭の秩序回復が必要である。

219 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月24日(土) 午前2時45分

タイトル: 夫は妻や子供の顔を札束で叩くな

女性が離婚を切り出す理由の一つに、「誰に食わせてもらっていると思っているんだ」という夫の言葉があった。

夫は保護者であり、経済的な大黒柱である。

それは、家庭を持った男性にとって、経済的に一家を支えることは義務であって恩を着せられる性質のものではない。

つまり、経済的に妻を養うことは夫の義務なのである。

聖書において、妻が夫に対するよりも、夫が妻に対する責任のほうがはるかに大きい。

家庭を営み、次世代を育てる責任を負っている夫と妻は、神によって指定された役割を果たさねばならないのであるから、夫が妻に対して「食わせてやっている」と偉ぶる自由はない。

夫が妻に感謝しないことも離婚の原因の一つにあった。

「食わせてやっているんだから、ありがたく思え」みたいな間違った意識を持っているから、妻に恨まれるのである。

子供に対しても、両親が「ごはんを食べさせてもらって、学校もただで行かせてもらっているんだから感謝しなさい」みたいな恩着せがましい態度であるならば、必ず将来裏切られるだろう。

力を誇示して相手を支配するならば、子供は独立した後、親を捨て、寄り付かなくなるだろう。

こういう親は愚かである。

親は子供の顔を札束で叩いてきたのである。

恨まれて当然である。

神の御前にへりくだって神と人に感謝しない傲慢な人間は、その傲慢の実を刈り取る。

すべては、自分に返ってくるのである。

220 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月24日(土) 午後0時56分

タイトル: 太平洋戦争は対ユダヤ戦争

米国人が原爆の大義名分の一つとしているのは、真珠湾奇襲攻撃である。

しかしあれは、奇襲でもなんでもない。なぜならば、米国は、日本の敵国である中国に軍事援助していたから。

戦争当事者であるから、いつ攻撃されても文句は言えない。

それから、奇襲攻撃はマッコラムの『日本を参戦させるための8か条計画』にしたがってルーズベルトが実行させたもの。

彼は、「私はまず日本に攻撃させたい」と閣議で述べた。

だから、パール・ハーバーは、「劇」なのだ。

米国人を奮起させ、戦争賛成に駆り立てるための「見世物」。

この見世物を作ったのはユダヤ人だ。

パール・ハーバーで激昂して「リメンバー・パール・ハーバー。ジャップを叩け！」と叫んだ人々は、ユダヤ人が犬と呼ぶ異邦人たち。

米国人は、単にユダヤ人の下で操作され、やりたくもない大量殺戮をさせられたにすぎない。

ユダヤ人は、今でもパール・ハーバーを陰謀の模範としている。

911 委員会を指導したユダヤ系米国人フィリップ・ゼリコウは、「大衆神話」の創作と維持を専門とする職人である。

ゼリコウにとって「大衆神話」の模範は、パール・ハーバー、つまり、「卑劣な日本人による奇襲攻撃」のストーリーである。

また、ゼリコウの親しい同僚であり、ネオコンの過激派ポール・ウォルフオヴィッツは、「パール・ハーバーの巨大な戦略的価値」を強調する。

ウォルフオヴィッツは、「ドイツにパール・ハーバーのような出来事が起きていたならば、第二次世界大戦はドイツの勝利に終わったことだろう」とのアルバート・スピアの言葉を繰り返して引用した (Brian Bogart, University of Oregon — Truth Jihad Radio interview, 2007)。

<http://www.veteranstoday.com/2011/09/20/142478/>

米国人は、いわば、われわれと同じ犠牲者の側にいる。

騙されて人を殺したカルト信者のようなもの。

じゃあ、なぜユダヤ人は日本を叩きたかったのか。

日露戦争は、ユダヤが金を出した戦争であった。

自分たちのおかげで勝ったにもかかわらず、日本人は、戦勝した場合の約束である満州共同開発の利権をユダヤに与えなかった。

しかし、日本側としてはその利権を手放せば、何のためか国民が死んだか理由がなくなる。

だが強欲なユダヤは許さなかった。ロシアをつぶしたあとは、日本をつぶす計画だった。

それで日本を国際社会の中で孤立させ、悪党の汚名を着せて、正義の名のもとに米国によって叩き潰したってわけだ。

国際機関は、ユダヤ機関であって中立ではない。だから、世界遺産に登録されたって喜ぶのはあまりにもおめでたすぎる。

221 投稿者: kusakabemanai

Date: 2011年9月24日(土) 午後6時12分

タイトル: キリストのニュー・ワールド・オーダーが発展中

全世界に福音が宣べ伝えられた後に世界は終わると聖書は記しているか。

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」(マタイ 24・14)

この終わりは、世界の終わりか？

違う。

マタイ 24 章全体は、世界の終わりについてではなく、イスラエルの終わりについて記している。

「イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。『お話してください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。』」(マタイ 24・3)

ここで「世の終わり」は、 $\tau\eta\varsigma\sigma\upsilon\nu\tau\epsilon\lambda\epsilon\iota\alpha\varsigma\tau\omicron\upsilon\alpha\iota\omega\nu\omicron\varsigma$ である。

つまり、「時代 ($\alpha\iota\omega\nu$) の終わり」である。

$\alpha\iota\omega\nu$ は、Thayer では、次の意味である。

- 1) for ever, an unbroken age, perpetuity of time, eternity
- 2) the worlds, universe
- 3) period of time, age

age (時代) だけではなく、the worlds (世界) の意味もあるのではないかとと思われるかもしれない。

しかし、もう一つの制限がある。

「まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。」
(マタイ 24・34)

はっきりと「時代 (γ ε ν ε α)」とある。

γ ε ν ε α は、

- 1) birth
- 2) race, descent
- 3) generation
- 4) offspring

文脈から言って「世代」「時代」を示す generation と訳するのが妥当であり、ほとんどの翻訳はこのように訳している。

ディスペンセーションリズムのダービーですら、generation と訳している。

<http://www.biblegateway.com/passage/?search=Matthew%2024:34&version=DARBY>

「これらのこと」は、明らかに「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」(24・14) を含んでいる。

したがって、この「終わりの日」とは、「世界の終わりの日」ではなく「時代の終わりの日」であることがわかる。

それゆえ、世界宣教が達成されると世界の終末が来ると考えるのは、間違いである。

聖書は、世界宣教が達成されると時代の終末がやってくると教えている。

そして、実際に、「ここでは、石がくずされずに、積まれたまま残ることは」ない(マタイ 24・2) という事件、つまり、ユダヤの神殿崩壊が起こり、時代の終末が起きる前に世界宣教は達成された。

「この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それをほんとうに理解したとき以来、あなたがたの間でも見られ

るとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がり続けています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。」(コロサイ 1・6)

パウロは、世界中で福音が広がっていると証言した。

紀元 70 年の神殿崩壊前に世界宣教は達成された。

ここで、いったん世界は幕を閉じた。

そして、紀元 70 年以降、ニュー・ワールド・オーダーがやってきた。

これは、キリストのニュー・ワールド・オーダー。

紀元 70 年以降、われわれは、キリストの王国に住んでいる。

だから、キリストの御心に逆らうことのできる人間はいない。

世界は、徐々に福音によって征服され、最後にキリストの王国が完成する。

われわれは、その途中にいる。

われわれの活動を通じて、世界に福音は広まりつつあり、世界は変えられつつある。

悪は必ず滅び、その影響力は縮小し、人々は長寿になり、繁栄する。

サタンはイルミナティを通じて、偽メシアによるニュー・ワールド・オーダーを作ろうとしているが、失敗する。

これが、聖書のメッセージである。